新京日日新聞
夕刊
二月廿八日（水）

滿洲國協和會
けふ全國聯合協議會
＝協和の森も作る＝

滿洲國協和會は帝制實施を明日に控え二十八日午前十一時から新京ヤマトホテルに全國聯合協議會を擧行したが敎化宣傳運動の大綱は左の如くである

一、入場
一、奏樂
一、國旗敬禮
一、國歌合唱
一、開會の詞（理事長）
一、協議式開催趣旨（理事長）
一、協議會用務報告（中央事務局長）
一、名譽總裁訓詞
一、會長訓詞
一、來賓祝詞
一、祝電披露
一、議事
一、帝政實施に對する聲明決議に關する件
一、賀表捧呈に關する件
一、宣誓
一、閉會の詞（理事長）
一、奏樂退場
一、宴會

帝政實施に關する敎化宣傳運動大綱

△要旨

帝政實施は天命に依り、而も順天安民の大旨に則りたるものにして清朝復辟に非ざることを徹底せしむると共に、之により建國の基礎強固となり、國民の福祉は増進され、國威は愈よ發揚さる所以を說き、全國民をして新帝國民としての覺悟を體得すると共に、國是を守り忠誠を誓はしめ、日滿兩國の絕對的協力の必要性を識らしめ以て民族協和の實を擧げしめんとす

△運動實施期間

運動實施期間を第一期、第二期、第三期の三期に分つ

（イ）第一期を即位式典迄の期間とし、講演、ラヂオ放送、印刷物の作製頒布、地方各機關並團體との連絡を旨とす

（ロ）第二期を即位式典當日より（一週間）各縣城並主要都市を中心として地方慶賀祝大會を開催し之を通し印刷物の頒布並講演、ラヂオ放送等を一齊に行ふ

（ハ）第三期を式典より約一ケ月間宣傳班を組織し別案の宣傳工作隊を各地に派遣す班員の組織は一班の人員を三名乃至五名を以て組織し講演、映畫、印刷物頒布を以て全滿各地の僻陬の地迄徹底せしむ

△運動方法

一、帝政謳歌運動

全國民の心からなる帝政謳歌の行事をなさしめ、國民をして忠誠報國の宣誓をなさしむ

A國民慶祝大會

各縣城並主要都市を中心に國民慶祝大會を行ふ（實施案別に定む）

B國民宣誓大會

滿洲國における公認せられる唯一の民衆代表機關たる本會の全國並地方聯合協議會を開催し各地代表を招致し要旨の徹底を期すると共に衆に率先して帝政を謳歌し忠誠報國の宣誓をなさしむ

二、敎化運動

帝政實施の所以を明確に知悉せしめ新國民として自覺を促す

A、遊說宣傳

要旨を徹底普及する爲全滿各主要地に講演會、座談會等を開催し又ラヂオ放送をなす（實施案は別に定む）

B、一般宣傳

ポスター、傳單、刷子による一般的配布宣傳をなす（實施案は別に定む）

C、文章宣傳

新聞、小說、公民讀本等の利用並發行により宣傳をなす（實施案は別に定む）

D、映畫宣傳

即位式典、式當日の各主要都市における慶祝大會實況の映畫並國民敎化關係の映畫を作製し全滿主要地を巡回せしむ（實施案別に定む）

E、覗宣傳

覗、幻燈を活用して之を行ふ（實施案は別に定む）

三、紀念運動

帝政實施を永久に記念し民族協和の國是を表徵すべき記念事業を行ふ（實施案は別に定む）

A、協和會館の建設

新京に國民的集會場を建て民衆の諸會合に適應せしむ

B、記念塔の建設

新設都市の中央部に民族協和記念塔を建つべく努力す

C、協和の森作成

各主要都市の公園乃至適當各所に「協和の森」を作り民衆の夏期休憩、慰安の森とし且協和精神の誘發をなさしむ

四、其他

各地方事務局に於て要旨に則り適當に行はしむるもの

A、日滿學童交驩會
B、青少年團の結成
C、施藥實施
協和藥を配布して病民救濟に當る

協和の森計畫案

△要綱

滿洲建國二周年紀念日大同三年三月一日の佳辰をとし世界に誇り青史を飾る我が滿洲國の帝政は實現せられ英邁なる溥儀執政は皇帝に登極せられ此れに依り滿洲國の國体は確立せられ大滿洲帝國として國運隆々堂々世界に君臨す三千萬民衆の幸福此れより大なるはなし茲に於て我が協和會は此の佳き日佳き年を永久に紀念すべく紀念事業として其の昔佛國革命の後平和を愛好する國民の手によつて其の平和克復の紀念としてセーヌ河畔に平和の森を建設し國民をして常に平和の心を喚起し或は文豪の名を冠したる森を設け此處に遊ぶ者をして文豪の名と共に藝術的心境を想起せしめ居るに因み國都新京に適當な地を選び滿洲國國是の民族協和に名を藉り協和の森と名づけ民衆の力により一大遊園地を建設し常に此の下に來り憩ふ者をして協和精神の把握と涵養とに資せしめんとす

△建設方法

一、國都新京適當の地を選び國家より土地の拂下を受く（或は公園豫定地を以てこれに充つ）

二、協和の森建設委員會を設け此れに對する施設の協贊實行機關たらしむ

委員會、滿洲國政府、新京特別市政公署、滿洲國協和會

△施設

一植樹

イ、全滿民衆より樹木の寄贈を依賴し植樹す（廣く全滿の珍種珍木を集む）

ロ、建國紀念或は學生卒業紀念、何々紀念等々紀念の植樹等年々行事ある每に植樹をなす

二、動物園の計畫

全滿各地方は本より世界各地より珍鳥珍獸を集め一大動物園となす

（此の動物園の建設は啻に民衆の娛樂たるのみならず敎育の參考資料たる重大なる意義あるものと思惟す）

三、其他民衆遊園地として必要なる施設

△國都新京のみならず全滿主要の都市にも建設し全滿民衆をして協和精神の涵養に資せしむ

ランカシア綿業家
日本品拒否委員會の態度決る

〔マンチエスター二十七日發國通〕ランカシア綿業家日本品拒否委員會は二十六日全員會議を開き協議の結果第三國市場協定に就き日本側の除外要求を容れては會商は無意味だと意見一致し英本國と自治領市場に關する限りオツタワ協定の精神より英國自身で決すべきだとし二十八日の會商に臨むこととなつた

銚子沖に
オツトセイ數百が泳ぎつく

〔銚子國通〕千葉縣銚子の二浬沖で最近數百頭のオツトセイが奇蹤をあけて泳ぎ廻つてゐる、これは寒流に乘つて北海から來たものであるが捕獲禁止とあつて此の大群を見乍ら漁師は指をくわへて眺めてゐる

佐野商大學長辭任
後任は上田榮治郎博士

〔東京國通〕東京商科大學々長佐野善作氏は敎授會に辭任を申出でた、後任は上田榮治郎博士が最適任とされて居る

獨墺國境
異常なし

〔ウキーン廿六日發國通〕獨墺國境に獨國軍集中說に對し墺國政府は否定の聲明を發し現在の國境は平穩である

寶石 銀器 中谷時計店 新京 奉天

日滿悲曲 生命線を行く（滿上演映）
國友雄吉（荒川芳三郎畫）

（百一）

あなたが好き

愁嘆の滲んだ芙美子の言葉が、卒直な千原中尉を、ドギマギとさせた。

「僕は、そんな意味で言つたんぢやないよ。どうか、氣にしないで呉れたまへ。──それまでに思つてくれる君のその好意を、この子の親たちが聞いたら、どんなにか喜ぶことだらう。同時に又、此子に取つても、どんなに幸福だか知れやしない」

話してゐる中に、中尉が、滿洲里に向け出發しなければならない時間が、次第に迫つて來た。

中尉としては、此の場合に臨んで、どんなに言つてみた處で、結局、やはり茂彦を、芙美子に托して置いて出發するより外、採るべき途は無かつたのだ。

「それぢや、僕は、是で失敬する──では、何分よろしく頼むぞ」

中尉は、母親のお今にも挨拶をして、やがて芙美子に送られて戸

外へ出た。

「僕も、あちらへ行つたら、極力この子の親たちを捜索して、判り次第、直ぐ君に知らせるから──」

「どうかして、早く判れば宜いにねえ」

「ナアニ、無事でさへ居れば、必ず捜し出してみせる。──が、萬一、銃殺でもされてしまつてゐたら、判らないだらうけれど──」

中尉は、茂彦に聞えないやうに、低聲で、さゝやいた。

「どうか、そんな悲しいことの無いやうに──あたし、此子の爲に一心に祈つてゐますわ」

「なにしろ、人間の身の上ほど、分らないものは無いからねえ。僕だつて、今こそ、こんなエラさうなことを言つてゐるが、此の子の親たちを捜し出す前に、戰死するかも知れないんだからね。所謂無常の風は、時を嫌はず、といふ奴さ。はゝゝ、なんだか、話が、抹香臭くなつたぜ、はゝゝゝ」

中尉は、快闊に笑つた。

「こんなことを言つたら、あなたに叱られるかも知れないが、あたし、あなたには、戰死してほしくないわ」

「冗談云つてらあ。そんな得手勝手があるかい──なぜさ？」

「でもあたし、あなたが好きなんだもの、──戰爭がすんで、內地へ凱旋してゐらしたら、東京へいらして、時々、會つてほしいと思つて居るわ」

「はゝあ。東京で會ふか──その時に、君はもう、藝者になつてゐるんだね。どうせ君のことだから、早くも一流の賣ッ妓になつてゐて、僕等のやうな貧乏軍人では、とても相手にはなれないだらう」

「アラ、そんなことは無いわ──あたしほんとうに、それを樂しみにして待つてゐるわ」

「オイ、そんなことを言つて、嬉しがらせるなよ。僕は好い氣になつて、已惚てしまふぞ、あはゝゝ」

中尉は、再び、快闊に笑つた。

二人は何時か、話しながら、七八間も、こちらへ歩いて來たのだつた。

茂彦は、芙美子の背に負はれて居た。

近所の妻君たちは、二人の姿を不思議さうに見送つてゐた。

空はからりと晴れて、積雪の上に、朝の太陽が、キラ〳〵と眩しく輝いてゐた。

その時、伊之助がヒョッコリ戸口の處に姿を現はした。

彼は、いまゝで、近所の家に、身をかわしてゐたものであつた。

「チョッ、仕樣のねえ奴だ、なんだつてあの子を、突戻してやらねえんだ。いまにも東京へ行くからだで、あんな足手まとひを引受けて、どうするつもりなんだ──ヘン、何處まで[illegible]テコに出來上つてゐやがるんだか、方圖が知れねえ──」

彼は、嘲りの眼を二人のうしろ姿に向けながら、ブツ〳〵獨語をこぼした。

日日案內　三行　一回金五十錢　被雇應　一回金三十錢　五行　一回金八十錢　十行　一回金一圓五十錢　姓名在社　一回金十錢增　御申込みは電話三三〇〇番

急讓　現在營業中の下宿屋讓り度しお世話は御日館で　電話三八〇二番

被雇　昨年度大學卒業商學士中學生の家庭敎師又は日本語敎授會面　姓名在社

讓店　パン製造道具其ノママ此レヨリ好時機屋內建物全部場所尾上町八ノ二　希望者ハ市營住宅丙ノ三十五號齋藤へ

產婆　姙婦御手ぜまの方は御希望に依り拙宅に御預り致します梅ケ枝町四丁目電話三三四一番（呼出）鈴鹿サク

金融　歡迎　日賦、月賦　勤人、商人　御秘融通　入船町二の二三　電四七九六番　三光

日・獨・露文　タイプライター印書　及翻譯　日出町電二三八七番　滿社

高價買入　金銀潰金　新京東二條通廿五　橫濱屋寶店

華道　青山御流　村岡翠壽園　友雅　吉野町一ノ七

貸家貸室の御紹介　電話買賣　新京朝日通十七　新京土地建物會社　電話四八二八番　電話にて秘密金融致します

電話讓受度し　●仲居女給數名急募●　入船町三丁目一二條軒　金融　三光社

眼鏡の御用は金華堂へ　吉野町二丁目　電話二六四五

廣告は宣傳廣告には效果絕大なる滿電バス內の廣告欄を御利用下さい　滿電公認　新京バス廣告社　林千虎　假事務所滿電バス係內電話三七〇二番　自宅塔町二丁目二七

質　保管確實　三笠町三ノ二七　第七博多屋（東三條通筋）

印刷
凡ゆる点に於て皆樣の御滿足を得る自信あり
御一報次第直に係員を伺はしむ

雙發
電話二八三四番へ
雙發洋行印刷部
新京日本橋通り七十四番地

すし　竹本店
竹麵家
梅ケ枝町二丁目十ノ二
電話三七三四番

食道樂
新築！御氣持よき御座敷　そして御氣輕な……
みよし
入船町四丁目十九
電話四八八八番（シハハハ）（新京百貨店橫入）
三十人樣迄の御宴會は特に御相談に應じます

鹿谷齒科醫院
新京吉野町二丁目二
電呼出二九三七番

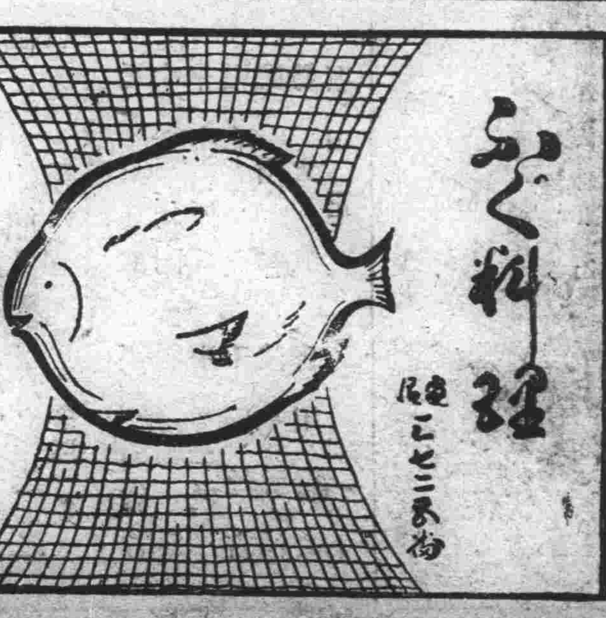
開業御披露
皆樣御待兼の……割烹新濱
愈々本日開業致しました!!
何卒幾久しく御引立の程を……
「御宴會は特に二圓より」
毎日午前十一時より午後四時迄階下サービス無料御定食五十錢
▲割烹は新進
▲材料は高級
▲調理は開放
▲女中は美形
割烹新濱
新京東一條通三〇番地（給水所橫入る）

お茶

世帯道具、陶器類色々
三笠町二丁目　河久商店　電話三二〇四番

日本刀、軍刀
軍刀外裝、軍裝用品、研、白鞘、柄卷、附屬品
新京室町小學校前　示現軒　井上刀劍店　電話三二〇三番

御報參上
趣味蒐集　マツチレツテル
廣告マッチ　進物用品　カレンダー　扇子團扇
新京　出田吟味堂　東二條通
各種印章附屬品
迅速　叮嚀
吟味堂印章部　東二條通三



けふの査問委員會 新な綱紀問題起る

帝國人絹、神戸製鋼株肩替りで 文相、鐵相を目指し

（東京國通）二十八日の査問委員會は新たに江藤源九郎氏の摘發に係る帝國人絹、神戸製鋼株の肩替りに絡まる鳩山文相、三土鐵相等の綱紀問題に就て査問のメスが入れられる筈で同日は主管大臣を始め問題の鳩山、三土の兩大臣並に司法當局さして小山法相等の出席をみるべく同問題は貴衆兩院で永らく疑惑視されてゐた問題だけに如何なる展開をみるか注目されてゐる

飽く迄政府の責任を糺彈す

貴院各派の態度極めて强硬

（東京國通）貴族院に於ける大塚維精氏の緊急質問は飽くまで政府の責任を糺彈せんさするもので齋藤首相の答辯如何により第二段の工作に移らんさして居るが、研究、公正兩派を始め各派の態度は極めて强硬で勢の赴くさころ鳩山文相の責任問題さ政府の責任不可分論を以て全面的に政府不信任の發さなる模樣である

首相の答辯に 文相相當 不滿の態

（東京國通）廿八日の貴族院に於ける大塚維精氏の質問を憂慮して齋藤首相は堀切翰長さ協調の後、堀切翰長をして午后一時院内で鳩山文相さ會見させ、答辯内容に就き諒解を求めたが、文相は相當不滿らしい即ち大塚氏の質問は大臣から文政の府にある身を以て斯る疑惑を受けた事に對する追及さみられるが、之に對し首相は

臺銀問題は事實無根であり樺太工業問題は査問委員會での小山法相の釋明の通り問題さならず、何れ査問會で明かさなるが斯る疑惑は無根さ思ふが政府さして遺憾ださ思ふ

さ多少文相に責任を自覺すべきを諷刺し政府全体の責任でないさ答辯する模樣である

鳩山文相遂に

適當の機會に善處を言明 けふ貴院本會議で

（二十八日國通至急報）本日の貴族院で大塚維精氏の緊急質問に對し鳩山文相は適當の機會において善處する旨言明した

『小異を捨て大同團結へ』

飽く迄一國一黨を提唱する』 久原房之助氏語る

（東京國通）政友會では幾多の院内外總務會に於て政黨連繫の黨是を決定するに至つたので從來院内にあつて一國一黨論を主張し來た久原氏の態度は各方面から注目されてゐるが、右に關し久原氏は左の如く語つた

自分の一國一黨論は年來の主張であり政友會に入黨したのもその黨勢を擴張してこの持論を實現したいさ考へたからだ、然るに今日の時局は極めて重大であるから政黨は小異を捨て大同につき一擧大合同を行ふにしかず、さいふのが現下の時局に處する自分の意見である、殊に政黨の對立は鬪爭を激化し、政黨を不淨にする故に政黨强力化の意味においてもその必要あることを痛感してゐる譯であるが、自分は今後共一國一黨を提唱する、周圍の狀況が最近非常に變化したのは從來單獨内閣論を主張したもの迄結局政黨の大同團結に贊成してやつたさ云ふ一事に徵しても明瞭であらう

農村對策に重點を置く

總括的決議案提出か 政友會首腦者意見一致

（東京國通）政友會では二十七日午前十一時芝三緣亭に緊縮實行構成案を決議し起草委員さの聯合會を開き山本（條）、秋田、島田氏等參集、今回提出の追加豫算案に不滿だからこれを補ふべき農村對策を要論さする總括的決議案を提出

廿七日午後の

貴族院豫算總會

（東京國通）二十七日午後の貴族院豫算總會は一時五十分再開、次田大三郎君製鐵合同問題につき首相に質問、首相は評價に不公平な事實がない旨を言明

次田君　製鐵合同は議會開會中に行はれたのにそれを議會に諮らなかつたは何故か

首相　合同を急がねばならなかつた事情もあつたからだ

次田君更に追及それより加藤政之助君質問に起ち

現内閣は成立以來功績も勿論あるが滿足し得ぬものがある

さて思想、教育、綱紀問題等に言及し

現内閣を存續せしむるには先づ人心を收攬せしめねばならぬ、直ちに實行するこさも將來實行するこさをもはつきり辭明するこさを望む首相にその考へありや

首相　御趣旨は私の考へさ違ひはない

加藤君　内閣の大官諸君は身を謹まねばならぬ

さ希望し、更に增稅公債問題に言及、次で選擧法改正案の通過に充分努力されんこさを望むさ述べ、それより田所美治君教育問題につき鳩山文相に質問、質疑應答を重ね文相その答辯中

義務教育年限延長の事も考へて居るが輕卒には云へぬ

さ述べ、教育問題の質疑長時間に及んで四時十六分散會したが、本日の豫算總會は綱紀問題に多少觸れたさ云ふ程度で頗る平穩裡に終つた

したい、右は不信任案さ言ふものでなく他派さも協同し提案したいさ意見一致し右決議案作成方を前田氏等に一任し午後二時散會した

貴院秘密會で

大藏男對滿諸問題を質問

（東京國通）二十七日の貴族院秘密會に於ける大藏男の質問は滿鐵改組問題、三位一體制、軍事工作より産業工作への轉換施設、帝制實施後の日滿關係の對策等であつたが、首相の答辨は熱意なく質問者にも議場にも不滿だつた樣であるが、然し貴院側は今の處滿洲問題では意思表示せぬ模樣である

國境の怪飛行機に 外務省再調査

ソ機なら抗議を提出せん

（東京國通）怪飛行機飛來事件に關し外務省は朝鮮總督府へ調べさせたが本日の來電では

一、二十三日午前三時半頃、慶源、雄基、羅津上空に飛行機來り午前五時半頃琿春縣に入りソ聯方面へ機影を沒した

一、二十五日午後三時飛行機一臺慶興の對岸滿洲國領六道溝上空に現はれ七道溝、八道溝を經て九龍溝よりソ聯方面へ機影を沒した

さ報道ありさ言ひ外務省では再調査の上ソヴイエート機なら抗議を提出する方針である

漁區再競賣問題

最後的の態度決定

二十七日の官民協議會で

（東京國通）ソ領漁區再競賣問題に對して二十六日の夜官民合同協議會を開き之が態度に就き協議するさころあつたが更に二十七日朝再協議の結果左の通りその態度を決定、外務省はモスクワの太田大使並にウラジオ渡邊總領事宛ソ聯邦政府に對し强硬なる抗議をなす樣訓電した、去る二十日施行された競賣結果はルーブル換算率三十二錢五厘の割當を以て絕對的にこれを有效ならしむるこさ、若しソ聯側が再競賣を施行するならこれは日ソ漁業條約による再競賣に附する漁區は去る廿日に於て最低價格に達せざる漁區及び無入札漁區に限るこさ、又二十八日の再競賣期日は適時交涉して延期するか否かを決定するこさ

日滿親善シボレー號

けふ新京到着

午前十時四十八分二十三秒

日本電報通信社主催、本社後援ゼネラルモータース會社の日滿親善シボレー號は本紙愛讀者待望裡にいよ〳〵御大典式典の前日二十八日午前十時四十八分二十三秒新京驛玄關口に到着した、この日午前九時早くもモータース商會から廻されたシボレー號は驛前まで出向き、滿洲國及び關東州地方主任ダブリユーダブリユーテイラー氏を始め新京支配人ジンソーフ氏、東亞自動車商會支配人安藤勝吉氏、遼東モータース商會桑田忠太氏、その他在京新聞記者ら多數の出迎へありこれより先き午前九時本社記者始め關係者十五名はシボレー號を疾風の如く走らせ南嶺まで出迎へた、やがて塵煙もう〳〵さ立ちこめて遙に一台のトラックが見へ「來たぞツ」の一聲で一行は社旗を打ち振りながらこの意義ある日滿親善シボレー號の勇姿を迎へるこさが出來たのである、こゝで同車運轉手山内國一、瀨戸正勝兩氏はテイラー氏さ固い握手を交はして新京目ざして興安大路を眞すぐに大同大路へ左に折れ、中央通りを眞つしぐらに走り驛前廣場に到着、時に午前十時四十八分二十三秒、かくて東京出發いらい恰度十一日目、二千哩のコースを無事突破して重大使命を遂し、驛前で記念撮影後、一行は十一時新京神社に參拜した（寫眞は新京驛前）

懸賞正解

一、日滿親善シボレー號

一、廿八日午前十時四十八分二十三秒

各方面歷訪

日滿親善シボレー號一行は十一時神社參詣後軍司令部訪問次に左の順序で各要所々々を歷訪する豫定

十一時半執政府、國務院、午後一時半國道局、二時國都建設局、二時半外交部、三時軍政部

道が無いのに一番閉口した

山内、瀨戸兩氏語る

東京本社から新京まで連日ハンドルを取つて慣れぬ滿洲路を走破して來た山内、瀨戸兩氏は交々次のやうに語る

番困つたのは何んさいつても道路さいふ道路が殆ごなかつたこさです、そのため豫定より遲れました、雨が降らないので塵多くそこへ風が吹き捲くるので目先が判らず、ご覽の通り車も服もごみだらけです

さ眞ツ黃になつた上衣をパタ〳〵さ打てば黃塵は絕へず飛び出して來る更に言葉を續けて

自分達は地圖を唯一の指針さして走るのに地圖さ實地が全々合はない場所があるので弱りました

臨時休刊と

號外發行について

三月一日は滿洲國御大典につき同日夕刊ならびに二日朝刊を臨時休刊致しますが隨時號外を以て當日の盛儀を速報致します

附屬地小學校

滿鐵移管問題片付く

（大連國通）昨年三月駐滿大使館より申出あつた滿鐵附屬地外の民團經營外務省補助日本人小學校、山海關、錦州、チチハル等十餘校は愈々兩者間に意見一致し滿鐵の二十七日の重役會に於て正式決定を見たので學務課では移管經營問題、補助金問題等關日案起草の上大使館さの間に引繼ぎを了へ四月一日より委託經營さすることになつた

終つて各方面へのメツセーヂを傳達して獻納を二十八日中に終るはず

入賞者は 追て發表

日滿親善シボレー號はいよ〳〵廿八日午前十時四十八分二十三秒所定の新京驛に到着致しましたが別項懸賞正解は本社において嚴選の上規定通入賞者を發表致します

國際オリムピツク

東京招致運動熟す

（東京國通）第十二回國際オリムピツクを東京に招致するため二十七日協同共議會を開催、東京市より牛塚市長、落合、澤本、鷲尾三助役、外部から嘉納治五郎、杉村陽太郎平沼亮三氏等出席、意見交換の結果

一、五月十六日アデンに開催されるオリムピツク委員會へ嘉納、杉村氏の何れかを出席さすこさ

一、日本が如何に熱意あるかを示すため競技場設計、旅費等の計畫を各國へ報告すること

一、大公使をして極力運動さす事

を決議した

滿洲國攪亂の大陰謀團

朝鮮獨立黨の元兇四名逮捕

（ハルビン國通）曠古の大典を期して滿洲國攪亂の大陰謀を企圖してゐた朝鮮獨立黨員の元兇四名が二十八日日本領事館警察高等係員のため一網打盡に逮捕された、即ち日本領事館警察では朝鮮及び南滿方面の鮮人獨立黨員多數が大典を期し國都部ハルビンでテロを决行、市中を攪亂し人心を動搖せしめんさする大陰謀計畫の下に去る一月中旬元兇二名が武器彈藥、不穩文書等を携へ新京よりハルビンに潛入し待機中、花島警部、青柳部長以下全課員は武裝し元兇の隱家に踏み込み最高幹部德田元（二三）幹部金德泉（二四）同益元吉（二三）同羅禎昌（二三）及十九歲の鮮人美女計五名を一網打盡に檢擧、拳銃二挺、双眼鏡其他多數の不穩文書を押收凱歌を擧げ目下引續き嚴重取調中である

我飛行界に 又女流飛行家現る

（東京國通）我國民間飛行界振はないこさは非常時を控えてゐるだけに非常に憂慮されてゐたが、最近女流飛行士五百名を突破し時勢が反映して志願者續出してゐる、二等飛行機上試驗にパスした[illegible]（二四）さ云ふ女流飛行家あり朴敬元孃無き後大いに氣焰を擧げる事さなつた

人事往來

▲尹少將（濱江、江防艦隊司令官）廿七日午後三時二十五分着哈市から

▲服部事務官（朝鮮總督府）同上

▲稻垣少佐（憲兵司令部高級副官）二十七日午後七時三十分着大連から

▲植木中佐（關東軍司令部附）二十八日午前七時着大連から

經濟欄

海外經濟

▲銀塊及爲替

倫敦銀塊 現 [illegible]

先限 [illegible]

紐育銀塊 [illegible]

孟買銀塊 [illegible]

米英爲替 [illegible]

米日爲替 [illegible]

米支爲替 [illegible]

スチール株 [illegible]

アナゴンダ株 [illegible]

▲印棉

現物 [illegible]

三月限 [illegible]

五月限 [illegible]

七月限 [illegible]

十月限 [illegible]

十二月限 [illegible]

一月限 [illegible]

ブローチ [illegible]

オームラ [illegible]

ベンゴール [illegible]

▲上海標金

昨止 [illegible]

安値 [illegible]

高値 [illegible]

本寄 [illegible]

各地市場

▲上海日本向 [illegible]

▲上海倫敦向 [illegible]

▲上海紐育向 [illegible]

▲大阪株式 大大鐘同 [illegible]

▲同短期 大鐘東 [illegible]

▲大連株式 [illegible]

▲大阪期米 [illegible]

▲仁川期米 [illegible]

▲橫濱生糸 [illegible]

▲神戸豆粕 [illegible]

▲カルカツタ麻袋 [illegible]

大日本昭和聯盟滿洲支部設立趣意

大滿洲國建國日尙淺しさ雖も着々さして諸般の制度確立し三千萬民衆擧げて王道政治を謳歌せざるなく其の燦然たる一途は誠に慶祝に堪えざるのみなり殊に來る三月一日は三千萬民衆の熱望さ一大精神運動の實現に依て帝位大典に際し官民相共に其の將來を祝福するにあり不肖等相計り此の意義ある御大典を記念さして誠の政治、明るい政治、樂しい政治をモツトーさして政治指導團體の設立急務を期す大滿洲國王道政治將來を双肩に擔ふて立つ、日滿中堅青年を糾合し共に切磋琢磨し光榮ある永遠の國家たらしむる樣大同團結鐵信的努力以て本部の綱領をモツトーさし健全なる思想さ政治を普及し王道政治にイツシまんさするに在り希くは諸彥の御賛同御入會賜らん事を懇願仕候　敬具

大日本昭和聯盟本部三綱領

一、敬神尊皇愛國の大道を政治の大本さ爲すこさ

一、九千萬同胞の最後の一人に至る迄皆陛下の赤子たるにふさはしき生活を爲すこさ

一、共存共榮の大義に則り恒久の平和を地上にもたらすこさ

まことの政治　あかるい政治　たのしい政治

總裁　正三位勳一等　法學博士　水野錬太郎

理事長　從四位勳三等　法學士　守屋榮夫

滿洲支部創立委員

松崎清九郎　栗利田信吉

小野寺三左衛門　森　義助

中山信一　平澤三之[illegible]

堀北義夫　千田隆吉

劉浩春　淺見圓治

易大凱　皆川勝次

坂田正二

謹告

元弊行勤務時計職　竹本吉輝

右之者ニ對シテ今囘弊行ト何等カノ連絡アルガ如ク思惟サレル方モ有之候得共同人ハ昭和七年八月退店以來何等ノ關係無之候間此段謹告仕候

昭和九年二月廿七日

合名會社　森洋行

愈よあす滿洲帝國皇帝即位の大典

全土瑞祥に充ち歡喜(ごよめき)の また天に冲す

三千萬民衆の仰ぐ新帝には畏しけふ齋戒沐浴

榮光に輝く登極の御儀はいよ〳〵明日——三千萬の民衆が飽くなき苛歛誅求に呻吟すること數十年、王道の惠澤に浴してこゝに二歳、國内は軍閥の苛政を一變して樂土と化し、王道の御代を讃へるさき叡智ならびなき溥執政が天意と滿洲國蒼生の總意により建國の佳日をトして皇帝即位の大典を行はせらる、今や全土は瑞祥の氣充ち、歡喜のごよめき天に冲す、皇帝の即位!!この偉業こそ人類永遠の平和を建設せしめんとする天意の現れでなくてなんであらう

午前郊祭の御儀 次で登極の御大典

新帝には二十六日から齋戒の生活に入らせられ二十七日よりは一切の

〓面謁〓をさけさせられて居室に御閉ぢ籠りひたすら明日の御儀を御待ちあそばされてゐるか、畏くも一日は早朝御起床あらせられ齋戒沐浴東天に太陽を拜し香を焚いて御身を御潔めの後御賀索ながらも滿洲國の古代に則つた清楚な御祭服を召され出御の時を御待ちあそばされる

これより先溥儀自動車は執政府興運門前にズラリと列びかくして出御の時いたるや皇帝には宮殿興殿から侍衛官を從へさせられ御徒歩で興運門前まで至らせられ御待ちする蘭花の御紋章金色燦然たる皇帝車に乗御一方市中の警備は午前五時か

らはじまり同七時には市中一般の

〓交通〓を遮斷一線二線、三線と水も漏らさぬ嚴重な警戒網が張られ溥儀の御道筋各家とも門戸を閉し御道路に面した左右兩側には五、六間毎に滿洲國官憲が一人宛更にその後方にも同樣官憲が五六間毎に一人宛配置され溥儀の御通りをまつ

定刻溥儀は宮廷正門を出發沿道の街辻に群る民衆に迎へられて掃き清められた通路をすべるが如く順天廣場の式場に向ふ定時に溥儀式場に着するや文武百官堵列して之れを奉迎しこれより嚴かな郊祭が行はせられる

郊祭の式が終るや皇帝には更に

〓鹵簿〓を整へさせられて宮廷に御還幸、勤民樓においていよ〳〵即位登極の儀を行はせられこゝに意義深き大典の式を終らせられるのである

國旗掲揚式 六時半から

恒例による新京神社の國旗掲揚式は豫定より三十分くりあげ一日午前六時半から舉行特に同日は東本願寺宮出法舍師の講演がある

寫眞說明

(上)大同大街の奉祝門(中)國務院側の奉祝門夜景(下)滿電の裝飾

街の日記

修養團お知らせ

御大典式終了後式典を拜觀致しますから團旗を目標に御集り下さい

日時　一日午后一時

場所　西公園入口廣場

男女、通知兒童以上のもの差支なし

新京修養團支部

團員各位

當日御通行を拜觀せらるゝ白百合會員は午前七時迄に大同廣場に集合終了することになつて居ますから御都合繰人會さ連絡をとつて下

すしの一休好評

過般新店名懸賞募集の結果、「一休」と決定し新名「江戸ぎ」をアッサリ返上した壽しの店一休愈よ滿洲帝政實施の一日より一休で通す管であるが主人の田中さんも昨秋隣家よりの類燒の災に次ぎ母堂に逝かれ災難續きにも極力奮闘努力しつゝあり壽しの評判は元より小鉢物類も好評女抜きの男世帶の店で客足をひいてゐる

天ぷらの『わか天』開業

市內老舗に過般華々しく開業東京鳥料理で食通連を喜して居るわかもと滿洲國丁總長や川島芳子等高官連の出入御氣に入りさあり流石杉山氏は東京よりの進出だけあつて好評殿盛を極めてゐる、當杉山式經營であるが永樂町一丁目扇芳グリルの隣りに今度姉妹店として(わか天)と看板しお座敷天ぷら料理をする事と成つた元より調理人は東京より招聘し同店獨得の味覺自慢であり天ぷらの天平と對立しよき食道樂として賑ふ事であらう

拾ひもの落しもの

▲吉野町二丁目四十四番地早田イトさんは二十七日午後十時頃滿電前でチクタイ一本ソフトカラ二本を拾つた

▲富士町三丁目富士食堂內宿舎島七三氏は二十七日午後一時ごろ新京郵便局內で現金三十圓を落した

▲首都警察總監司令部傳令部渡邊數男氏は二十七日午後一時ごろ日之出町奨勵選輪から東二條日本橋通に行く間サック付モーゼル拳銃一號實彈十發を落した

▲中央通十三番地高橋重義氏は二十六日午後六時ごろ曙町附近で黑龍江省許可證沙金鑛區圖一通を落した

盜難届

▲祝町三丁目十七番地金谷正幸氏所有自轉車一台時價十五圓を二十七日午後九時ごろ自宅前で竊取された

奉祝大會に引續き大衆の旗行列 參加者實に二萬人の見込み

城內から附屬地へ

大同廣場に於ける帝都市民奉祝大會は市政公署主催の下にいよ〳〵明一日午前十一時から大同廣場で開催、各學校生徒滿洲國側約六千人、日本人側約四千人のほかに日滿各方面の來賓を始め滿洲國官吏の各種團體その他一般市民を加へて凡そ二萬人に上る見込でやがて定刻官民一同入場のうへ開會、軍樂隊の奏樂裡に莊嚴なる國旗掲揚式あり、一同國旗に敬禮のうへ國歌合唱ついで主催者として金市長起つて一場の挨拶を述べ、新帝陛下の在はします執政府に向つて一同遙拜してのち來賓を代表して荒木地方事務所長山口滿洲國協和會中央事務局次長の祝辭があり、萬歳三唱のうへ正午終了の見込である

かくて引續き日滿合作の旗行列が午後零時十分を期して奉祝會場を出發、軍樂隊を先頭に、日滿各學校生徒、滿洲國官吏、各種團體その他一般の順序で二萬の大衆がエンく長蛇の陣をなして、まづ長春大街、大經路、西四道街大馬路を經て附屬地に入り日本橋通を通つて新京驛前で解散することになつてゐる

最後的の警戒けふ全く終る

蟻一匹も入込めぬ嚴戒

市中警備はいよいよ本格的となり、二十八日は早朝から、憲兵、警官が代る〳〵五大名宛の遊動班を組織して朝日通りを中心として兩側一キロ、入船町、梅ケ枝町、六馬路、五馬路、大同大街、豐樂路、朝陽路等を絕へず巡回、その他の市中は自動車又は騎馬の遊動班が巡回、南嶺、南關、寬城子、孟家屯、杏花村等要所々々に設けられた檢問所、臨時派出所では、總動員して徹宵警戒、いよ〳〵最後の警戒陣を張つてゐる、尙市中旅館、料亭等の一齊臨檢も數度に互つて行はれ、不良漢の檢束も行はれた

ミルス氏と松内氏が全世界に放送

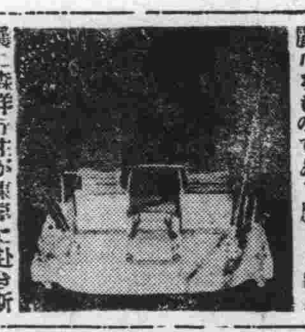
日滿兒童の交歡放送も

この曠古の大典を全世界に報導するため新京中央放送局では、午前六時十五分より三十分間外人記者團中の古參者、エーピー通信社のミルス氏がサンフランシスコ放送局に向け、御大典の模樣を詳さに放送し、この歷史的御盛儀たる東洋的大禮の模樣が全米人に一秒間七萬八千哩の電波となつてマイクを通じて傳へられ續いて七時五十分より四十分間、郊祭式場、同十一時四十分より五十分登極式に於て東京より來援した松內アナウンサーの名調子によつて日本及滿洲全國に細大洩さず放送され、同じく滿人アナウンサーからも滿洲語で放送されるが同日は廣田外相の奉祝演說、謝外交部總長のこれに對する答辭を始めとして日本兒童の滿洲語の滿洲國歌、滿洲兒童の日本語の君ヶ代合唱の交歡放送もある

待たるゝ明日 湧き返へる賑ひに

晝から夜への歡樂の大行進

待望の御大典第一日を迎へて明一日の首都新京は全市民をあげて歡喜と興奮の渦卷と化するであらう、空には飛機の亂舞するあり、煙火は城內と附屬地に呼應して晝夜間斷なく打揚げられる、滿人側の餘興としてはお馴染みの高脚會を始め秧歌會、龍燈會、獅鳳會、獅子會それに珍奇な滿洲式の假裝行列が城內附屬地各商務會を中心にぞん〳〵と繰出される、一方日本人側でも負けてゐるものか待ち兼ねた新京料理店組合、三業組合の紅裙連が消囃子も賑かにそれ〳〵屋台に分乗して繰出の出演であるだけに人目を奪ふであらう



(右)は伊太利產の高級オニキス台に銀製四君子の模樣蘭花菊花竹梅に双龍の浮彫に金色をあしらひたるものにて皇后陛下御使用の寶石箱も四君子の化模樣に中和の鳩を彫刻し金色を鹽梅に配したるいとも美麗なるものであら是より先之義に森洋行主が東京に赴き斯界の圖案彫刻の第一人者たる圖案家飯田惠義氏片山彫刻師に意を含めて製作せしめしものにて飯田片山兩氏も兩陛下日常の御使用品の事とて一家の光榮とし一層熱意をこめた傑作品である

森洋行から銀製インクスタンド等獻上

滿洲國大典に際して森洋行主森義三郎氏より新皇帝皇后兩陛下に美麗なるインクスタンド及び寶石箱を獻上した、皇帝陛下御使用のインクスタンがあり二日には鄭總理、菱刈大使の交歡放送が行はれる

寒氣は幾分增すが天氣は上々

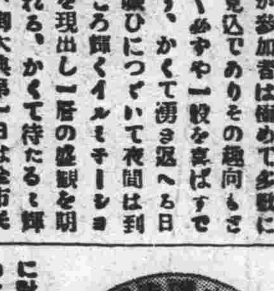
あす盛儀の日の天氣豫報

各地の氣象を綜合した新京觀測支所では北西の風時で朝々幾分冷氣を增すかも知れないが天氣は絕好であると豫測してゐる

時の國都新京はすつかり慶祝の裝ひを終つてあすに迫つた大典をまつ焦燥と感激ー市民にとつてこの宵は實にもどかしさにたへぬ一夜である、紙一重の外に忍びよつた明日の天氣は晴?風?雪?滿洲國內各種團體その他の假裝行列は市民誰れでも參加が出來、一等以下それ〴〵懸賞が附されてゐるので既に人氣を呼んでゐるが參加者は極めて多數に上る見込でありその趣向もさり〴〵ゆすや一般を喜ばすであらう、かくて湧き返へる日中の賑ひにつゞいて夜間は到るところ輝くイルミネーションの街を現出し一層の盛觀を期待される、かくて待たるゝ輝かしい御大典第一日は全市民歡喜と興奮に一日を送ることになるのである

奉祝記念のスタンプ

既報——新京郵便局の記念スタンプは二十八日新京郵便局から送達された同スタンプは三月一日から三日まで料金完了の有封書狀郵便繪葉書にのみ捺され記念消印の希望者に對しては四五六の三日間求めに應ずることゝなつてゐる



假裝行列の受賞審査

三時から六時迄地方事務所で

明日の大典奉祝假裝行列に新京地方事務所では審査の上賞品を受與することゝなつたが審査をうけたい人は同日午後三時から午後六時までに新京地方事務所へ來り審査をうけられたいと

江戸屋の小火

二十八日午前十一時ごろ市內東二條通飲食店江戸屋から出火し屋根裏一部を燒失し同十一時十分鎭火した、原因は煙突の不完全から損害二十圓

宮島新三郎氏逝く

(東京)現文藝批評界の權威早大教授宮島新三郎氏は二十六日夜腦溢血で倒れ二十七日朝逝去し

突如出現した新京唯一性デパート

帝都の中央でジャズの高鳴るカフエー街富士町二丁目のくに湯横に今度新たに「性」に關する專門店が出まして店內には猥奇的な粹客や御婦人達に充分滿足を得られるような「性の珍具」や必要品が澤山取揃へてあるので一度御來店になれば性に對する惱みは立ちどころに解決されます

三月一日　同二日　同三日

奉祝

曠古の御盛典を壽く爲め新裝を整へました御大典に相應しい乙女のサービス振りを御覽下さい

巫子サービス

▲三日間に御越しの皆樣に美人寫眞入りのお杯を進呈!!

春の陶醉の歡樂境!

サロン　富士

電話三四五六番

奉祝假裝舞踏會

滿洲國御大典奉祝の爲め三月一日、二日、三日午後七時よりダンサー一同揃ひの假裝をして奉祝舞踏會を催します

餘興としてダンサー總動員にて新京音頭、さくら音頭、高麗音頭の踊りを御覽に入れます

ダンスホール　キヤピタル

電話三八六〇番

慶安異聞 艶魔地獄

（讀上演映）玉水三郎
（繪）長谷川小信

（二百八十七）

嵐の夕なぎ（十）

折柄風はさつと、三保の方から吹おろして來た。

船へ大蠶は乘移つた。三平とお菊も乘らねばならなかつた。

「待たつしやい」

何處からか、語尾の強い一句が聞えた。ヘッと三平お菊は、聲する方を見た。

「誰だ……待てとは」

斯う言つた大蠶の前へ、苫船を離れて、すつくと許り立つた最前の武士は、莞爾として、

「待てと申したは拙者でござる。いやさ別木庄左衛門でござる」

「オヽ思ひ懸けぬ所で、コレハコレハ」

大蠶は一禮した。庄左衛門は船から登つて、

「何と大蠶、此男女二人、神風丸へ連れて行く事、少しの間猶豫しては下さるまいか。イヤ此庄左衛門に一夜だけ、お預け下さるまいか」

大蠶は首を振つた。

「外ならぬ別木殿のお言葉、應と言ひたいが此事のみはお斷りだ。男の意地として……」

「それは無理からぬ事ぢやが、其處を一つ長い事とは言はぬ。今宵一夜を……なア大蠶」

三平とお菊には、此二人が如何なる關係の知己か判らなかつた。

それは立派な武士と町人……しかも一方は氣荒な船乘り稼業。何故二人が此處に落合つたか、大なる疑問であつた。

けれども焦眉の急を救ふやうに、此武士の出て來て呉れたことは嬉しかつた。……と思ふと同時に、此武士の善か惡か又疑問であつた。

雨さへ降り出し、險惡な夜空となつて來た。

大蠶は斷乎たる決心……といふべき態度になつて、

「別木殿、折角の仰せなれども、此一事は御免を蒙る。時刻も移れば今晩はコレで失禮……大分風も強いゆえ……」

斯う言つて更にお菊の手を取り艀船へ飛び乘つた。

「三平とやら、お菊に話す事あらば、此船へ乘るが可い。愚圖々々するなら捨て置いて行くぞ」

此場合、三平はお菊一人を、神風丸へはやれなかつた。

「何うぞ私も共に……」

同じく飛乘つた。

武士は最早是までと斷念したらしく、

「大蠶、いやさお從大蠶とやら。捨ての大事……一婦人の爲に。大事を過らぬやうに……」

大蠶は船中に立つて、胸を叩いて言つた。

「神風丸船長でござる。御心配は御無用々々」

「オヽそれ聞いて安堵、何かは明日荒右衛門殿へ……」

「オヽ左樣に願ひたい」

艀の船夫は櫓を突張つた。ユラユラと船は出る。櫓は櫂に代つた。

忽ちにして暗い黑潮に隱れて、風雨も人も消して了つた。

武士は獨り沖の方を透かして見て、無意識になつてゐた。

「別木樣。此風雨に斯樣な所にお在でございましたか」

「オヽ何うであつた。船番所や神の篝火は……」

「アレあの通り、未だ篝火は焚いて居りますが、船番所には常とは違つて、十人以上の役人が詰切り居りますれば、愈々タヾ事ではござりませぬ」

風雨は益々烈しくなつた。瀧の一方に其風雨の中で又もや何者か樣態を詰めた。

三月一日　木曜
舊正月十六日　辛未　佛滅　執　壁宿

●一白の人　進退に窮する日　落穴に墜ちたる如くならん　甲と乾と亥が吉
●二黑の人　諸事均衡を失はんとする日常業に安んじ吉　丙と丁と申が吉
●三碧の人　希望も計畫も破壞せらるゝ日輕動を戒しむ　甲と乙と丙が吉
●四綠の人　失ふ所多くして得る所少なし冗費を警しむ　丙と申と庚が吉
●五黃の人　進事すれば死屍累々の狀を呈す守備が安全　丁と申と寅が吉
●六白の人　萌せずして萬事展開すべき幸運日利福あり　申と庚と子が吉
●七赤の人　地位に安んじ分限を知らば益々好轉する日　辛と壬と艮が吉
●八白の人　山又山を越え來り終に人里に出でたる如し　庚と辛と戌が吉
●九紫の人　氣運旺盛にして過ちなきも妙に行すは不可　巽と丙と申が吉

大阪商船出帆

門司、神戸（大阪）行
×印二三等船客設備船（午前十一時大連出帆）

▲香港丸	三月一日
×しあとる丸	三月二日
▲ばいかる丸	三月四日
▲亞米利加丸	三月六日
▲はるびん丸	三月八日
▲うらる丸	三月十日
×たこま丸	三月十一日
▲うすりい丸	三月十四日

●切符發賣所
滿鐵沿線主要各驛及各地ヂヤパンツーリストビユーロー案内所
船車連絡切符（往復切符は汽車二割引、汽船一割引、通用期間二ヶ月）
大連、門司、神戸間乘船切符（往復切符は復路運賃二割引通用期間三ヶ月）
●專屬荷扱所
各地國際運輸會社支店
大阪商船株式會社大連支店
電話四一三七番
奉天出張所電話四〇八九番
新京出張所電話二三一六番

銅版　凸版
北澤製版所
新京…

新京日日新聞社
營業部
電三三〇〇番

新京にも――
「東氣分の……」
嬉野へ!!
一度お越しを願ひます
三笠町三丁目
料亭　嬉野
電話三八三〇番

會席御料理
御宴會は勉強して
お引受け致します
會席御料理　たでの家

金物の御用は何でも揃ふ店
……取扱品目……
建材用金物　家具建具金物　鐵工土農用具　家庭用金物　度量衡各種
露式金物類　大工道具一式　和洋打刄物　ゴムホース類　衛生陶器類
其他荒物一式
三笠町二丁目（演藝館前）
金物百物店　西脇洋行
電話二二四〇

大滿洲國御大典
奉祝マーケット
三月二十八日ヨリ三月三日マデ
皆様の浪花電
電話新京三五九三番

開業御披露
從來古村氏の經營なりし食道樂二條軒同氏の都合により今回私が繼承し店名を『あかつき』と改名し幾多の改善を加へ最も大衆的食道樂として滿洲國帝政實施の三月一日を記念し開業致す事となりました何卒幾久しく御引立の程を御願ひ申上げます
尚階下ホールの大改築完成し階上日本間は五十人様迄の御宴會出來得る様致しました何卒御利用の程を!!
食道樂　あかつき
山口參之亟
東二條通り二條橋詰

新治療劑
モルヒネ中毒
前日本京都帝國大學教授　醫學博士　藥學博士　松下禎二氏創製
大阪藥學專門學校教授　醫學博士　井上康治氏
大阪慈惠病院長　醫學博士　橋口田氏
醫學博士　今井泰藏氏
實驗推奬
ノンモルピン
麻醉藥ヲ含有セズ、根本的ニ體質ヲ改造シ中毒症狀ヲ緩和解毒セシム、副作用絶無、一二回ノ注射ニ依リ常用麻藥用量ヲ半減シ、短期間ニ無苦痛裡ニ快癒セシム
強力解毒液
ネオスコモルヂン
頑固ナル慢性中毒患者ニシテ特ニ禁斷症狀ヲ恐怖スルモノニ對シ漸減的ニ快癒セシム、副作用絶無ニシテ短時日間ニ健康ヲ恢復シ絶對ニ本劑ノ習慣性渇望性ニ罹ル恐ナシ
適應症（モルヒネ、コカイン、ヘロイン、パビナール、コデイン、阿片、ナルコポン、パントポン、スコポラミン、其他類似品類一切）
文獻進呈
製造元　藤定洋行醫藥研究所
大阪市北區堂島ビルヂング四一五
總發賣元　小寺洋行
電話北自五八九〇番至五八九九番
振替口座大阪三二六二五番

ブラク
美の素石鹸

あたしの一番好きな石鹸!
第一、品質がよくて香りがとても甘美で使ひ心地も一番よいクラブ美の素石鹸!
川崎弘子

正に美の素石鹸の時代ですすばらしい賣れ行きです

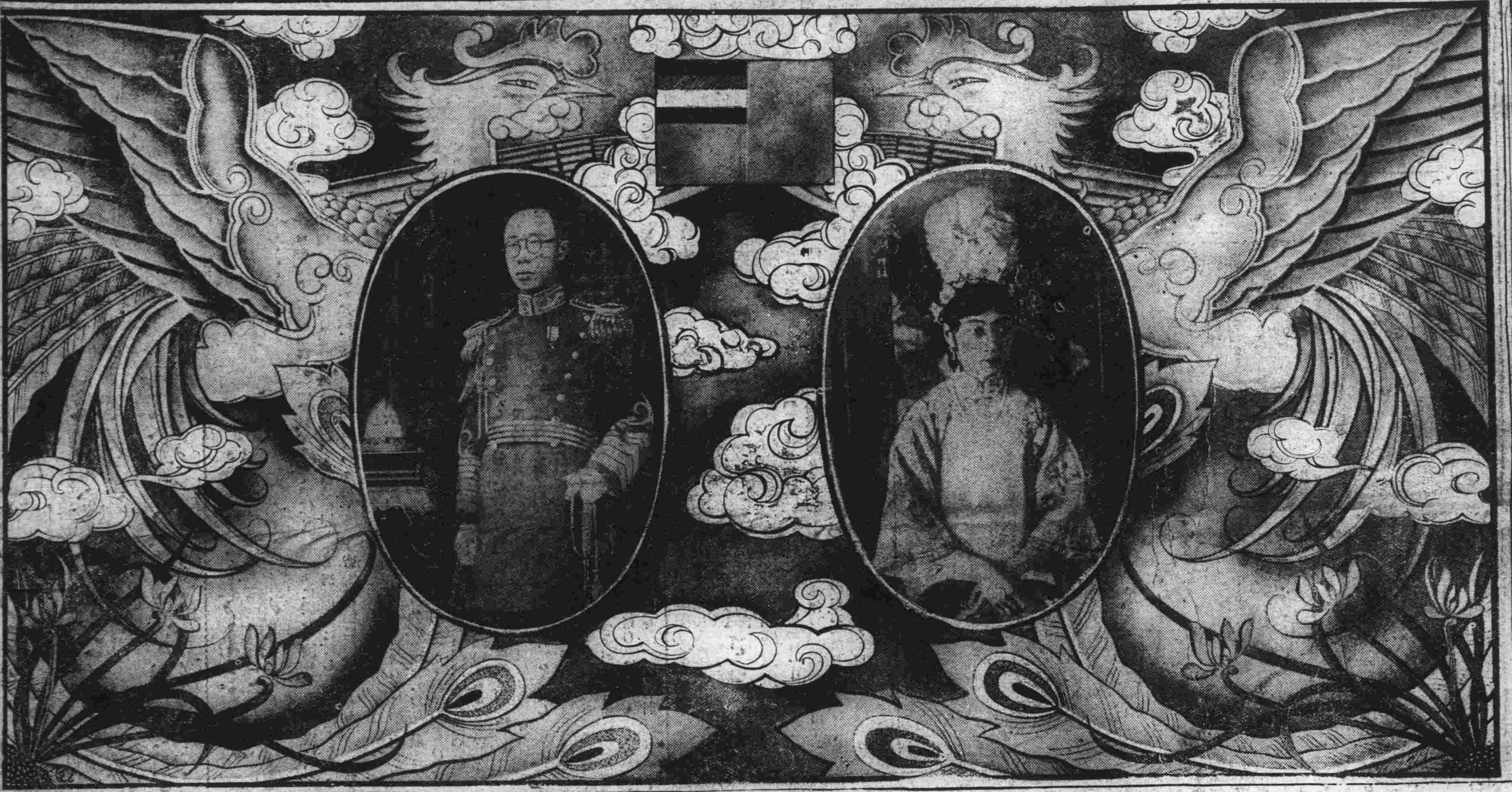
クラブ洗粉・クラブ美身クリーム・クラブ白粉・クラブ頬紅・クラブ口紅

祝御大典
曠古の御大典を祝し奉り
三月一日より三日迄粗品呈上
定評ある
和定食と一品料理
櫻花爛漫たる
氣分の良いホール
奉祝サービス
東二條通十一
カフエー人形座
電二五三〇番

健康の素は牛乳
品質第一
三宅ハ牛乳
健康の要素の凡てを含有するは牛乳の他にはありません
牛乳の御用は皆樣の
三宅牧場
電話二〇八番

大正九年十二月十四日　第三種郵便物認可

新京日日新聞



滿洲國第一世皇帝
けふ登極の御大典
南郊に昊天を祭る郊祭の式後
愈よ御登極の御儀

全滿三千萬蒼生が、その赤誠の誠を現はして待ちに待つた、大滿洲帝國第一世皇帝陛下御即位の大典は、いよく今日三月一日、執行せられ、南郊に昊天を祭つて郊祭の式をあげ、續いて登極の式をあげさせられるのである、張家の非政と塗炭の苦に沈淪してゐた五族三千萬國民は、今日の佳き日を如何ばかり待つたことか？大同元年三月一日建國以來、執政を呼ぶに『皇帝』と呼び帝制實施要望の請願、建白書は、全滿津々浦々から建じられつゝあつたが建國第二周年記念のこの日遂に天命は英邁なる溥執政に具現して、こゝに神人一体の皇帝として即位することとなつたのである、三千萬蒼生の歡喜、友邦日本の欣喜は如何ばかりか、空は一點の雲もなく晴れ渡り、沿道には塵一つ止めず瑞氣天地に漲り、嚴肅の氣は全市に溢れてゐる、この盛典を奉拜せんとする赤子は、早朝から南郊の大同大街、大同廣場に續々と詰めかけ、その數無慮數萬と謂はれ、今や全市はもとより全滿の天地は、三千萬國民の歡喜とこの御大典奉祝の祝意が充ち滿ちてゐる

午前八時御出門
鹵簿肅々と祭場へ
文武百官外臣お待ち申上ぐ

曠古の大典の劈初に當り、親しく南郊に昊天を祭り給ふべく、畏くも三日間潔齋遊ばされた

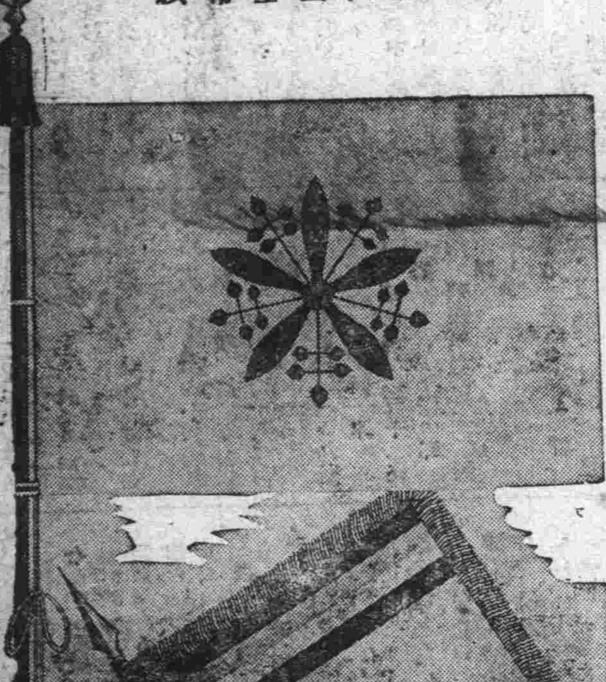
【陛下】には一日早朝御起床遊され、齋戒沐浴昊天に太湯を拜して默禱香を焚き身を潔めさせられ、長袍の上に　を御着頂上に寶珠を飾つた滿洲帽古式の質素な御祭服にて午前八時御居間を出でさせられ承光門前にて御召自動車に乘御遊ばさる鹵簿は宮門を出御、一路大馬路を經て朝日通りを眞直ぐに拔け沿道嚴重なる警戒の中を八島通りを横斷、兩側の一般奉拜者の敬禮を受けさせられつゝ鹵簿は大同大街を曲つて軍樂隊の奏樂裡に諸兵指揮官千克沈少將の號令一下一同捧銃の最敬禮裡に御通過、大同廣場右廻りにて一路順天廣場の式場に向ひ、午前八時十五分式場に著御、鄭國務總理大臣、各院長、各部大臣以下特任、簡任の諸官及地方代表等並に外賓は或は燕尾服或は青馬掛に深藍長袍の滿洲國大禮服を著用して

【整列】謹みて奉迎する中を中央の白砂を敷き詰めた御通路上に玉步を運ばせられ、天幕內の御幄舍に入御休憩あらせられ、その間に文武百官參列員は祭場內に整列し謹み入壇せる菱刈大使以下の外賓は所定の位置に着き、かくて午前八時二十分、百一發の皇禮砲が殷々と轟く中に　陛下には掌禮官御恭導の下に壇上に登らせられ、南面して御定位につかせ給へば陪祀官はその向を南に轉じて立つ、同時に迎神の儀が嚴かに行はれ續いて　陛下には神案の前に進ませられ玉を薦し帛を薦し禮を行はせられ、再び神案の御定位に復し給ひたる後、拜前に進ませられ三爵（御神酒）を獻じ祝文を獻じ給ひて定位に復らせ給ひ、拜禮を行はせられる、此時奉璽官は恭しく卓上に安置された璽を捧ぐれば　陛下には親しく之を受けさせられ再び奉璽官に授け給ひ典賀官送神の儀を行ひ、司玉官玉を奉して退き　陛下には更に禮を行はせられ送燎の儀ありて午前八時四十分郊祭の式典を終へさせられ、御座幄舍に還御の上

【暫く】御休憩あり、その間に外賓、文武百官は壇下を退出して奉送の定位置につくや　陛下には靜かに御座幄舍を出御し給ひ、午前八時五十分お召自動車に乘御、行幸路を逆に途中奉拜の禮を受けさせられつゝ鹵簿整然、宮中に還幸あらせられるのである

御即位を親達
中外に聲明發表

かくて即位御大典の式を終らせられた皇帝陛下には、親しく世界七ケ國に對し、皇帝即位の旨御親達遊され、又謝外交部大臣の名によつて對外聲明が發せられることとなつてゐる



輝く滿洲國皇帝旗

陸軍式大禮服で
登極に臨ませらる

昭天廣場の郊祭場より退出せる外賓文武百官は、更に午後十一時迄に續々として宮中に參集し、菱刈大使も亦午前十一時三十分勤民樓內に準備された休憩室に入り、同四十五分には參列員一同式場に入り參列斯くて正午　陛下には陸軍式大禮服、フロツクコート式二列釦淺藍色絨にズボンは二條の黃側章を附し、上衣襟は全金色にて双龍を刺繡し、肩には海軍式エホレツトルに上部に蘭花及銀星章三個並に蘭花崩し徽章を取付け金色參謀懸章を吊り、袖は龜甲形刺繡三段の外手織山形金線三條を縫ひ更に國華高粱形を刺繡し釦は總て金色龍形模樣なるをお召し、刀帶の表は黑革裏は黃絨飾帶は金製の總金付の大元帥刀を佩用、正帽はヘルメット形黑塗金飾を施し、尻に蘭花を現はし

【帽尖】には金光色の本獅子毛を被ひ、帽章は高粱及五色の星形なるを戴かせられ軍樂隊の奏樂裡に勤民樓に入御便殿に御休息遊され、かくて正午　陛下には大禮官恭導侍從武官長等を從へさせられ諸員敬禮の裡に登極式場に臨御遊され玉座に登らせ給へば、參列員一同恭しく最敬禮を行ひ謹て　陛下には詔書に御璽を鈐し給ひ、綸旨朗らかに之を宣詔し續いて年號を康德と改元し給ふ旨宣し給ひこゝに青史に炳として輝く皇帝に即位され終るや鄭總理は徐々に前進し謹んで賀詞を奏上し續いて聲高らかに　陛下の萬歲を三唱すれば參列員一同之に和しその聲は四圍を壓して轟き天地もために搖ぐ、玆に於て鄭總理は恭しく前進し詔書を拜受して舊位置に復し、參列員一同と共に再び最敬禮を行ひ、午前零時二十分大禮官恭しく式の終了を奏すれば　陛下には

【劉喨】たる奏樂さ諸員の最敬禮裡に龍顔いと麗しく入御せられ參列員亦續いて退下こゝに麗ばしい即位大典の第一日の式を終へさせられる

滿洲國制服

服裝も純然たる滿洲古式により文官その他はニンビ服にシルクハツト青馬掛に深藍の長袍を着し帽子は緣にテンの皮を付けた滿洲帽を使用、武官は新しく制定された正式軍裝によることゝなつてゐる

美々しく飾られた
登極並に饗宴場

登極並に二、三兩日の饗宴を執せられる正殿は曾つて日滿議定書を調印せる由緒ある室で壁は黃色草模樣絹張りとし床には一面燃ゆるが如き緋毛氈を敷きつめ華麗なる電飾を吊す御座所は古代支那模樣の屋根形を金泥に塗裝して三段を設け、左右に槍形裝飾を施し背部に薄色絹張とし中央に蘭花燦たる玉座を置き左右に帝帽子台を又左前方段下には御璽台を置き森嚴の氣自ら迫るものがある又饗宴場の壁は金泥塗上で床に唐草模樣の毛氈を敷きつめ華麗なる電飾の外側燈を吊し、正面には玉座を設け、正面の反對側に奏樂室準備室が設けられ、參列員の食卓は凹字形に配列されてゐる

國務總理佈告

鄭國務總理大臣は廣く官民に　新帝の御仁慈を周知せしむべく本日左の如き佈告を發した

國務院佈告第一號

爲佈告、玆に恭しく

皇上登極の大典に逢ひ普天率土與に其慶を同ふするの日にあたり本國務總理大臣欽て

聖諭を承け赦令を奉行して解網の仁德を洽くせるの外更に恩綸を拜し、孝子、節婦を表彰し耆老を敬式して以て禮俗を淳ふし、又慈善事業を獎勵し其發達を翼成すべく恩賜財團を設置し更に中央社會事業聯合會に命じて罹民を救恤し饑寒の民をして同しく其惠に沾はしめ、加ふるに文武の官職に在りて其身を建國の業に殉じたる者の遺功を追褒して遺族を撫卹すべく均しく國帑より支撥し天慈の遺漏なく膏澤の普及を圖るべく徧ねに案を具して有司に飭令し以て其徹底を明せり薄海の民皆克く一視同仁の鴻床を體し相與に更始維新の德政に興らんことを特に此の佈告し咸な周知せしむ

康德元年三月一日

國務總理大臣

新帝勅使を以て
帝國の繁榮を北陵に御祈願

祖先尊崇の御念篤き　新皇帝に於かせられては近く清朝の靈廟たる奉天郊外北陵に勅使を御差遣になり、新帝國の繁榮を祈願遊ばされることゝなつた、尚適當の機會に於て御自身御參拜あらせられる由洩れ承はる

三鞠九拜の
禮を廢す

今回の御大典に際しては、全然清朝の遺風を廢し、儀禮は三鞠九拜を廢めい、最敬禮と敬禮の二樣式とし、脫帽して上体を四十五度に前に屈することゝなり今回の式典も凡てこの敬禮様式によつて行はれる

二三兩日
大饗宴

晴れの盛典を終へた　新皇帝は三月二日三日兩日に亙つて內外の使臣百僚をお召しになり饗宴を賜り、三月二日正午より第一饗宴　遊ばされるがこの日饗宴お召しの光榮に浴した菱刈大使小林駐滿海軍部司令官小磯關東軍參謀長岡村同參謀副長、關東軍各兵團長林滿鐵總裁並に地方官民代表等百有余名は宮中勤民樓上の饗宴場に參入し、謹みて出御の時を待ち奉る程に、陛下には扈從員を從へさせ給ひ正午參列員最敬禮の裡に御臨場宴席正面の玉座に着かせ給ふ、謹て　陛下には玉音朗らかに勅語を賜ひ菱刈大使參列員一同を代表して祝詞を奉れば、天機いと麗しく之を御嘉納あらせられ、續いて御宴は開かれ軍樂隊の奏樂裡に和やか祝福の氣は場外に溢れ瑞兆天地に張り斯くして芽出たく饗宴を終り、陛下には扈從員を從へて入御し給へば參列員は一齊に最敬禮を以つて奉送、續いて退出第一日の饗宴を終るが第二日の第二饗宴は三日正午から鄭總理以下約百四十餘名をお召しになり、同様御饗宴を賜り、鄭總理大臣祝詞を上申して饗宴を開き奏樂隊の奏樂裡に宴を終ることゝなつてゐる

けふの
記念行事

けふの新京における奉祝行事は

▲新京神社で午前六時半から國旗揭揚式、午前九時半から奉告祭

▲大同廣場で午前十一時から午後零時まで特別市主催の祝賀式、午後零時から同廣場に旗行列參加者集合

▲屋台、假裝行列は隨時隨處に繰り出す

外人の放送者變更

夕刊所報午前六時十五分からの對米放送のアナウンサーはミルス氏の豫定であつたがマンチユリアンデリーニユースのジヨージゴルマン氏に變更された

天氣と氣温

けふの天氣北西の風晴い二十八日の氣温最高零下二度七分最低零下十三度四分

國旗をかゝげ
奉祝燈を揚げませう

一日から三日まで三日間は大洲帝國皇帝即位慶祝の意を表するため各戶毎に日滿國旗を掲揚し奉祝燈を掲げませう

滿洲帝國の大典を壽ぐ

今日三月一日、滿洲國建國二週年記念日にあたり、王道宣布の天命に遵ひ、順天安民の大義に基き、執政溥儀氏、滿洲國皇帝の位に即かせられ改元して康德といふ、斯くて萬世不易の帝業を創始せらる

×

顧みれば肇國わづかに二星霜、内に外に近代國家としての内容形態、間然する處なきに至りしは、一つは溥儀執政の盛德に基くもの他は與に天意の然らしむるところなるべし、滿洲國として此の曠古の偉業完成の裏には、三千萬民衆が皇上萬歳を叫んで、手の舞ひ足の踏むところを知らぬ歡喜の滿ちるは蓋し想像以上であらう、友邦日本としてまたこの新帝國の完成に對し慶祝の意を表せざるはなし、人類平和の大義を徹底せしむべき重大使命をおもふに混亂せる世界を淨化し、我日本、而して今や亞細亞復興の意氣燃え熾る時に際し死もよし、新たに滿洲帝國を加へ得たることは東洋永遠の平和を確保する上に於て、更らに世界の混亂平和化と平和促進とを明するに頗る力強く役立つ段階として亞細亞の慶びであり、日本の喜びである

×

曩日滿洲新國家の誕生に際し列國はたゞ徒らに嫉視と猜疑の念に驅られ、またその前途を輕視し、相謀して承認を阻み、ひそかに覆滅の日を期する如き愚を敢てせしも、滿洲國國礎は愈よ鞏固に、急速なる國運の進展轉じて新帝國の誕生に對し、眼を反け耳を覆ふも、この嚴然たる事實を承認せざるを出來得ぬであらう

×

然らば即ち、滿洲帝國に對する世界各國の承認は蓋し單なる時の問題たるに過ぎず、恐らくは世界の明日の問題として、幾干もなく解決するであらうことは豫明するに難からじ

×

斯くして、東洋の平和と世界の平和とは共に、この滿洲國の創建を契機として必ずや速かに實現し得られ同時に我日本が擔へる天機の使命を完ふすることを得るに至るであらう

×

此意味に於て、日本は滿洲國第一世皇帝の登極を祝福せざるを得ぬ、而して吾人は滿洲新帝如の生誕を慶賀し滿腔の祝福を捧げ亦運の隆昌と帝祚の萬歳を祈るものである

御登極に際して 大赦令發布せらる

刑余者いづれも御仁慈に感泣

聖恩四海に普し

皇帝陛下には滿洲國の第一世皇帝として即位さるゝと共に鑑して險に走り、饑寒に迫られて牽率に陷れる者をも憫み給ひ、即位登極さるゝと共に、それ等の罪による刑余の者に對し恩赦減刑することゝなり長くも恩赦令を發布されたが恩赦に浴する囹圄の者は、今更乍ら新帝の御仁德に感泣してゐる

勅令第八號

恩赦令

第一條　大赦特赦減刑及復權は均しく本令の定むる所に依る

第二條　大赦は勅令を以て犯罪の種類を定めて之を行ふ

第三條　大赦は別段の規定ある場合を除くの外大赦ありたる罪に付左の效力を有す

一、刑の論知を受けたる者に付ては其の論知は將來に向て效力を喪失す

二、未だ論知を受けざる者に付ては其の公訴權及自訴權は消滅す

第四條　特赦は刑の論知を受けたる特定人に對して之を行ふ

第五條　特赦は刑の執行を免除す、但し特別の情形あるときは將來に向て刑の論知の效力を失はしむることを得

第六條　減刑は刑の論知を受けたる者に對し勅令を以て犯罪若は刑の種類を定めて之を行ひ、又は刑の論知を受けたる特定人に對し之を行ふ

第七條　勅令に依る減刑は別段の規定ある場合を除くの外將來に向て刑を變更す、特定人に對する減刑は刑の執行を減輕す、但し特別の情形あるときは刑を變更することを得

第八條　緩刑の論知を受けたる者に對しては刑の論知の效力を失はしむる特赦若は刑を變更する減刑を行ひ又は其の減刑と共に緩刑の期間を短縮することを得

第九條　復權は刑の論知を受けたる爲法令の定むる所に依り資格を喪失し若は停止せられたる者又は公權褫奪の論知を受けたる者に對し勅令を以て要件を定めて之を行ひ又は特定人に對して之を行ふ　但し刑の執行完畢せざる者又は執行の免除を得ざる者に對しては此の限に在らず

第十條　復權は資格を將來に向て回復す

復權は特定の資格に付之を行ふことを得

第十一條　刑の論知に基く既成の效果は大赦特赦減刑又は復權に因り變更せらるゝことなし

第十二條　特赦又は特定人に對する減刑若は復權は司法部大臣の申請に依り國務總理大臣之を上奏す

第十三條　刑の論知を爲したる法院と管轄區域を同じくする檢察廳の長官又は受刑人の所在する監獄の長官は司法部大臣に對し特赦又は特定人に對する減刑の申請を爲すことを得

監獄の長官前項の申請を爲すときは刑の論知を爲したる法院と管轄區域を同じくする檢察廳の長官を經由すべし

第十四條　特赦又は減刑の申請書には左の文件を附具すべし

一、判決の繕本又は節本

二、刑期計算書

三、犯罪の情狀本人の性行受刑中の行狀將來の生計其の他參考に供すべき事項に關する調查文件

第十五條　刑の論知を爲したる法院と管轄區域を同じくする檢察廳の長官は司法部大臣に對し特定人に對する復權の申請を爲すことを得

復權の申請は刑の執行完畢し又は執行の免除ありたる後に非ざれば之を爲すことを得ず

第十六條　復權の申請書には左の文件を附具すべし

一、判決の繕本又は節本

二、刑の執行完畢し又は執行の免除ありたることを證する文件

三、刑の執行完畢し又は執行の免除ありたる後に於ける本人の行狀現在及將來の生計其の他參考に供すべき事項に關する調查文件

第十七條　特赦減刑又は復權の裁可ありたるときは國務總理大臣は特赦狀、減刑狀又は復權狀を司法部大臣に交付し司法部大臣は之を刑の論知を爲したる法院と管轄區域を同じくする檢察廳の長官に送付し本人に下付せしむ

第十八條　大赦特赦減刑又は復權ありたるときは刑の論知を爲したる法院と管轄區域を同じくする檢察廳の長官は判決の原本に其の趣旨を記載すべし

第十九條　本令中司法部大臣の職務は軍法會審に於て刑の論知を受けたる者に付ては軍政部大臣之を行使し、檢察廳の長官の職務は刑の論知をなしたる軍法會審の軍法官之を行使す

附則

第二十條　本令は康德元年三月一日より之を施行す

第二十一條　未だ地方法院又は地方檢察廳の管轄區域に編入せられざる縣其の他の地方に於ては本令の適用に付ては司法事務を掌理する官署は之を法院と看做し檢察事務を掌理する官吏の上席者は之を檢察廳の長官と看做す

朕參議府ノ諮詢ヲ經テ大赦令ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

康德元年三月一日

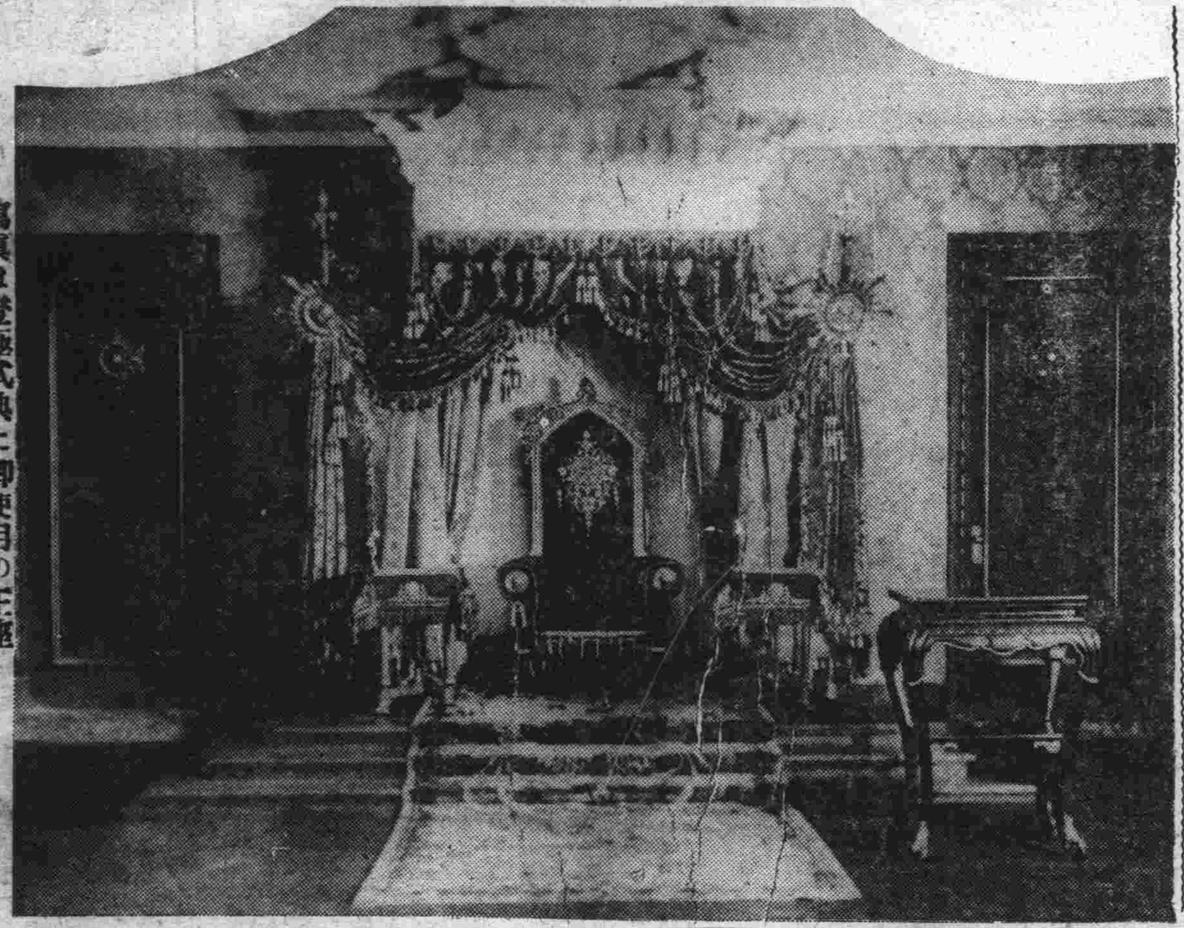
國務總理大臣

司法部大臣

滿洲國旗を 不法にも送還さる

總領事館嚴重抗議せん

〔天津廿八日發國通〕滿洲國帝大典三月一日をあてこみ最近大阪から輸入した當地崗水洋行の滿洲國旗三百本が海關の不法行爲によつて遂に發送元へ送りかへされた、總領事館では右は明かに條約違反なるを以て嚴重取調方を抗議するものと見られてゐる



寫眞は登極式典に御使用の玉座

官吏の俸給額

一割乃至五分減ず

宮內官吏の任用に關し、一日帝室令が發令されるがこれによれば從來の俸給に比し一割乃至五分宛減額されることとなつた、即ち新舊の俸給を比較すれば左の如し

新俸給	等級	舊俸給
年俸 六、八〇〇圓以上の者	簡任 三等	七千圓
同 五、二〇〇圓以上六、二〇〇圓以下の者	簡任 四等	六千六百圓
同 四、〇〇〇圓以上四、八〇〇圓以下の者	簡任 五等	六千二百圓
同 三、二〇〇圓以上三、七〇〇圓以下の者	薦任 六等	五千八百圓
同 二、六〇〇圓以上三、〇〇〇圓以下の者	薦任 七等	五千四百圓
同 二、四〇〇圓以下の者	薦任 八等	五千圓
月俸 二〇〇圓以上の者	委任 一等	三百圓
同 一七〇圓以上　一九〇圓以下の者	委任 二等	二百八十五圓
同 一四〇圓以上　一六〇圓以下の者	委任 三等	二百七十圓
同 一一五圓以上　一三〇圓以下の者	委任 四等	二百五十五圓
同 一〇〇圓以上　一一〇圓以下の者	委任 五等	二百四十圓

外科 性病
大森醫院
梅ケ枝町三丁目
電・四七四三

大赦令

第一條　康德元年三月一日前に犯したる罪は左の罪を除くの外悉く之を大赦す

一、刑法第百二十一條第一項の罪

二、刑法第二百四十條第六項の罪

三、刑法第二百八十二條第一項の罪

四、刑法第二百八十三條第一項及第二項の罪

五、刑法第二百八十四條第一項の罪

六、刑法第二百八十五條第一項の罪

七、刑法第二百九十六條の罪

八、刑法第二百九十八條の罪

九、刑法第三百四十五條の罪

十、刑法第三百四十六條第一項第二項及第三項の罪

十一、刑法第三百四十八條第一項の罪

十二、刑法第三百四十九條及第三百五十條の罪

十三、刑法第三百五十二條及第三百五十三條の罪

十四、刑法第三百七十二條の罪

十五、陸海空軍刑法第十六條第一款及第二款の罪

十六、陸海空軍刑法第十七條乃至第二十條の罪

十七、陸海空軍刑法第十六條第一款第二款及第十七條乃至第二十條の未遂罪

十八、陸海空軍刑法第三十三條乃至第三十五條の罪

十九、陸海空軍刑法第五十九條の罪

二十、陸海空軍刑法第七十七條第一項の罪

二十一、陸海空軍刑法第八十三條及第八十四條の罪

二十二、陸海空軍刑法第九十五條乃至第九十七條の罪

二十三、陸海空軍刑法第百二條の罪

二十四、暫行懲治叛徒法第一條乃至第九條の罪

二十五、暫行懲治盜匪法第一條乃至第三條の罪

二十六、前各款に掲ぐる罪と性質を同じくする舊法の罪

第二條　並合論罪に付刑法第七十條により其の執行すべき刑を定めたる場合に於て其の併合論罪中前條に掲ぐる罪のあるときは大赦を爲さず

前條に掲げざる罪名に觸るる行爲にして同時に前條に掲ぐる罪の方法若は結果たるとき亦前項に同じ

第三條　大同元年敎令第十六號大赦令に依り大赦を得たる者其の後罪を犯したるときは大赦を爲さず

附則

本令は康德元年三月一日より之を施行す

朕參議府ノ諮詢ヲ經テ減刑法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

康德元年三月一日

國務總理大臣

司法部大臣

減刑令

〔勅令第十號〕

第一條　康德元年三月一日前刑の論知を受けたるものにして其の刑の執行前緩刑中執行中執行停止中又は假釋中のものは本令に依り其の刑を減輕す但し其の執行を逃るゝ者は此の限に在らず

第二條　死刑は之を二十年の有期徒刑とす

第三條　無期徒刑は之を十二年の有期徒刑とす

第四條　有期徒刑は刑期の二分の一を減ず但し刑の執行を始めたる者にして其の刑の執行が既に刑期の二分の一を超ゆるときは既執行の期間を以て其の刑期とす

前項本文の計算を爲すに一月は之を三十日とし月の端數は之を塗棄す

第五條　舊法の刑は之に相當する刑法の刑の例に依り之を減輕す

第六條　減刑を爲すは左に掲ぐる罪に限る

一、刑法第二百八十二條第一項の罪

二、刑法第二百八十四條第一項の罪

三、刑法第二百八十五條第一項の罪

四、刑法第二百九十六條の罪

五、刑法第二百九十八條の罪

六、刑法第三百四十六條第一項及第二項の罪

七、刑法第三百四十八條第一項の罪

八、陸海空軍刑法第十六條第一款第二款及第十七條乃至第二十條の未遂罪

九、陸海空軍刑法第三十四條の罪

十、陸海空軍刑法第七十七條第一項の罪

十一、陸海空軍刑法第八十三條の罪

十二、陸海空軍刑法第九十五條第二款及第三款の罪

十三、陸海空軍刑法第九十六條第二款後段及第三款の罪

十四、暫行懲治盜匪法第一條第二項後段の罪

十五、前各款に掲ぐる罪と性質を同じくする舊法の罪

第七條　併合論罪に付き刑法第七十條に依り其の執行すべき刑を定めたる場合に於て其の併合論罪中左の各款の罪あるときは減刑を爲さず

一、刑法第百二十一條第一項の罪

二、刑法第二百四十條第六項の罪

三、刑法第二百八十三條第一項及第二項の罪

四、刑法第二百四十五條の罪

五、刑法第三百四十六條第三項の罪

六、刑法第三百四十九條の罪

七、刑法第三百五十二條の罪

八、刑法第三百五十二條及第三百五十三條の罪

九、刑法第三百七十二條の罪

十、陸海空軍刑法第十六條第一款及第二款の罪

十一、陸海空軍刑法第十七條乃至第二十條の罪

十二、陸海空軍刑法第三十三條乃至第三十五條の罪

十三、陸海空軍刑法第五十九條の罪

十四、陸海空軍刑法第七十七條第一項の罪

十五、陸海空軍刑法第八十四條の罪

十六、陸海空軍刑法第九十四條の罪

十七、陸海空軍刑法第九十五條第一款の罪

十八、陸海空軍刑法第九十六條第一款及第二款前段の罪

十九、暫行懲治叛徒法第一條乃至第九條の罪

二十、暫行懲治盜匪法第一條第一項第二項前段及第二條の罪

二十一、前各款に掲ぐる罪と性質を同じくする舊法の罪

前項に掲げざる罪名に觸るる行爲にして同時に前項に掲ぐる罪名に觸るるとき又は前項に掲ぐる罪の方法若は結果たるとき亦前項に同じ

第八條　大同元年敎令第十六號大赦令に依り大赦を得たる者其の後第六條に掲ぐる罪を犯したるときは其の刑を減輕せず

附則

本令は康德元年三月一日より之を施行す

朕組織法第四十一條ニ依リ參議府ノ諮詢ヲ經テ大同元年三月一日以來ノ法令ノ規定中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

康德元年三月一日

國務總理大臣

各部大臣

慶祝大滿洲國皇帝御即位

在新京日本總領事館
總領事 吉澤清次郎
副領事 佐々木高義
領事 花輪[illegible]
[illegible]

新京地方事務所
所長 荒木章
外一同

吉長吉敦鐵路局
酒井清兵衛

朝鮮總督
宇垣一成

朝鮮總督府
外事課長 田中武雄

朝鮮總督府事務官
兼外務事務官
駐滿軍司令部囑託
堂本貞一

慶祝大滿洲帝國皇帝御即位

新京地方委員

（イロハ順）

伊東正夫
得丸助太郎
劉鳴岐
沼田勇
大原万千百
加藤金保
孫化南
中山恕世
上田賢象
黒田實
山口義人
五味武太郎
宛榮臣
佐藤宇治太郎
宮城調明

滿洲國協和會

滿洲中央銀行

總裁 榮厚
副總裁 山成喬六
理事 鷲尾磯一
同 吳恩培
同 武安福男
同 劉燏棻
同 五十嵐保司
同 劉世忠
監事 闞潮洗

新京附屬地
各學校長一同

大興股份有限公司

資本 國幣六百萬圓（全額拂込）
主要業務 當業、造酒、製油、雜貨賣買、財產ノ管理、代理業、公債、社債券其ノ他有價證券募集並引受
本店 新京特別市北大街第三十六號
支店 奉天、新京、吉林、哈爾賓
營業店 滿洲國內重要地四十七ヶ所

新京組合銀行團

イロハ順

東洋拓殖株式會社支店
朝鮮銀行支店
橫濱正金銀行支店
滿洲中央銀行南廣場支行
滿洲銀行支店
正隆銀行支店
新京銀行

大禮奉祝

國際運輸新京支店
支店長 蓼沼泰一

居留民會常議員
田中善平
松永時三
安藤芳吉
丸山久
行方昇
古谷一
尾崎靜馬
吉井榮吉
松田彌三郎
𣘺本與作
笹沼四郎
中村七之助

吉林燐寸株式會社
日清燐寸株式會社

新京
権太商店
穴澤喜壯次

新京朝日通八一
東亞ホテル
南薫
電話四九二七番

吉川組出張所
老松町二丁目
電話二三一二番

和洋家具
室內裝飾
大和洋行
日本橋通
電話三七〇五番

北原紙店
北原廣

石炭羅紗
建築材料
加藤洋行
電話二〇三二番

土木建築
和成公司
吉村元七郎
電話四七九〇番

建築材料商
西脇洋行
電話二二四〇番

三宅牧場
三宅濱治

和洋食料
調辨所
蓬萊町一丁目
電話二一五三番

新京
電話工業株式會社
寶洋行

向陽ホテル
杉本彈次
大和通七三
電話三八八二番

大陽ホテル
小泉專治
新京永樂町一丁目
電話四九七九番

食道樂
みよし
入船町四丁目
電話四八八八番

洋髪
美顔術
美爪術
フリージャ美容室
常盤町一丁目九
中央通大阪屋號向側町

ダンスホール
キヤピタル

御料理
會席
やよい
電話三四九〇番

新京
城內
新京料理店組合

新京石炭商組合

松茂洋行 電話二〇四二番
泰利號 電話二七六〇番
加藤洋行 電話二〇三二番
大昌煤局 電話二五八二番
裕新公司 電話二三一三番
仁和洋行 電話二五八二番
泰山號 電話二一五八番
新泰洋行 電話三一四九番

新京三業組合
新京檢番

執政德業紀要

參議（前府中令）寶熙

書經に「民は國本なり、本固ければ國寧し」とありますがこれは「人民は國の根本であつて根本が鞏固であれば國家は太平である」と云ふ事を說いたものであります孟子は、「民衆を得て天子たり」と云つて居ますが、これは民衆の心を得て初めて皇帝となり得るものであると云ふ事であります、孟子は更に「民を安んじて王たらば之より禦き能ふはなし」と云つて居ます

□

これは一國の君子として能く人民を保護し慈めばこれに依て「王天下」となり得ると云ふ事を說いたものであります、「王天下」の三字の意義は天下を得て君主たるを得、又何人と雖君子を禦げる事はないと云ふ事であります。私はこれに依て凡そ國家の存する所君主たるものは人民を主体とせねばならないと云ふ事を知り得ると思ひます、一國家に於て何を主体とするかと云ふ事は重要且緊要な意義を有するのであります。東西古今を問はず何れの國に於ても人民を重視し愛撫し養育しなければ國家は興らないのであります

□

我滿洲國は三千萬民衆を抱擁して、國を爲して居ます、即ち一九三二年九月十八日滿洲事變發生後民衆代表は屢々我執政がこの大責任を擔當され更に一個の新國家を創建されんことを請願したのであります、當時執政はこの任に當ることを欲せられず幾度となく御辭退されたのでありますが、結局辭退し切れなかつたのであります

□

茲に於きまして所謂皇帝の身分を以て執政に御就任なされた樣な次第であります、何故皇帝の身分を以て執政に御就任なされたかと申上げますに皇帝の尊嚴と御位とを以てすれば重大事務を處理し得ないと云ふ御心から其御身分をお離れになつて居るかの如く拜察するのであります、我滿洲の人民が水深、火熱の中に既に二十年以上も疾苦して來た事は諸氏周知の通りであります

□

今日、元首に就任された執政は辛亥の年に政權を御退位になりましたが、依然として大清國宣統帝と云ふ尊號は存して居るのであります、これ又諸氏の知る所であらうと思ひます大清國宣統帝を御退位になつて執政に御就任されて已に二ケ年を經過致しました、執政が元來執政に御就任なされた御宗旨は全く人民の爲めであります、御就任以來意を人民に注がれ一日たりとも人民を思はれぬ日はなく人民が暑寒に苦しみ、安寧を得ず、幸福を受け得ないのをいたく御心痛になつて居られるのであります。盗匪跳梁して村落は生活が出來ないから極力盗匪を討伐しなければなりません、人民は困窮して別に蓄積とても無く春季の耕作季に田地を完全に耕す事も出來ないから春耕借款を貸付けねばなりません、又貨幣制度不統一なるため人民の痛苦は一通りでありません、故に金融を整理し國幣を改變しなければなりません。又往時の軍閥は暴虐でありまして不當の酷税を課し爲めに人民は安居して業を樂しむ事が出來なかつたのであります。茲に於て又一切の雜税を減免すると共に糧石税も輕減する必要があります、尚前軍閥の如きは苛斂誅求贅澤三昧に耽り毫も民意を思はなかつた爲め、道路は荒廢して泥土膝を没し人民の苦痛は言語に絶えない狀態でありました。茲に於て又大いに國道を敷設して交通を便利にしなければなりません、以上の如き要政は建國滿二年に至らざる今日に於て順次施行されつゝあるのであります

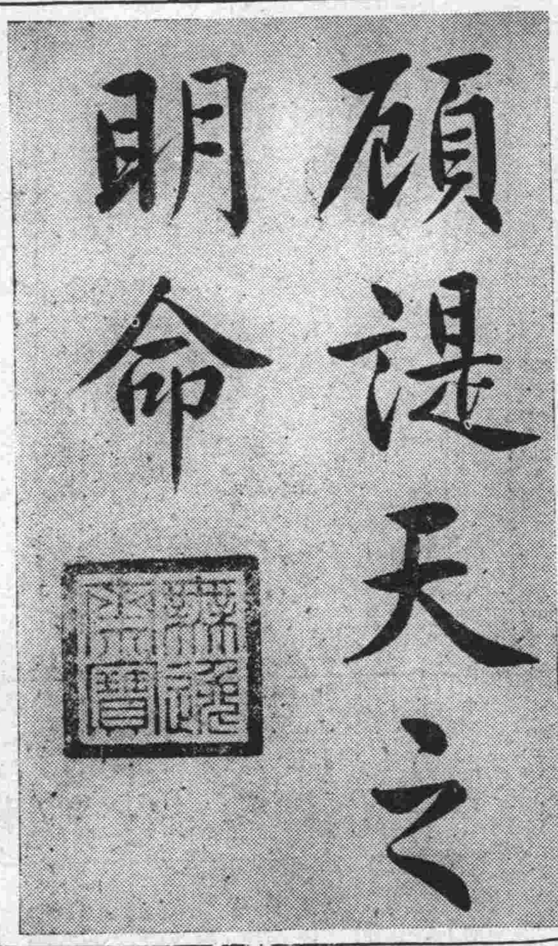
□

然るに我執政は之を以て尚十分に思はれず、現在の盗匪が今尚悉く掃滅され得ないのは現在の民力が未だ完全に恢復されない爲めであるとお考へになつて日夜御心痛されて居られるのであります、尚國内各省に就て申上げますれば旱魃を被る地方、兵禍を被る地方がありますが、其の地方の人民の困苦災難が明かとなり一度慈善團体が義捐金募集の運動を起した所、到る處御内帑金が頒布されて罹災民を救助し、一年の義捐金額實に十數萬圓の巨額に達して居るのであります

□

次に我執政就任後全蒙古王公札薩克の仰せられる所に依れば、執政は我等の若き主人で舊天子であります、大清國二百有餘年間、則ち十數代目の帝位に即かれ皇帝の愛親覺羅氏が再現されて滿洲國の政權を執掌されたと云ふ事であります。尚清朝代々の祖宗の深厚なる御恩澤を顧れば世々代々愛民養民を以て家規されて居られます。清朝の嫡系子孫又曾て數年間皇位に即位された事があります、今日又執政に就任されましたのは常に人民を愛撫し養育されるからであります」故に千里を遠しとせず、遙に執政に御挨拶に參上されたと云ふ事であります蒙古王の御考へは外になく只舊主の溫情を忘れぬ爲めであります内外蒙古は上は王公より下は平民に至るまで最近二十年來、軍閥の虐待、壓迫、苛酷なる徵税を受け其の苦痛は言語に及ぶ所ではありません、執政はこの事情を篤に御承知であらせられましたので蒙古王公が御參上された時或は饗宴を賜り或は莫大なる路費を下されました、尚執政は使臣をして御意を傳へさせられ蒙古王公を慰撫されたのであります。王公等は歸蒙して執政に謁見した有樣を一般に傳へましたので全内外蒙古人民は一人として喜ばない者は無かつたと云ふ事であります

□



次に執政の御日常に就てお話し申上げますれば、執政は殆ど讀書、御閲覽をお好みになります、執政が衷心最も崇拜し遵奉されますのは孔孟の教であります。就中孔子、孟子の教訓であります、執政は嘗て東洋歴史上に於て何處の國に於ても其國の君主が孔孟の道を崇拜すれば國運は興らざるなく、孔孟の道に違背すれば國家は亡びざるなし、尚臣にも斯の通りであります、即ち一國に於て臣民が孔孟の道に循へば其國は治らざるなく、臣民が孔孟の道を廢棄すれば其國は亂れざるなしと申されたことがあります、斯る意味に於て去年の秋上丁の時所謂上丁とは陰暦八月中に一つの丁と云ふ日がありますがその日は我滿洲國の禮節であります、その日に文廟に於て釋菜をされるのであります、文廟とは孔子廟の事で釋菜とは祭祀の事であります

□

更に釋菜に就て辯言しますれば、牛、羊、蔬菜を陳列する意味であります、故に釋菜とは我稱します」當日の釋菜には我執政親しく御出ましになり三跪九叩の禮を行はせられるのであります、大清國時代にありましては祭祀は總て斯樣でありました、之を簡單に申上げますれば跪叩拜と稱する事が出來ます、跪叩拜とは元來聖廟に對して名附けられたものでありまして民國開始以來已に二十年以上中絶されて居ました。今回執政が御自ら跪拜の禮をせられる事は實に執政が孔子を崇拜されることを明かに示すものであります、これ即ち我滿洲國建國以來未曾有の盛擧盛典であります

□

尚文教部設立の教員養成講習所は現在已に第三回の卒業者を出し、其數三百名以上に達してゐます、之等卒業者に對しては各人に執政は四字書を一部宛下賜されます、これ即ち全滿洲國民衆に廣く孔孟の書を讀ましめ、孔孟の道を遵奉して人民を禮教中に歸納させ全國民に孔子孟子を見習はしめ度いとの御心であらうと拜察するのであります、王道政治は實行に當り口頭の標語でもなく又徒に空言に記するのでもありません

□

尚執政個人に就てお話申上げませう、執政は人民愛護を以て權威とされて居られますが一方御自身にかかせられては極めて克己であらせられます、府内に於ける經費も力めて節約され奢侈を愼まれてゐます又御自身の御食事は殊に節約なされ往時天津在住當時と御比較申上げますに減費せられる事あるも增費される事はありません、時折側近者に現在我が府中の一條の縄一粒の米これ見て人民の膏血による結晶であるから我等が一分の費を節約すれば人民は一分の負擔を減ずる事になると仰せられて居られます、執政は毎日御寢室を御出になつて勤民樓にお出ましになり、公務をとられるのでありますが、其の間必ず庭園を散歩されます若し雨雪の場合は已むを得ず被ひかくされます。府中の人々から一條の長廊下を造り以て雨雪を避けられる樣建議したものがありましたが、執政は御許しになりません、而して側近者に仰せられるには若し雨雪に會へば傘一本で足りるゝ、何も工事を起して政務を忘れてまで費用をかける必要はないと申されてゐます其他萬事御節約になる點は皆斯の通りであらせられます。次に滿洲國建國は事々に總て隣邦大日本帝國の指導と援助に依らねばなりません、大日本帝國は卒先して我滿洲國を承認致しました。又去年三月二十七日日本帝國は滿洲國々際の關係に依つて國際聯盟を脱退し、尚日本帝國は滿洲國の獨立を尊重すると云ふ聲明をなしたのであります、無論斯る重要な事項は諸氏既に周知の事實と存じます。當時我執政が友邦の誠意に感激された事は實に筆舌に盡す能はざる所のものであります、茲に於て執政は百官を戒めて日本は既に舉國一致深甚なる熱意を以て滿洲國獨立を援助してゐるのである假にも我滿洲國の元首及文武百官が帝國を國の規則を整備し、以て健全なる國家造成の目的達成に精勵することを想はぬとしたら、三千萬民衆に對して申譯ないのみならず、尚且友邦日本が我等を援助せる好意に叛らう事になると仰せられてゐます

□

此の一節のお話は執政が文武百官に申されて居ることであります、私が又それを再述して諸氏にお話申上げた樣な次第であります、執政が就任以來國民の爲めに痛く御心痛あらせられてゐる事及日本が爲め一切を犧牲にして、誠意を盡して居ること等に關しては私が既に申上げた通りでありますから、これ以上お話申上げません、茲に於きまして三千萬民衆は我等に對して之を見ること日月の如く、之を望めば雲の如く之を尊へば神聖を逾へ之に親めば父母の如く民衆の總意を以て大任を負擔される執政の御就任を請ふた次第であります、何故執政を愛戴申上げ何故服從するかと申上げますれば、元來既に私共は執政を愛戴し服從するのでありまして、執政の武力が私共を壓制されたのではありません、なぜかと申しますれば執政の祖宗の功徳が深厚であらせられ我等の祖先は均しく祖宗の養育を被り恩惠に浴してゐたのであります、執政御自身は天賦御聰明で御慈愛深くあらせられ至つて御圓滑であらせられ日夜人民の事を案じられて居ます、私共は執政を崇敬敬服して居ますから私共の執政に成られたことを衷心より喜んで居る次第であります。然るに御自身に於かせられましては執政に就任されることを決して喜んで居られないのであります今日の執政は決して武力に依つて得られたものではなく、實に三千萬民衆の熱意ある請願に依て御推戴申上げた次第であります、執政の謙徳和光は已に御話申上げた通りでありますから、これ以上御話申しません、斯くして人民は執政を愛戴致した次第であります、執政に見倣ふべき點は如何なる點であるかと申しますに、執政が孔孟の書を愛讀される事でありまして、人民も當然孔孟の教へを愛讀しなければなりません、又執政は孔孟の教へを遵奉されますので人民も當然孔孟の教へを遵奉しなければなりません

□

尚執政の宣言を遵奉して國際爭議を除去し誠心誠意種族の偏見を脱しなければなりません、斯くしてこそ我が執政の勤政愛民の苦心及治國に精勵さるゝ御本意に副ひ得るのであります

□

尚隣邦に對しては更に同文同種の親誼に基いて最親善的且平和的國民外交を實行し、以て共同共榮の目的を達成することを熱望してゐる次第であります。私共三千萬民衆が此の方針に依て勇往邁進すれば國基も漸次鞏固となり、國運も亦日に隆盛に赴くものと信ずる次第であります、物質的の饑寒は人民を匪賊に變ぜしめ、道德的の缺乏は禮教の物たるかを知らざらしめ、遂に流浪して盗匪と變る譯であります。管子「衣食足れば禮義を知る」と云つて居ます、人民如んで盗匪になる樣なことはないのであります、人民の道徳が悉く高尚になればどうして匪賊になる事が出來ませう

□

我等民衆は忠に「渴しても盗泉の水を飲まず」「熱くとも惡木の陰に休まず」と云ふ意義に基いて相互に砥勵し合はねばなりません、又大部隊の匪賊は軍隊及友軍の力によつて討伐するのは勿論でありますが、それよりも人民をして匪賊になさしめない樣にしなければなりません、匪賊の根源を肅清すれば、村落も漸次繁榮に向ふは當然であります

□

上に對しては執政の叡慮を安んじ、遠くに對しては友邦日本が我等に援助した熱誠に酬ひなければなりません、これ則ち我が三千萬民衆の當然盡すべき責任であります

慶祝大滿洲帝國皇帝御即位

三中井百貨店　新京支店

新京百貨店　新京日本橋通　電話三二六一番

扇芳グリル　落合幸之助　永樂町一丁目　電話四八〇四番

純東京鳥料理　わかもと　老松町一丁目

御料理　大吉　富士町三丁目　電話三一五九番

昌和洋行新京支店

洋服商　大上洋行　永樂町一丁目　電三三二四

御料理　嬉野　電話三八二〇番

會席御料理　大辰　電話二九八八番

割烹　幸樂　入船町二ノ十七　電話二六六一番

大禮奉祝

大滿洲國康德元年三月一日建國第二週年ノ佳辰ヲトシ國號ヲ改メテ滿洲帝國トシ茲ニ溥儀執政順天安民ノ大旨ヲ體シテ新タニ帝位ニ即キ登極ノ大典ヲ擧ゲラル洵ニ感喜慶祝ノ極ナリ惟フニ滿洲國建國僅ニ二星霜ニシテ治安ノ維持成リ庶政ノ興揚顯著ニシテ三千萬民衆哀心ヨリ王道樂土ノ實現ヲ謳歌セルモノ一ニ執政ノ乾德ト要路者指導ノ宜シキトニ由ルモノニシテ更ニ益々國礎ノ强固ヲ來シ國都大新京ノ發展ト共ニ其榮光ヲ世界ニ發揚シ延イテ東洋永遠ノ平和ヲ招來スベキヲ信ジテ疑ハザル所ナリ慶ンテ奉賀ノ赤誠ヲ表ス

在東京 長春會

石炭 保險
仁和洋行
三笠町三丁目 電話二五八二番

株式會社
滿洲モータース 新京支店

和洋家具 裝飾品 世帶道具
品川洋行新京支店
日本橋通 電話二五九三番

官廳被服請負 同生地附屬品 正裝用品
丁字屋新京支店
支配人 建部永吉
老松町四丁目 電話四九五五番

社團法人 新京材木商組合

德喜林業公司
高砂製材所
小松製材所
大島洋行
浦元製材所
三盛洋行
秋田商會出張所
濱伊商店
國際運輸株式會社支店
共信公司
新京製材所
面高製材所
大山木廠
高橋材木店
沼田商會出張所
藤井材木店
清水實業公司
吉川商會支店
西澤木廠
西田材木店
岩間商會
敦化木材公司
大興號
岡本材木店
華村木廠
中宮材木店

新京洗染業組合一同

(イロハ順)
岩本屋洗布所
錦屋洗布所
ホームラン洗染工場
蝶屋洗布所
長崎屋洗布所
新京クリーニング所
中西洗布所
熊本屋クリーニング所
三共洗布所
京張屋洗布所
篠崎クリーニング所

新京寫眞協會

(イロハ順)
池田寫眞所
乾寫眞館
林田寫眞館
岡哲生
上林宗太郎
吉岡寫眞場
大陸寫眞所
中川寫眞館
白井寫眞館
山本寫眞館
藤坂寫眞館
光園社寫眞場
三揚社寫眞場
森脇寫眞館

新京附屬地
旅館業組合一同

新京附屬地

下宿營業組合一同

新京日滿理髮業組合一同

新京カフヱー組合

ミカサ
精養軒
赤玉
東洋軒
ライオン
モナミ
上海
ミス東洋
ポプラ
二葉
富士
ミツワ
ブロードウエイ
小櫻
ミス新京
滿洲
白馬
朝日
日本橋
箱根
アジア
コンパル
銀座
初音
トリオ
キング
ロートル
みどり
麗人
マルセーユ
ゴンドラ
人形座
春
モダン銀座
ブランタン
アリス
アリラン

新京カフヱー組合事務所
富士町二丁目二〇
電話三八三七番

滿洲帝國の國華に定められた

「東洋蘭」の話

堂本安藝

溫室栽培の蘭科植物は、古くから上流方面で中々の勢力をもつてゐるが最近では東洋産の蘭が非常に勢力を得て來て、各地に流行を見てゐるし此の頃では緣日にまで現はれるやうになつた、その上友邦滿洲國が三月一日を以て帝政となり、日本の菊花御紋章と同樣に滿洲帝國の國華は蘭花と定められ、皇室の御紋章として皇帝旗の中央部にも掲げられる事となつたので、此れを機會として蘭花の栽培愛玩はもつと／＼流行するのではなからうかと思ふ

元來、蘭は萬年青と共に、文人風の盆栽として德川末明頃に流行したのであるが、最近では支那から盛んに輸入し支那の栽培法で仕立てあげ一部にはその鑑賞會も出來て、春と秋には陳列會も開かれるやうな形勢にある

蘭花の種類は隨分多いが、花を大別すると、梅瓣・水仙瓣、荷瓣などと分けられ、一莖に花一輪つけるのが一莖一華、一莖に九輪咲くのを一莖九華と呼んでゐる、春蘭は即ち一莖一華であり、蕙と云ふのは一莖九華のことであり、素心蘭と云ふのは、花の中心が白く香氣高く非常に上品である

その瓣の區別を見ると、梅花瓣と云ふのは、三枚の外側の瓣、即ち主瓣と左右の副瓣が梅のやうに圓く、水仙瓣といふのはそれが細い水仙の葉のやうであり、荷瓣といふのは蓮の葉のやうだといはれる位にふつくりしてゐる、素心蘭の上品さと氣高い香氣とは誠に四君子の一といふ感じがする、いま同好家に依つて盛んに持て囃されてゐる名花としては春蘭の部で

宋梅　翠文　大綠梔　大魁荷　春蝶　魁字　和合素心　天興梅　華英梅　汪字　蕙品　彩雲代　春秦梅　姚品　鮑姚弟　一梅　胡蝶素心　蕙梅　萬十圓　大金鐲　鷲湖第一梅　玉梅

などがある、梅と云ふ字のつくのは皆梅瓣の愛らしいものである一莖九華の方では大一品といふのが、一時三千圓もしたといふまだこの種には

程梅　上海梅　江山　天門考心　蕩字

などといふのがある、支那での作り方は、野土に砂を少し加へ鉢は出來る丈空氣や水の流通をよくする爲め、鉢底には笊のやうなものを伏せ、その上に栽え多く室内の暖かい處に置く、その蘭鉢は細長いものがよく、また人によると蘭に限つて新らしい鉢に限るといはれてゐる

肥料はあまり用ひず、昔は番茶の出がらしを與へるとよいといはれてゐるが、これは矢張りよいやうである、置場は鉢を直に地上に置かず、一寸台をしてその上に並べるのがよいとしてある

日本の聖女（上篇）

生田葵作　南部龍平畫

五八　密輸入商（五）

這入つて來たのは宗兵衛の娘のお小夜であつた。

庫之進とは、いま盃に逢つて居るので、

「これは／＼神山樣、ご挨拶に伺ひませず失禮いたしました。いつも御健勝でいらせられまして、お目出度う存じます」

いんぎんに頭を下げて挨拶した宗兵衛は、お小夜に盃をたつぷりすつて硯箱を運んで來るやうに命じた。

このお小夜はお華が、切支丹仲間から選んで宗兵衛に娶らしたので、中國武士の血統であるが、兩親にはやく離れて、孤兒となり、お高から洗禮を受けて居る、女であつた。

硯箱が、はこばれて來ると庫之進は先ず手本一枚をかいてしめした。

宗兵衛は、筆を揮つて一枚一枚と書いたて往つた。

廿枚書き終つたころになると、お小夜の手で、酒道具が運ばれて來た。

「ご造作になつて、まことに相濟まぬ。」

言ひながら庫之進は盃をとつてお小夜の酌をうけた。

宗兵衛も、いける口なので、庫之進の廻して來る盃を受けて居た。

庫之進は酒が腹に這いると口がかるくなり、母の千枝の此ころの樣子などを話たりした。

春の日永の日もいつしか、とつぷりとくれて了つて、燈火が室内を明るくしてゐた。

かうした姿細の障子を屋一つへだてゝ森村鐵之丞は壁一耳にしてゐた。

と不意に辺りが騒がしくなつて來て、間近い御所で、ただ事ならぬ鬨の聲が擧がつた。

鬨の聲のあがつたのをきいて、庫之進は、口の端へもつて行かうとした盃を、下において屹となつた。

「さあ何事でござりましたやうな、ひよつとしたら私の背後の通りにある蒔繪の職人がさわぎ出したのかもしれませぬこの間から蒔繪職人の主人と、雇人の間に何か縺れが出來て、昨日あたり何かやましい事柄になるかもしれないかと御近所の人が、話して居られました」

さう話してゐる折しも再度目の鬨の聲が上つた。

つゞいて、何かしら物のこはれるやうな、もの騒々しい響きも傳はつて來た。

「やあ、これは騒々しい、只事でない」

庫之進は、微かに柳眉をひそめてゐると、手代の一人が急ぎ足で廊下傳ひに、その室へ、這入つて來た。

「旦那樣、とう／＼、蒔繪職人があばれ出して、只今加賀屋さんを、うちこはしに、かゝつて居ります。

「打ちこはしに」

「その職人の側から只今常町内の會所の人がふれて參りました加賀屋があまり强慾非道なので止むに止まれず御近所をお騒がし申しますが、火は出さぬつもりだとの口上だつたさうでございます。左樣な譯でありますからちよつと、お耳に入れておきます」

手代は宗兵衛にさう話すと去つて行つた。

その内にも、物のこはれる音は烈しく、なり增さるばかりであつた。

慶祝大滿洲帝國皇帝御卽位

新京警察署長　高山勝司

新京驛　區長一同

新京輸入組合　理事　久末吉次

新京市場會社　專務　砂原滋二

吉長吉敦鐵路局

新京特別市公署　市長　金璧東　總務處長兼工務處長　橋口勇九郎　行政處長　董暘

新京頭道溝郵便局　局長　樋口好男　外局員一同

新京　瀨下金

武居重雄　羽衣莊　電話二七八一番

大禮奉祝

滿洲電信電話株式會社

滿鐵新京醫院一同

南滿洲瓦斯株式會社
新京支店

（輸）
新京輸入組合

三井物產株式會社
新京出張所

新京醫師會員一同

長春窯業株式會社
電話二二四三番

滿洲醬油合資會社
電話二一七三番

東京無線新京支店
電話四九二〇番

滿洲國通信社

新京郵便局職員一同

社團法人
新京賽馬俱樂部
新京富士町五丁目五
電話二三二三番

新京藥業組合一同

新京洋服商組合一同

南滿洲電氣株式會社新京支店

奉祝 大滿洲帝國

大阪電報通信社撰

珍花

ばら・庭木 果樹苗・盆栽

菊・朝顔・種子 シャボテン・蘭・球根

春の特賣 植物總目錄 無代進呈

薔薇優秀花＝特賣
五種撰一組 壹円
十種撰一組 貳円

素心蘭＝特賣 芳香馥郁
以下三葉立一株の代價
石溪素心 參円五拾戔
觀音素心 貳円八拾戔
龍眼素心 參円五拾戔
永安素心 四円
十三大鳳素心 七円
天台素心 五円
鐵骨素心 八拾戔
新竹素心 壹円

朝顔種子七寸咲特賣
五種撰一組 五拾戔
十種撰一組 壹円

以上何れも箱代送料共代價

兵庫縣川邊郡長尾村山本
旭植物園
振替口座大阪二五一五六番

堂ビルホテル

○大阪驛に近く阪神、阪急、京阪亦近し
○二十四間の幹線に面し、バスの外路面地下の二電鐵あり交通極めて便なり

○御宿料 欧式（御食事は別）にて左の通りです
御一人室 御一泊全参円より バス付全三円五拾銭より
御二人室 御一泊全六円より バス付全八円五拾銭より

大阪市北區堂島
電話自北五八九〇番至五八九九番

○堂ビルは十一階の高層建築にしてホテルの外多數の貸室を有し館内に社交倶樂部として壹千五百の會員を有する淸交社、八百の會員を有する愛婦倶樂部並に保險協會等あり、壹千名の生徒を有し日本一の定評ある堂ビル洋裁學院、堂ビル割烹學院、堂ビル女學院、堂ビルタイピスト學校、知名の醫師あり、辯護士あり、大商店及び銀行あり、郵便電信局あり、大食堂あり、商店街等あり、優に一大都市を成せる觀あり。

春夏物品揃

優良丹頂メリヤス
內外產各種毛メリヤス
サウンド靴下
織物加工製品各種
全般運動服裝

大阪市東区唐物町四丁目
㊌ 株式會社 信保商店

合資會社 大阪淸水製作所

御盛典に際し高御座以下御公式各室御調度品の謹製を拜命し無上の光榮に浴す

營業種目 室內裝飾・家具製作 建築造作・建具工事

合資會社 大阪淸水製作所
代表社員 岩田文雄
大阪市西淀川區海老江下一丁目十四番地
電話土佐堀二七七七・六七七八番

新京出張所
新京富士町三丁目二番地
電話四九八二・二〇五一番

大連代理店
大連市紀伊町八五番地
電話二四六〇一番

富和證券株式會社

大阪株式取引所一般取引員
同國債取引員
堂島米穀取引所一般取引員

富和靖介
（株式部）大阪市東區北濱二丁目
（期米部）大阪市北區堂島濱通壹丁目

公社債 株式現物賣買

富和證券株式會社
取締役社長 富和祥价
相談役 富和靖介
本社 大阪市北區堂島濱通壹丁目
支店 岡山市內山下

海路日本へ

日滿連絡船　三月定期出帆表

大連埠頭　午前十時出帆

大連港出帆表	船名
三月一日	香港丸
二日	ゑあこる丸
四日	ばいかる丸
六日	亞米利加丸
八日	はるびん丸
十日	うらる丸
十一日	たこま丸
十二日	香港丸
十四日	うすりい丸
十五日	ゑあこる丸
十六日	ばいかる丸
十八日	扶桑丸
十九日	亞米利加丸
二十日	はるびん丸
廿二日	うらる丸
廿三日	たこま丸
廿四日	香港丸
廿六日	うすりい丸
廿七日	ゑあこる丸
廿八日	ばいかる丸
三十日	扶桑丸
卅一日	亞米利加丸

○たこま丸、ゑあこる丸には一等がありませんので二、三等のお客樣の爲、特に設備・サービスに注意して居ります

●案內書進呈

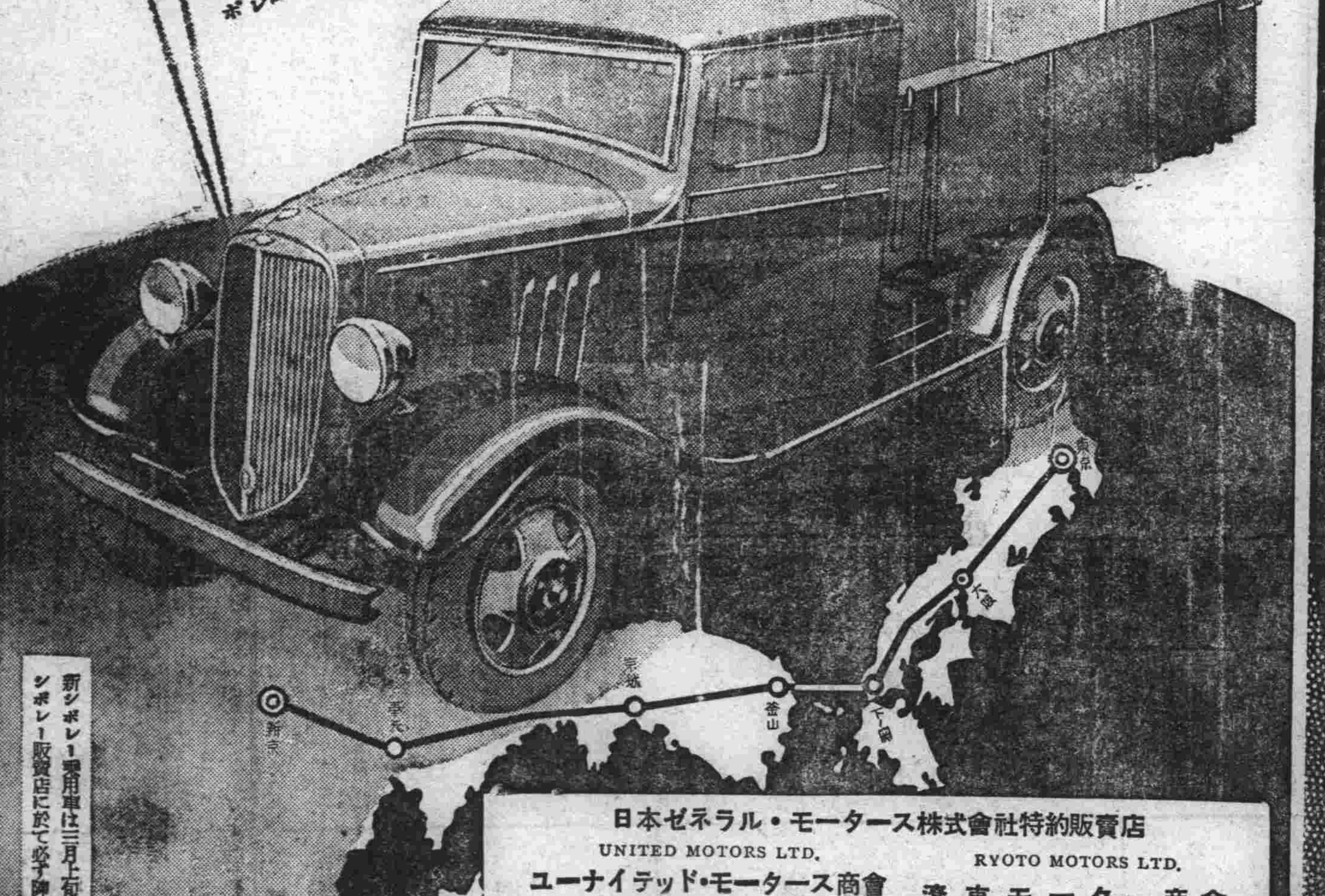
大阪商船

日滿親善シボレー號

帝政宣布記念として弊社より新滿洲帝國に獻納さるゝ『日滿親善シボレー號』は二月十八日東京出發朝鮮經由新京迄2,000哩の難コースを走破します。途中は惡路や峻坂多く、嚴寒季の惡天候の下を走行し續けねばなりません。併し世界一を誇る强丈、强力なシボレーは必ず樂々と全コースを突破して、眞に1934年型新シボレー・トラックの大價値を實證するのであります。

CHEVROLET

日本ゼネラル・モータース株式會社



新シボレー乘用車は三月上旬、全國一齊に各シボレー販賣店に於て必ず陳列發賣されます

日本ゼネラル・モータース株式會社特約販賣店

UNITED MOTORS LTD.
ユーナイテッド・モータース商會
奉天千代田通三七…………電話4737番
支店 新京日本橋通五二―五四…電話3872番

RYOTO MOTORS LTD.
遼東モーター商會
大連市山縣通三三…電話（長）3677番

EAST ASIATIC AUTOMOBILE CO.
東亞自動車商會
哈爾賓八站許公路一一六號

KYOEKISHA KANTO EIGYOSHO
株式會社 共益社間島營業所
滿洲國間島局子街

FUKU MONAL 福モナール

福嗎那兒

モルヒネ其他鹽類中毒治療劑の最高權威

モルヒネ、阿片、ヘロイン、コデイン、ナルコポン、パピナール、パントポン、コカイン等の中毒は今更事新しく說明申上ぐる迄もなく、其の結果は廢人となり甚敷は貴重な生命を奪れ、其の上に破產の運命に陷り、累を家族に及ぼす慘狀を目前にする事少なく有りません。この悲慘な狀態より脫するには確實な解毒劑を用ひて一日も早くモルヒネ類と離れて、王道國家の建設に努力することであります。それには最も効果ある合理的な解毒劑福モナールの注射をお奬め致します。

福モナールは慢性中毒患者に用ふると愉快に自然裡に治療されつゝ、而も其の作用は持續性にて禁斷症狀の發現は長時間抑制せられ次第に注射回數と用量とを漸減し、遂に離藥することが出來ます尤も輕度の中毒者は三―五回の注射を以て全治なし、甚しき者にても二十回以內にて全治致します

包裝
皮下 二cc 五管 十管 二十管
靜脈 五cc 五管 十管 二十管

【文獻進呈】

製造元 順天堂醫化學研究所
大阪市浪速區鷗町三丁目九六

發賣元 田邊五兵衛商店
大阪市東區道修町

祝滿洲國第一世皇帝登極盛典

公主嶺警察署長
仲村延四郎

公主嶺地方事務所長
前田鉞雄

公主嶺驛長
村瀬政之助

地方委員
小松光治

懷德縣公署
縣長 孫潤蒼
參事官 佐藤虎雄
縣公署 職員一同

公主嶺附屬地商務會
會長 張鳳翔
副會長 荊瑞五

公主嶺特産商組合

公主嶺石炭商組合
合利洋行
松昌公司
新華公司

公主嶺
淺野釀造株式會社
電話一二八番

國際運輸株式會社
公主嶺營業所
電話一〇三番

中央銀行公主嶺支店長
劉長漢

中國銀行公主嶺支店長
李銘甫

地方委員
泰和順總經理
徐會一

和洋雜貨 書籍雜誌 紙文房具 旅行用具 世帶道具 蓄音器類
公主嶺
小久保商行
電話二十四番

軍隊御用達
食料雜貨 日用雜貨商
榮商店
店主 井本忠一
電話四三番

公主嶺
戸井呉服店
電話一二九番

賣藥 藥種商
足立東亞藥房
電話六四番

公主嶺河北
和聚公 電話九三番
振興東 電話二三七番
和聚號 電話二三〇番

積得玉興記
李煥文
電話一〇番

公主嶺東成泉燒鍋
經理 郭幹卿

公主嶺東永盛長記
經理 史佐才

泰和豐油房經理
曹步樓

公主嶺復勝糧棧
劉翰臣
電話一四六 一二二 二八〇番

公主嶺河南商務會長
程志遠

地方委員
義和興經理
王嘉祿
電話七十六番

地方委員
大有公司
冉慶田
電話二五三番

東盛祥源記
王森峻

公主嶺德陞裕福記
杜榮齋
電話十六 十七番

萬益公
張翰臣
電話二八四番

御料理
大公
すゞめ 秀奴
市松 ヤンチヤ
とんぼ 榮治
豊年 公香
吉駒 こひな
太郎 妻治
おもちや 小猫
仲居 はるこ
電話一二七番

公主嶺
同泰號
王思九
電話五五番

指定阿片小賣所經理
彩興隆
張采芹

申友綢緞呢絨 綿絲雜貨批發
東順祥
張恩榮
電話二〇六番

公主嶺榮町
德發成木廠
電話二二四番

平康裡
料理店組合

連陞書館
孫殿臣

大和町
降旗金昌堂

花園町
林寫眞館
電話二一七番

東雲町
小山日升堂
電話二一〇番

新京日日新聞社
公主嶺支局
田中萬吉
電話一九五番

天津御脱出 當時の思出と

御慈しみ深き新帝御日常挿話

限りなき御威徳を偲ぶ

御即位の佳き日に當つて特に新先年危難の天津を脱出遊ばされた前後の御模樣をしのび、併せて御慈しみ深き御日常の挿話二三を記して置き度い

暗を行く自動車

天津事變勃發して間もなくである、銃火に脅かされて人つ子一人通らぬ眞暗な街を無燈火の自動車が一臺、宮島街淡路街角の陸宗輿宅裏門を離れた、香椎駐屯軍司令官の名に於て布告された戒令下の日本租界鐵條網土嚢を以て要所々々は嚴重にバリケードされてゐる死の街に加へて星影もない昭和六年十一月十一日の深夜、宮島街、旭街を拔け佛租界郵船碼頭でピタリと止つた自動車から數名の黒い影が靜かに降り立つと同時に、折柄出港用意を整へてゐた汽艇の中に吸ひ込まれる樣に消えた間もなく纜は切られ、汽艇は緩やかな響をたてゝ深夜の白河を下つて行つた、時に十一日午後二時これぞ流轉の廢帝忍苦の宣統帝の上に嫩やかな春再び回り來り、三千萬民衆の待望に迎へられ、やがては滿洲國皇帝として登極遊ばされる輝かしい首途の第一歩であらうとは!

危難を突破して

九、一八事件以後、天津の人心は極度に動搖し、全市騷然として流言蜚語は日に募り、昭和六年十一月八日午後十時遂に天津事變は勃發、支那便衣隊租界潜入、横行、憎むべき暗殺團の活躍は宣統帝の御身邊にまで危險迫り、御安全の住居すら憂慮される事態となつたのである

宣統帝搭乘の汽艇はやがて支那軍一ヶ旅が駐屯する白河航行の要地たる軍糧城の關門、(俗稱大曲り)に差しかゝつた艦長は支那兵營の赤いカンテラを左舷に睨み固唾をのみ、靜々と河を下つて行く、カンテラの燈は愈よ近くなる、果せる哉支那兵營のカンテラが暗の川岸に圓を描いて「止れ」の信號である艇長は命令に從ふものゝ如く見せかけ、スピードを半速に、次で微速に落して左岸に轉舵汽艇は刻々川岸に近付いて行く、安心したものか川岸の赤いカンテラは動かなくなつた、絶体絶命か!否!其瞬間である、船橋より機關室へのテレグラフは、けたゝましく全速力をベルに刄じた、スクリウは物凄い唸りを生じて廻轉し始めた汽艇は矢の樣に船体を右舷に傾斜したまゝ大曲りの急カーヴに乘入れた、突如寂寞を破つてパンパンー! 忽ち川岸より支那兵の猛烈な一齊射擊だ船長は舵手よりハンドルを奪つて自ら操縱に當つた、左後方よりする小銃彈の雨の中を驀進又驀進、船を闇の中に見失つたか支那兵の射擊も漸次衰へ、銃聲が遠く消へ去ると共に、再び四邊は元の靜寂にかへつた、遂にこの危難を突破し、虎口を脱したのである東天仄かに白み、旭日渤海に昇る頃、汽艇は無事塘沽に辿り着いた思ふに狹隘なる暗夜の水路、加ふるに航海の最難所をハイスピードの突破、支那兵の猛射の中をつゝが無く通過し得たのは、到底人力の克く爲し得ざるところで全くの天祐、全くの奇蹟、皇帝の天運御强く如何に神靈の加護深き御兆でなくて何であらう

瑞兆の白鳩

十一日早朝塘沽國道棧橋に假泊した汽艇は午后三時棧橋を離れ、烈風にもまれ乍ら塘沽沖十哩の大沽バーに到着、ライト、シツプを距る四哩の地點で皇帝は折柄塘沽を解纜し營口に向ふ近海郵船淡路丸に洋上轉船を遊ばされ、輕い船暈を感ぜさせられつゝ午后六時淡路丸右舷第四號室に入らせられた

淡路丸は直ちに營口に向け針路をとつた、丁度此の時である、何處からとも無く一羽の白鳩がヒラヒラとメインマストのヤードに舞ひ降りて翼を休めた、三等船客や船員達が不思議だ、何かの瑞兆だ! とたち騒ぐ裡に白鳩は間もなくマストを離れ、紅い夕映を双翼に浴びつゝ船上を悠々と二三回旋回して皇帝の前途を祝福するが如く航海の安全を祈るかの如くまた何處へか飛去つたが、今にして思へば正しく瑞兆であつた 明くれば十二日、海はなぎ、空は紺青に晴れて時々白い雲が南西に流れてゐた

(昭和六年十一月十二日の淡路丸航海日誌をひもとけば北東の微風―天氣晴―波靜か―と記されてある)

帝は輕い御食事を召され、サロンデツキの籐椅子にもたれ靜かな渤海の大自然を心ゆく迄御賞覽になり、ブリツヂに上られては船長より航海の話を聞召され、夜に入つては無線電信室を訪問されて無電局長より機械の說明を申上げ、ラヂオをかけて旅情を御慰め申上げたのであつた

一先づ湯崗子へ

斯くて船は遼河を溯航、十三日午前十五分營口滿鐵第二棧橋に繫留、皇帝御一行は其他の船客十二名(二等二名、三等十名)に紛れ、記念すべき滿洲への歴史的第一步を踏まれたのである、この大任を果した近海郵船淡路丸(一九四八噸)は一九〇六年英國グラスゴーのグレンスマツズ號ドフタヤードにて進水、當時の乘組員中主なる者は船長渡邊順三、機關長大西成道、無電局長佐野鬼三の諸氏であつた

營口に御上陸の皇帝は十三日午後二時湯崗子に御到着、對翠閣特別室に入らせられ、此處に一週間御滯在、千山の景勝を愛でられつゝ朝は御習字及語學の御研究に、余暇は側近の者とピンポンに打興ぜられ、三月六日旅順より再度御來湯、張景惠氏以下三十二名も來着愈よ八月八日滿洲國執政として湯崗子を出發、奉天に向はせられたのである

スポーツの御趣味

皇帝はスポーツファンであらせられる、天津御閑居の節は舊臣並に使用人の体育に迄意を注がれ、庭球、ゴルフ(特にベビー・ゴルフ)野球撞球に親しまれ、中でも庭球は天津体育會コート及邸內コートにて、ゴルフは淋路街グラウンドにて夫々其道の人々を召されてコーチを受けさせられ、是等の造詣のある毎に必ず御見物あらせられた、野球シーズンには英租界グラウンド、日租界野球場のスタンドに御姿を拜したが殊に、四五年前慶應、早稲田兩チーム來津の際は、炎熱の中を二日も續けて熱心に觀覽遊ばされた、天津ゴルフ倶樂部及天津体育會庭球部に宣統帝カツプを御下賜になり、右エンペラー・カツプ爭奪戰は北支スポーツ界呼び物の一つであり、各シーズン毎にファンの血を沸きたゝせてゐる、滿洲國に執政となられ、今日迄政務の余暇ラケツトを御握り遊ばされ、又日本より有名な武道家來滿の折などは必ず天覽あらせられ、最近は殊のほか日本武道に對し興味を持たせられてゐる

『普陀之麥飯』

書を御好みになる皇帝は、御揮毫には、必ず關防に「普陀之麥飯」と彫られた印を御使用遊ばされるのであるが、過去の御辛苦を永遠に御銘記される御高德の程がしのばれるのである

即ち支那中古の昔、漢の高祖は河南、河北五十六萬の兵を率ゐて關中を陷れ、楚都の首都彭城に肉迫したのであつたが、百戰百勝の猛將項羽と睢水に激戰を交へ、戰雲遂に利あらず、嵐にまぎれて重圍を脱し、股肱の幕僚張良、韓信と共に普陀河の岸に野宿し麥飯に饑を凌ぎ、普陀河の水に湯を醫し乍ら再擧を圖り、遂に天下を統一した故事に則られたもので、畏くも一碗の麥飯、二片の澤庵、一ケの卵と云ふ粗末極まる朝食に舌鼓を打たれたあの天津脱出の御辛苦が普陀の麥飯の故事に彷彿たるものがあるので、これによつて永久に天津脱出の當時を回顧遊ばされんとする大御心に出せすのである

仰ぐ御孝心

御孝心深くあらせられた皇帝は、天津當時御父君醇親王と共に散步された時は、必ず英租界某所に在る御父君の御宅迄禮を運ふして送られ、然る後御歸宅になるのが常であつた、祖先崇拜の念厚く、御退位後も先祖の御祀り等は盛大に營まれた、北京皇宮から追ひ奉つた馮玉祥の暴虐に對する帝の御憎しみはさる事乍ら更に降つて北伐軍北京占領後行はれた馮の部下孫殿英部隊が北陵を暴き、寶物を掠奪して御先祖の靈を辱しめ奉るや帝の御歎きは傍の見る眼も御氣の毒な程で、帝の御胸には重ねがさねの馮玉祥の暴狀が拭ふ可からざる憎しみとして燒きつけられ、天津の邸內に飼育された一匹の大きな黒犬に「馮玉祥」と命名され、この黒犬の姿が、目にとまる毎に御先祖の靈に對し默禱されたといふことである

思ひ出の晩餐

昨年の十一月十一日、即ち昭和六年十一月十一日天津を脱出遊ばされた記念日のことである、皇帝は「今夕晩餐を共にしたいから」と鄭總理、工藤侍衞官二人を御招きになつた「思ひ出の日だ」と箸を……」と二人に御奬めになつた、食卓に運ばれた獻立はと見れば麥飯一と盛り、澤庵二た切れ牛卵一個、たゞそれ丈けである、テーブルを圍んで主從三人は箸を握つたまゝ釘付けされたかの樣に息づまる樣な沈默、そして、五分十分……

昭和六年十一月十一日、塘沽一國道棧橋に横付けされたむさ苦しいライターの一船室、附近の民家から運ばれた麥飯一と盛り澤庵二た切れ、牛卵一個時と場所は變れど人も料理も其儘である、鄭總理、工藤二人の腦裡には、忘れ樣としても忘れる事の出來ない當時の印象がマザマザと甦つたのであつた

寂として聲無し、アーツー微かな叫び、聲を忍んですゝり泣く鄭總理である、たまらなくなつて唇を嚙んだ工藤侍衞官の兩頬にも一滴、又一滴熱涙が流れた、じつとテーブルを凝視して居られた玉眼にも既に光るものがあつた「却つて悲しませてすまなかつた……」皇帝の靜かな御聲であつた斯くて若き王者、股肱の忠臣鼎座しての、感激の溢れる追憶の辿り、希望に滿ちた劇的な晩餐は、府中の奥深く夜の更くる迄續けられたと云ふ

對日本御意見

皇帝は日本との關係について極めて徹底せる御意見を抱かれ從來の日滿兩國の利害が一致せるが故に相提携するとの論を一蹴され此種の論を基礎とすれば、若し兩國が利害相反すれば離れねばならぬが兩國はそんな薄弱な關係ではない、兩國は利害を超越して精神的に結合し、一体となつて世界大同の大道に精進すべき運命にあるとの高見を説かれてゐる

殊に建國以前より日本が滿洲國に寄せた情誼に對しては深甚なる感謝を表され、その御日常生活にも何彼と表現されてゐると仄聞する、皇帝は御食事としては主として御質素なる滿洲料理を用ゐられて居られるが、洋食日本食にも御趣味を持たれ、殊に日本の味噌汁は非常に御愛好され、常に御食膳に上せられると洩れ承はる

御一門の御繁榮

北京生活の御晩年に御結婚遊ばされた皇后樣は、現滿洲國航空會社總裁榮源氏の御息女であり背の君皇帝と御同樣スポーツにも深き御趣味を持たれ、一時乘馬等もなされた事もあるが最近御健康勝れられず側近者も心を痛めてゐる

皇帝にはまた御弟妹に對し御情愛極めて御深くあらせられ、御皇弟溥傑氏は目下日本の士官學校に御留學中であるが、常に親密の御往復があり御皇妹二格々は一昨年鄭國務總理大臣の令孫と御結婚遊ばされ、今は英京倫敦に御留學中である、更に三格々も一昨年皇后の御令弟潤麒氏と御結婚目下東京御留學中であり、これ等御弟妹方が近く學業を終へ御歸國の曉には皇帝におかせられても如何ばかり御喜びかとそぞろ拜察される

(寫眞は天津御住ひの頃の新帝滿洲事變後天から營口へ向はれる新帝)

慶祝大滿洲帝國皇帝御即位

カフェー ゴンドラ
永樂町一丁目 電話三四七四番

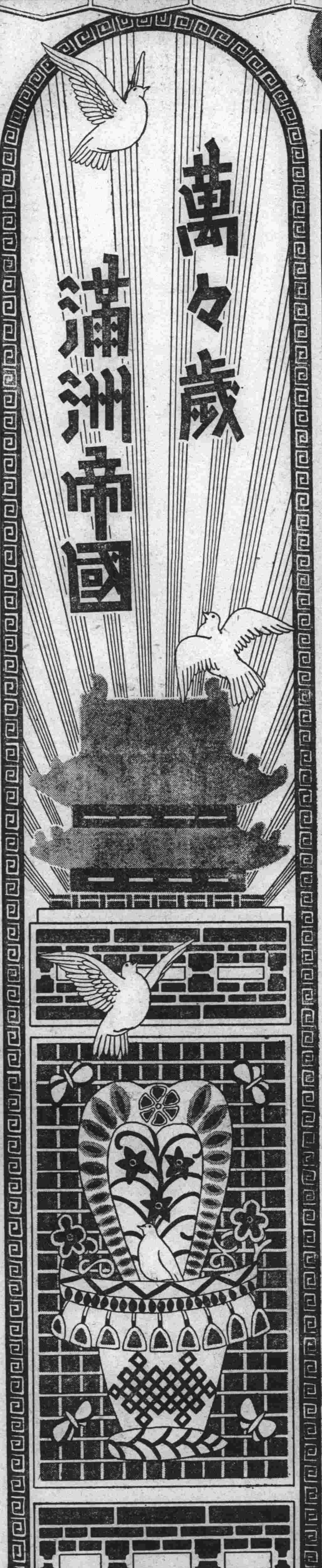
加工綿布
モスリン
毛織物
富士絹
人絹織物
婦人子供服地
綿ネール

内地部
全國一圓・臺灣・朝鮮・滿洲國

大阪市東區備後町四丁目

株式會社　山口商店

輸出部
G.Y
滿洲國
朝鮮・中華民國・南洋各地
印度・濠洲・亞弗利加



紅

株式會社　丸紅商店本店

絹織物　綿織物
毛織物　雜貨類

大阪・本町

三

合名會社　丸三組

ミツワ印メリヤス
鳳凰印メリヤス
本舖

大阪市東區本町四丁目
振替口座大阪四九三番
電話本町局　三一二番　三一三番　三一四番

春夏向毛・綿メリヤス肌衣
サル又・沓下・手袋
綿シャツ・加工品
海水着・アンダーシャツ

（相場表送呈）

山

関東織物
京染呉服
関西綿布
人絹製品
毛織物
麻布
加工綿布
婦人子供服地
服地既製品

ミカドセル

輸出織物

織物問屋

稻西合名會社

大阪市東區本町二丁目
東京出張店　東京市日本橋區堀留町一丁目

滿洲向優秀代表商品
商標　迎日美人　兵車　三人騎馬

慶祝大滿洲帝國皇帝御即位

(大連之部)

南滿電氣株式會社
專務 入江正太郎
常務 石橋米一
常務 古泉光男

南滿洲瓦斯株式會社
專務 白濱多次郎
常務 志村德造

國際運輸株式會社
專務 築島信司
常務 野木定吉

滿洲電信電話株式會社
總裁 山內靜夫
副總裁 三多
理事 井上乙彥
理事 前田直造
理事 西田猪之輔
監事 西山左內
秘書役 黑田直溫

福昌華工株式會社
專務 秋山卯八
支配人 宮井隆次

大連汽船株式會社
專務 增田義男
常務 川村龍雄
常務 高木盤雄

株式會社昭和製鋼所
社長 伍堂卓雄

株式會社三井物産大連支店
支店長 阿部重兵衛

株式會社福昌公司
專務 相生常三郎

大連火災海上保險株式會社
代表 村井啓次郎

株式會社大連機械製作所
高田友吉
森川荘吉

大連稅關長
福本順三郎

大連大阪商船支店
支店長 渡部重吉

大連三越支店
支店長 長谷川吉次

大連小林又七支店
太田信三

大連自動車株式會社
社長 田邊敏行
常務 馬越久一

大連市山縣通
株式會社乾卯商店大連支店

大連埠頭事務所
所長 關根四男吉

大連水上警察署
署長 土屋於菟熊

大連鐵道事務所
所長 江崎重吉

大連山縣通
吉村商會
吉村英吉

大連
山葉洋行
山葉龜五郎

大連辻山洋行
山縣庄太郎
山縣稔

大連
勝又洋服店
勝又文彥

時計貴金屬
營口近江洋行
本店營口新市街 支店大連

大連料亭
芳扇亭

(四平街之部) (いろは順)

地方事務所長 石岡武
警察署長 猪苗代直躬
輸入組合理事 桂馨三
憲兵分遣隊長 田中恒男
地方委員 田中佐重郎
地方委員會議長 添田澤三
販賣事務所長 上野一郎
醫學博士 高文龍
在鄉軍人分會長 佐藤龜記
國際運輸支店長 三ケ島伊作
四平街小學校長 山本正
四平街普通學校長 島崎久座
四平街公學校長 稻川淺次郎

四平街火曜會

梨樹縣公署一同

四平街商務會
會長 趙漢臣
副會長 尚瑤堦

植半
旅館部 電話三〇番
構內食堂 電話二〇番
喫茶店 電話一五五番
食料品店 電話五三二番

石炭販賣
松昌公司 電八番
信和洋行 電一八番

陸軍、滿鐵、關東廳御指定
小松屋旅館 電一一六番

四洮鐵路局
代表 秋田豊作

(范家屯)

商務會
會長 韓宗源
副會長 程慶壇

高橋重利

小松六郎

(順序不同)
宇野謙治
岡田倉吉
那須純一郎
公醫 秋山幸雄
狩野茂
電信電話局長 熊澤長一
池部才次

范家屯郵便局長
石崎小八

滿洲銀行
范家屯支店

大每、東日、滿日、新日、新日日、及各雜誌
松村新聞店

(通遼之部)
通遼縣公署

通遼電燈廠

通遼專賣分署

カフエー人形座
井上包情
女給一同
新京東二條通十一
電話二五三〇番

祝　大滿洲帝國　奉

これぞ
オール
ビヤファンに
捧げられた
最高至醇の二大製品!!

サッポロビール
三星啤酒

アサヒビール
太陽啤酒

宮內省御用達　大日本麥酒株式會社

けふの御大典を前に 暗殺團員逮捕
馬占山の部下廿七日奉天で
新京にも潜入の形勢

日滿官憲の寧日なき警戒網を潜つて、反滿分子は種々なる姿に變裝、新京又は奉天に「潜入」しつゝあるが、救國の英雄を夢みて敗れた馬占山は性懲りもなく反滿工作を續け滿洲國要人暗殺團を入滿せしめつゝあつたが、馬占山部下元連長崔雲亭は奉山線により入滿廿七日午後六時奉天驛に列車が到着した際奉天憲兵隊員に發見逮捕された、嚴重取調の結果暗殺團第一班は既に新京に在り、第二班は目下奉天にゐること自白したので引續き追求中であるが新京警備本部では日滿協力して要人の身邊を嚴戒すると共に御大典「當日」の事故防止に必死の活動を續けてゐる

滿洲國協和會
全國聯合協議會開く
昨日ヤマトホテルで

滿洲國協和會全國聯合協議會は二十八日午前十一時から新京ヤマトホテル大食堂で開會されたが滿洲國軍樂隊の奏樂裡に議員入場、會場は正面でルトルピスの上に國旗を交叉し溥名譽總裁の肖像を揭げ其下に議長席會長席其他役員席を設け先づ國旗に敬禮を行ひ、國歌を合唱し、それより張理事長の開會辭と開會の主旨があり謝介石氏の同會趣勢報告別項の如き溥名譽總裁の訓辭を內務官王太忠氏朗讀し金一封を下賜せられ謝介石氏が拜受、會長訓示を張理事長代讀、菱刈軍司令官の祝辭代讀に次で祝電の披露があつて議事に入つたがこれより張理事長假議長となり帝政實施に對する聲明書提出の理由を哈爾賓代表呂榮寰氏が朗讀し之に對しハルビン、奉天、チチハル、熱河、吉林、間島等の各代表が贊成演說をなし滿場異議なく可決次で議長より賀表奉呈を諮り賀表をよみあげこれも滿場拍手裏に可決、それより張議長以下一同總起立の上三千萬民衆を代表し陛下に忠誠を誓ふ旨宣誓し滿洲萬歲を三唱した此時遲れて參會した板垣少將土肥原少將交々起つて感話と祝辭があり理事長より各地代表に分會旗ならびに參會證を授與し尙同名譽理事に選出總務廳長坂谷次長を推擧し、張理事長閉會の辭を述べ奏樂裡に退出、記念撮影をなし更に席を大陸春に改め祝宴を開いた、因に來賓席は日滿各名士が夥しく參列しさすがに廣きホテル大食堂を溢るる如き盛況であつた

名譽總裁訓詞

協和會成立以來德を宣べ情を達し頗る積效を著はす、此次全國聯合協議會を召集し共同努力して新獻を贊佐く、眷みて勤勞を念ひ、長く嘉し深く懷む、著に即金一封を賞へ用て奬勵を示す、今日より後更に望むらくは忠實公誠、協和の本旨を貫徹し、以て予が殷々たる期望の意に負か勿らんことを庶ふ

郵便料金は けふから改正
內地間と同樣に

三月一日以降附屬地相互間發着及附屬地發滿洲國宛書狀及葉書の郵便料を內地同樣に改正方其の筋で取運中であつたことは既報の通りであるが、愈よ二月二十八日附關東廳令を以て內地相互間同樣書狀十五グラム迄毎に三錢、通常葉書一錢五厘に改正、三月一日より實施の旨公示せられた、今後は不足に惱まされる事が跡を絕つであらう

田代憲兵隊司令官が 警務部長新任
警務機構の統一茲になる
大場警務局長は警務顧問

今回大使館內に設けられた警務部の機構は先般大使館より發表したが、愈よ二月二十二日附を以て田代憲兵隊司令官は警務部長に、又大場關東廳警務局長は警務顧問に就任し、茲に警務部は圓滿に其の構成を見たが、同部の組織は、三課より成り、第一課においては、主として警務に關する事項を、第二課においては、治安維持警察に關する事項を、第三課においては、普通保安、及衞生並普通刑事に關する事項を掌り第一課長に末松外務理事官、第二課長に植木憲兵中佐囑託として發令せられ、第三課長には金井關東廳事務官外務事務官兼任として近く發令せらるることとなつた、尙職員には各課勤務の外務省職員の外關東憲兵隊副官たりし上砂少佐、及佐世保分隊長たりし横山少佐囑託として發令せられ又關東廳より警視一名、警部二名、警部補一名、外務省「兼任」として警務部勤務兼命の筈で植木中佐及横山少佐は二十八日着任した

三月の歴み

三月彌生、季からいふと三月は春であるが、滿洲はまだ寒さの峠を越したばかり、月なかば後、例の厭な蒙古風が吹きすさんでからでなくてはほんとうのあたゝかさは廻つて來ぬ、然しあついも寒いも彼岸までといふその境目とされてゐる彼岸をすぐると水もぬるみ春らしさがおとづれて來る本月中の主なる行事は

一日　滿洲帝國初代皇帝溥儀氏登極
三日　雛祭
六日　地久節
十日　陸軍記念日
十五日　涅槃會
二十一日　春季皇靈祭

滿洲國辭令

哈爾賓警察廳事務官 八木象次郎
轉任北滿特別區公署事務官（薦任五等）同公署總務廳勤務 王怡柳
任吉林公署事務官（薦任七等）派同公署實業廳勤務 小中高茂
任專賣公署事務官（薦任七等）派奉天專賣署副署長 專賣公署屬官 彭濟裕
任專賣公署事務官（薦任八等）派龍江專賣署勤務 同 俞彥彬
任專賣公署事務官（薦任八等）派吉林專賣署勤務 王有綸
任專賣公署事務官（薦任七等）派安東專賣署勤務 洪維世
派錦縣專賣署長 城野繁太郎
任警察廳警正（薦任八等）派齊々哈爾警察廳勤務 三浦秀吉
任警察廳警正（薦任八等）派瀋陽縣警察廳勤務 小林孝一
任警察廳警正（薦任八等）派吉林警察廳勤務 今江米太郎
任首都警察廳警正（薦任八等）
民政部事務官 馮錫藩
轉任首都警察廳警正（薦任七等）
任中央警察學校教官（薦任七等） 宇佐美勇藏
實業部屬官 小野義七郎
任實業部事務官（薦任七等）派同部總務司勤務
同官 和田三郎
任實業部事務官（薦任八等）派同部農林司勤務 坪
任熱河省公署事務官（薦任六等）派同公署警務廳勤務 市川保一
任外交部事務官（薦任七等）派外交部政務司勤務 內藤三郎
任特殊警察隊長（薦任五等）逆產處理委員會幹事 中原濟
轉任財政部事務官（薦任五等）派同部理財司勤務 洪鑄
任財政部事務官（薦任五等）派同部理財司勤務 逆產處理委員會幹事 酒本繁太郎
轉任財政部事務官（薦任八等）派同部理財司勤務 章俊民
任財政部事務官（薦任六等）派稅務司勤務

電報料金一齊に けふから値下
減收は四、五十万圓

電信電話會社の懸案であつた電報料金はいよく四月一日から左の如く引下げを行ふこととなり、今日これを發表するが以下漸進的に値下げを圖りその他新聞電報、無線電報料金など一般にわたつて値下げをされることゝなつてゐる

日滿間現行私報の一語七字十三錢、最低料金二語（內一語名宛）三十九錢を、一語五字八錢、最低料金九語（內名宛二語）四十錢に、滿洲內相互間に於て現行一語七字十錢、最低料金二語三十錢を一語六錢最低料金五語三十錢、尙この値下げに伴ふ同社一ケ年の電報料金減收は四、五十萬圓の見込みであると

御大典記念事業に 市民會館新築
日滿合辦市政公署で立案中

曠古の御大典を永久に記念すべく特別市政公署では日滿合作の下に一大市民會館を新設すべく目下同公署社會科で立案中であるが右會館は公會堂式のものとし講演會その他の催し物に使用すべく大廣間を設けるとともに、圍碁、麻雀などの娛樂ピンポンその他の屋內遊戲なども設備して日滿兩國人の倶樂部としての機能が充二分に發揮出來るやう、これが經費約三十萬圓を要する見込で之の財源としては中央政府、滿鐵會社を始め一般會社銀行その他有力者の寄附に俟たうといふのであり、この場所は現財政部廳舍前の白山公園中央で堂々たる新築をなし、上屋はバルコニーとして一般大衆の野外會台などで屋上から演說も出來るやうにしたいとの希望で同公署建築科で設計を急ぐことになつた

現在の首都新京には未だ公會堂のやうなものはなし滿鐵社員倶樂部はあるがその規模小く日滿兩國人の大集會場として又倶樂部として充分のものではないのでこれが必要は刻下の急務とされてゐる際右市民會館の設置は最も有望視されてゐるいづれ御大典を終つて漸次具体化する見込である

遺骨還る

二十八日午後五時着自動車隊と同列車で故市山上等兵の遺骨が輸送された

自動車の交通取締
違反者減らず

二十七日午後二時から新京署保安係で全市に亘つて自動車の交通取締を行つた結果網にかゝつたもの二十一件、內無免許十二件を筆頭に、ライト不完全四件、豫備タイヤのないもの三件と屆出を怠つてゐるもの二件であつたが、違反者はいづれも同署に呼出し嚴重な說諭をなす

室町校の卒業式

室町小學校では來る二十三日午前九時から尋常四年以下、午前十時から幼稚園の修了式廿四日午前十時から尋常五年以上の修了式並に尋常六年高科二年の卒業式を擧行、また范家屯分教場の修了式は廿二日午前十時から擧行される

忠靈塔の基金寄附 昨日は又三人
いづれも快く本社へ寄托

新京吉野町三ノ二理髮業芙蓉軒內松谷久吉氏は金參圓を忠靈塔建設基金中に寄附したいと廿八日朝本社に持參した、更に二十八日午前十一時長勇會員日露戰役生殘りの勇士川野清二氏は金十圓を建設基金に寄附申出で本社へ持參した、また午後一時大山木廠主人大山龍藏氏も本社を訪れ金十圓を建設基金として持參した

忠靈塔寄附者名（二）
新京日日新聞社取扱

金十圓長崎平次郎、金三圓松谷久、吉川野清二氏、金拾圓大山龍藏氏合計三十五圓、累計金二百三十五圓

自動車と人力車 衝突
乘客重傷

二十七日午後十一時三十分ごろ市內西廣場と八島通入口の交叉點で城內東亭屯二十七號洋車蔣讃卿（三二）が羽衣町三丁目三十四番地津守ハナ（三三）さんを乘せ西廣場羽衣町に向け通行中前記場所に差懸つた際大經路六號大滿タクシー金呈流（二〇）が追突し洋車は目茶苦茶に破壞乘客津守ハナさんは顏頭部に全治四週間の烈傷を負つた、直に被害者は室町三丁目福島醫院に收容應急手當を受けたが目下新京署で加害者を引致し取調中である

日本の主張固く ソ聯の出方重視さる
漁區再競賣問題

〔東京國通〕ソ聯側は既報の如く二十八日ウラジオで漁區の再競賣を行ふ旨通達し來つたが日本側は一、卅二錢五厘の換算率は從來の如く總ての漁業問題に關する支拂に適用すべき事二、二十八日の追加競賣は之を形式的のものとし事實に於ては二十日の日本人納入札を其の儘承認する事の二點に同意せざる限り追加競賣には參加しない方針であるからソ聯側が如何なる態度に出づるか重要視されてゐる

日英會商 延期に決定

〔ロンドン廿七日發國通〕日英民間協議會は市場問題を挾んで双方の主張が極端に尖銳化し廿八日の第二次正式會商は決裂の外なき形勢になつたところ廿七日に至り兩國代表協議の結果、取敢ず延期するに決定した 尙三、四日中に兩國代表協議の上次回の開會日を決定の上多分三月二日には開會の運びとなる模樣である

共產黨員 四十名を檢擧

〔ハルビン國通〕ハルビン警察廳では數日前より御大典を期し反滿抗日の不逞分子を總檢擧しつゝあつたが二十七日又復滿人共產黨員約四十名を逮捕目下取調べ中であるが右黨員中には〇〇局の二十名を筆頭に〇〇官廳、〇〇會社等中流階級の人物が多數を占め北鐵關係者もあり、突如一大センセイションを捲き起して居るが、警察廳の不眠不休の涙ぐましい活動の結果陰謀を未然に防ぐ事に至つたもので警察廳近來の大手柄として各方面より激賞されて居る

新京音頭
第一料理店組合

新京第一料理店組合では一日午後一時南廣場は集合藝妓八十名を五台の花自動車に乘せ繰り出し國務院宮廷府前總領事館を始め市中各所を訪問して新京音頭の輪舞を觀せると

▲蓬萊町一丁目七番地池水眞一氏二男清さん十三日出生
▲室町二丁目二十五番地吉川榮之助氏長男洋さん十六日出生
▲花園町四丁目四番地難波甲午氏四男伸正さん十二日出生
▲永樂町三丁目二十一番地村田林氏二女ハルミさん二十七日午後二時死亡
▲白菊町三丁目五番地十九ノ二遠竹十助氏二十七ヶ午後四時二十分死亡

慶祝大滿洲國皇帝御即位

新京建築助成株式會社
新京八島通三六 電話三〇八三番

新京自動車組合（イロハ順）
日滿タクシー　電話三〇〇三番
富士屋タクシー　電話二〇九七番
朝日タクシー　電話三二九五番
曙タクシー　電話二六三六番
新京タクシー　電話三九五九番

新京敷島通
長崎平次郎

補血 強壯 葡萄酒

赤玉ポートワイン

奉祝大滿洲國
皇帝御即位

强烈な化學藥は　効果の如何に拘らず素人が濫用すべきものでない　赤玉はそうした藥とその性能を異にするが故に　極量等の制限もなく　また副作用等を伴ふ虞れもない　だが持藥として　常時　連用するならば　味ひの醇甘さと　適度の酒精分が心氣を鼓舞する上に　その含有葡萄糖が　不斷に身體諸器官の働きを力づけ　病に對する抵抗力を蓄積すること　まことに侮り難いものがあるのである

斯る人に赤玉をお勸めします
肥え太りたい人
血を殖したい人
榮養を進めたい人
衰弱を治したい人
精根を强めたい人
夜安眠したい人
健康長壽を望む人

朝夕の一杯　百藥に優る

大正九年十二月四日　第三種郵便物認可

新京日日新聞

號外

大滿洲帝國皇帝御卽位の大典けふ

郊祭の儀を拜觀して

十河榮忠

大滿洲國初代皇帝御卽位の大禮に先きだち、執り行はせらる郊祭の儀に特に許されて郊祭場五色の幔幕に圍まれたる聖域に立ち奉拜の光榮に浴し、その森嚴なる光景の一端を報ずるさ

×

郊祭の式場は宮廷の南の淨地をトし三段の圜丘が築かれその外廓を方形に黄布を垂れた柵で圍まれ、又その外廓が方形に五色の幕で圍まれ北方に入口が設けられ向て左側に武文百官及び外賓の幄舍がならび右側に大典記者團と謹寫團の幄舍が建てられ何れも藍色である、域内は淨砂を敷きつめ醸一つさゞめず定刻を待つさ滿洲國々旗を捧げた最先驅のサイドカーが到着する

×

スワこそさ奉拜者一同が緊張して御待ち申上ると八時廿五分先驅後從の御警衛自動車の中に一際目だつ眞紅のセダンのお召車が亡らが如く式場正面に着くさ英姿颯爽たる新帝陛下を仰ぎまつるさ襟及び袖に石青色の飾、兩肩の前後腰衽に金色の龍其他に十二章五色の雲、八寶等を刺繡した藍色の長袍に與後兩肩に五爪正面向きの金龍を刺繡し日月萬壽の篆文字飾りに五色の雲を配した石青色の袞服を召され、縁に黒貂の毛皮を卷き、頂上に眞珠を鏤め、紅色の房を垂れた御帽子といふ淸楚な御祭服を召され、百官奉迎裡に玉歩を運ばれするくさ音なく揭げられる黃綢の帳をくゞ、圜上の右側にしつらへられた黃色の幄舍に入御遊された

×

これより先は神秘な御式で奉拜席より黃帷の隙より洩るゝ光景を拜するこ掌禮官の奉請、贊引官の御先導にて陪祀官直立の間を天壇に進まれ南面して立御せられかゞり火を焚いて天神を迎へ祭壇の前に立たせ給ひ玉帛を捧げられて定位に復まれた後再び祭壇に進まれ、神前に三爵の神酒を獻じ、いけにへを獻じ拜天の禮を行ひ再び定位に戾り禮拜の後玉璽を受けて奉璽官に授けられ、斯くて送神の儀式を行ひ、司玉官は玉を捧げて壇を退くや天子は最後の禮拜を行ひ祭壇上を退り幄舍に入御百官の奉送裡に還幸の途に就かせられたのは八時三十二分であつた、昔はこの儀式中に舞樂が配せられたさ聞くが、此度の郊祭には舞樂の儀はお取り止めになつた模樣であるが百一發の皇禮砲が殷々と鳴りひゞるた郊祭の奏樂に就ては漢の武帝の時十九章から成る郊祀の歌が作曲され樂府と共に協律郞耐なる官が設けられ、歷代の王朝も亦協律郞なる官を置いて奏樂を掌らしめたものであるさ

この日　皇帝には未明に御起床入念なる御齋戒あつて折柄漸く明け放れんとする東天に向ひ長くも暫し默禱を捧げられ、輕き御朝食を攝られたる後滿洲の古式に則る女狐の毛皮裏つき黒の御祭服に同じく女狐の毛皮帽子を召され午前七時五十分宮內府大臣沈瑞麟氏、侍從武官長張海鵬上將、其他を隨へさせられ靜かに宮殿を

大滿洲帝國皇帝登極の大典擧行さる
瑞雲棚曳くけふの佳き日
青史に永久に記錄

青史に炳として輝く、滿洲國第一世皇帝陛下の卽位大典の盛儀は建國二周年記念の佳き日いと嚴肅に執行された、三千萬國民の欣喜さ、奉祝の萬歳聲は奏でられ、新京の天地は瑞氣におほはれ、空は一點の雲も止めず晴れ渡つてゐる、新京南郊の郊祭式場に文武百官、菱刈大使以下外賓など全員堵列して鹵簿の到着を待ち上る、かくて午前八時廿分前驅の自動車到着、引き續き鹵簿は肅々として到着、正裝の　皇帝は徐ろにお召自動車を降り立たせたまひ、白砂を踏んで御幄舍に入らせられ、午前八時三十分百一發の皇禮砲殷々として轟く裡に　陛下には天壇に登御、許大禮官掌禮裡に、崇嚴なる郊祭の式を行はせられ、終つて、直ちに宮廷府に御還幸遊され、正午から宮中正殿に於て登極の式を行はせられ、長く詔勅を賜り、こゝに卽位大典式を滯りなく終らせられ、萬歳々々の聲天地に谺し歡呼さ欣喜のドヨメキは全滿の天地を埋めた

龍眼殊に御麗しく
一路郊祭場へ
目も醒むるばかりの鹵簿

＝出御＝　承光門前に用意の見るも眩ゆき燕脂色の車体、金色鮮かに蘭の御紋章を浮き出した大型リンカーンに乘御遊ばされた、之より先七時三十分掌禮官の乘用車は鹵簿通行路並に郊祭式場の檢分に向ひ同四十五分一旦皇宮に歸還、その儘直ちに鹵簿の先驅さして先づ巡官の報告車が興運門前より辷り出る午前八時鹵簿は警佐二名乘る先導車を先頭に

第一號車（警正一名、督察官一名）
第二號車（掌禮官）
第三號車（宮內府大臣沈瑞麟氏）
第四號車（贊引官）
第五號車（警衛長佟濟熙氏、井上事務官長）
第六號車（侍從武官長張海鵬上將並に侍衛官）

と續いてスタートすればその

第六號車の御次ぎこそ仰ぐも畏き御召の御車である、前後左右を側衛のサイドカーに護らせられ龍顏いと麗はしく肅々さして

＝正門＝を御通過遊ばされる御召車に引續いて

第七號車（侍醫）
第八號車（侍從武官）
第九號車（侍衛官）
第十號車（捧璽官）
第十一號車（護軍統領）
第十二號車（首都警察廳總監修長餘氏）
第十三號車（警務司長尾吉五郞氏）
第十四號車（京師憲兵司令官德芳圃少將）
第十五號車（新京憲兵隊長馬場中佐）
第十六號車（首都警備司令官王靜修中將、吉長地區警備司令官邢士廉中將）
第十七號車（隨侍）
第十八號車（護兵六名）
第十九號車（護兵六名）
第二十號車（新京憲兵分隊長岸大尉）
第二十一號車（新京警察署長高山勝司氏）
第二十二號車（警正二名）

と目醒むる如き晴れの自動車鹵簿は新裝成つた皇宮正門をゆるやかなスピードにて走り出し興運橋を通過、沿道警備の巡警の外は人一人出ない

＝嚴戒＝の裡を長通路に出で、大馬路を經て朝日通りを西走總領事館、大使官邸前を經て一路大同街へさしかゝれば、大同大街左側から大同廣場にかけて諸兵指揮官王克沈少將指揮の下に滿洲國軍樂隊を先頭に、湖衛軍、吉林步兵第四旅第一、二團、新京警備獨立騎兵旅、日本在鄕軍人、滿洲國側各團体並に新京在住日滿市民、地方代表、新京記者團、右側には滿洲國各學校生徒堵列し、數萬の奉拜者は今日ぞ春さは云へ肌を刺す寒氣を物ともせず、未明より夫々既定の場所に詰めかけ、今か今かと御待ち申上げてゐる裡に、先驅のサイドカーが、けたたましい爆音を殘して通過するや、數萬の奉拜者はおごそかな心を壓へ乍らも、水を打つた樣に靜肅に返り、やがて鹵簿は嚴やかな速力にて目前へ奉拜者は期せずして一齊に頭を垂れ、御召車に向つて最敬禮すれば、皇帝におかせられても左右の奉拜者に輕き御會釋を賜ひつゝ御前進、斯くて

＝鹵簿＝　は數萬の奉拜者肅然として襟を正して迎へる大同廣場を右に廻り、司法部文教部の中間を右折、朝陽路を西走し、午前八時十五分順天廣場に設けられた質素ながらも神氣滿ちた郊祭場正門前にピタリと停る、式場には先着の國務總理大臣鄭孝胥氏、各部院大臣、遠藤總務廳長以下簡任官以上の滿洲文武官並に唯一の承認國たる日本全權大使菱刈隆大將、小磯、岡村正副參謀長以下各幕僚、谷參事官、吉澤、佐藤、筒井以下各書記官等文武百官は燕尾服或は滿洲風大禮服の襟を正して奉迎申上げる裡を、車外に降立たせられた　皇帝には前引官の先導に白砂を敷きつめた玉砂利の御通路に玉步を進められ御幄舍に入御遊ばされた

郊祭の御儀
皇禮砲殷々たる裡に
感激に戰く老臣

午前八時十五分嚴肅の氣漲る順天廣場郊祭式場正門に御到着遊ばされた皇帝には、左側に國務總理大臣鄭孝胥氏始め各部大臣、各院長、參議、宇佐美顧問、遠藤總務廳長以下滿洲國側文武官並に日本全權大使菱刈隆大將、小磯、岡村正副參謀長以下各幕僚、谷參事官、吉澤、佐藤、筒井以下各書記官右側に新聞記者團謹寫團二百餘名、肅然と襟を正して最敬禮の裡に、黃の幔幕を張り廻らした御座幄に玉步を進めさせられ約五分間御休憩の後、長くも自ら洗手洗顏、恭しく遊ばされる

＝齊戒＝　引官寶熙氏の恭導に後扈官胡嗣瑗氏を隨へ御座幄を出御遊ばされた、之より先、陪祀官鄭總理、羅振玉、張景惠、沈瑞麟の四氏は天壇の下に進み東側に西面して鄭總理、張景惠の兩氏西側に東面して羅振玉、沈瑞麟の兩氏夫々居並んで御待ち申上る、御座幄を出御遊ばされた　皇帝が天壇に向ひ南面して立たせられるや東西に並んだ陪祀官四名は一齊に天壇に向つて南面する、時正に午前八時三十分、諸神を御迎へ申上ける篝火は炎々として燃え見渡せば一望白皚々たる原野目ばゆき許りの陽光を浴び、天も地も今日の佳き日を壽ぐかの如く、四邊寂として聲なき裡を財政部西方廣場に時至る皇禮砲の打出す百一發の皇禮砲は天地の沈默を破つて殷々として轟き渡る皇帝陛下には緣に黑色貂の毛皮を卷き上部には頂より紅色の房を垂れ頂上に金色の龍が眞珠を抱く飾をつけた帽に襟及袖の石青色（赤黑色）なるを除き其他は藍色にして兩肩の前後腰、衽

＝金色＝　の龍を、其他の部分には十二章、五色の雲、八寶の平水等を刺繡せる長袍を着しその上に石青色（赤黑色）にして前後兩肩に五爪正面向きの四ケ所に金龍を圓形に刺繡し又月日萬壽の篆文字の飾を施し、其間に五色の雲を配せる套服を召され、絨毯を敷きつめた天壇のきざはしを步一步一步靜かに昇御、祭場左に聳ゆる楊樹の森の上にさし昇つた五彩の陽光を全身に浴びられ、おゝしき日も

＝親授＝　親授ばさるや斯くて司玉官は玉を捧持し皇帝の左側に奉璽官は皇帝の右側に並び神案に向つて最敬禮を行ひ、司玉官、奉璽官先づ天を退下續いて典贊官謹んで送神の儀を行ひ、皇帝送燎の禮を受けられつゝ天を下御、贊引官の恭導に陪祀官の最敬禮を受けられ御幄舍に入御遊ばされ文武百官　下を退出奉送位置についた、斯くて午前八時四十分茲に日も新たなる康德元年三月一日、近世世界青史上に畫期的な卽位大典の盛儀たる莊重にして且つ嚴肅極まれる郊祭の御儀は滯りなく終了された、かくて御座幄に入御された皇帝は約五分間御休憩遊ばされ、感激に打ちふるへた文武百官、記者團、謹寫團の奉送裡に御座幄を出御、同五十分御用車に召された、此間國務總理大臣鄭孝胥氏以下各老臣は終始頭を垂れ目には淚ると露をたゝへて抑へ切れぬ感激に戰いてゐた、

＝歡喜＝　鹵簿は朝陽路より大同廣場に出で數萬の民草が感淚にむせびつゝひれふす裡を皇帝は一々輕く御會釋を賜ひつゝ龍顏いと麗しく午前九時五分恙なく御順路を一路皇居に還幸遊ばされた

卽位の大典
玉音朗らかに詔書を賜ふ
初代の皇帝に踐祚

世界史上に特筆大書さる可き光輝ある新滿洲帝國第一世皇帝卽位の大典は全滿朝野の絕大なる感激と歡呼の聲に迎へられ萬邦驚異の視聽を集めて此日建國二周年三月一日郊祭の大儀に引續き、正十二時より勤民樓上に於て、いとも森嚴莊重に行はれた

＝瑞雲＝　棚引く興運丘、新裝成れる興運門內の假皇宮勤民樓は、今日の日の出も新しき康德元年三月一日、森然として曠古の大典を待ち聳へる。午前十一時、晴れの御卽位式に參列する內外高官の自動車は、晴らかな興運門內外の廣場に相次いで到着、鄭國務總理大臣を始め、各部大臣、羅監察院長、趙立法院長、宇佐美顧問

遠藤總務廳長、日本帝國特命全權大使菱刈大將以下關東軍、大使館、駐滿海軍部の上官並に林滿鐵總裁等四百官員紳、大禮服並に通常禮服の盛裝美しく、禁衛警備軍の敬禮を受けて續々承光門內の休息室に集まる、十一時廿分序班官順位を正し、鄭國務總理大臣以下參列の百官を分導して勤民樓上の東殿に上り、定め位置に序立せしめ、次で大禮官は菱刈全權大使以下の外賓を導き同殿に入り、定位に序立せしむ斯くて百官外賓肅然ゆる眞紅の絨氈を踏んで式場に整列し了るや大禮官宮に

＝同候＝　程なく莊重なる軍樂隊の奏樂宮殿一隅より湧き起るや　皇帝陛下には莊麗なる陸軍大禮服に胸間燦として輝く建國功勞章を佩され、黃金造りの大元帥刀を召されて威容嚴然、宮中より勤民樓の南宇に入り給ひ、暫し佇立祖宗の御靈に默禱を捧げられる、正午十二時奏樂裡に大禮官恭々しく　陛下を導き、西宇を出るこれより先、捧詔官御璽官前行して式殿に入り、卽位改元詔書と御璽を玉座案上に置き、案側に肅立す。張侍從武官長　陛下に色從して殿に入り玉座右方に侍立、大禮官玉座左方は侍立すれば、新帝陛下には古色蒼然寳龍雲を呼び、金色の蘭花輝く天蓋の玉座に登臨、府內文武官左右に居並んで王者の尊嚴式場を壓し、鄭總理大臣以下百官外賓敬禮を行ひ神氣漲る、かくて捧詔官謹んで詔書を展べ之を奉獻奉璽官璽貽を啓くや陛下嚴かに詔書に玉璽を鈐され綸音朗らかに之を宣詔し給ふ百官恭しく卽位改元の詔を拜聽、官詔畢つて鄭總理大臣に進み、謹

＝御前＝　んで賀表を捧げ、恭しく之を讀み奉つて靜かに下る、瞬間森然、感極つて老臣の歡喜天をついて百官の聲和する「皇帝陛下萬歳」の三唱は興運丘を越へて全滿に響き渡つた、總理再び玉座に進み賀表を捧呈すれば、皇帝之を受けて大禮官に下げ渡され捧詔官より呈し奉る詔書を　陛下親しく總理大臣に授け給ひて、卽位登極を三千萬國民に宣明さる、鄭總理謹んで詔書を拜受して下り、百官を率ゐて最敬禮を行ふ、かくて大禮終り　皇帝玉座を起ち給ひ、再び莊重なる軍樂隊の奏樂と百官敬禮裡に　陛下晴れやかに退場入內遊ばされる時正に十二時廿分、曠古の大典は茲に芽出度く成り、百官外賓感激して退出した、斯くて建國二年創業の務めにいそしまれた溥執政は御年二十九歳の萬壽節を迎へられて僅もなく父祖の因緣も深い新興大滿洲帝國初代の皇帝に踐祚され、東亞の新しき立憲君主國は茲に愈よ嚴然として新しい第一歩を踏み出した

輝かしい
けふ大典の御儀

寫眞上から郊祭式場に臨ませ給ふ新皇帝陛下（前から御五人目）御召自動車宮廷府を御出發、肅々と郊祭場に向はせらる鹵簿

けふぞ輝かしき
大滿洲帝國皇帝御即位

晴れの新皇帝陛下
登極の歴史的刹那！
鹵簿御通過の沿道に湧返る
萬歳のどよめき

懐しい式服に身を包み一團となつて土下座し御通過を今や遅しと待ちもうけてゐる、一方御大典警備當局は日滿五千の警官隊を總動員し皇宮から、朝日通、大同廣場を經て郊祭式場に至る沿道に水も漏さぬ警戒網を張り巡らす、總てのものが　新皇帝を迎へる緊張さ喜悦の表情だ

×　×

定刻八時公式鹵簿が皇宮を御出門になつた事が警備オートバイの勇しい爆音に依つて知れ渡ると定めの場所に堵列する市民の面上にサツト厳粛の氣漲り、一同思はず威儀を正す、やがて耳朶を打つゆるやかなサイレンの響、鹵簿行進の合圖だ、警笛の響が長く尾を延いて群衆の中に消える、間もなく廿數臺の自動車を連ねた眞紅の行列が繪の様に寫し出された、しばし「新帝だ」「皇上だ」のさゝやきがやがて息詰まるが如き緊張裡に鹵簿の通過すれば、沿道數萬の群衆より「萬歳」は期せずして爆發し、萬歳、ばんざい、バンザイ、感激と昂奮さ喜悦の交錯した歡波のうねりは遠くより近くへ、近くより遠くへさ傳はつて行く、燕脂色に輝く御召自動車に御滿足の微笑みを洩し給ふ　新帝のスナツプシヨツト、曾て支那四億の民に

君臨し、四百餘州に號令せる由緒ある人のプロフイルだ

×　×

新皇帝は嵐の如き民衆の歡呼裡に感激さ光榮に面を輝かせ整列する文武百官並に外國使臣に迎へられて郊祭式場に御到着、天壇に向けしづしづさ玉歩を運ばせられ古式に則り恭しく天命を拜し受命の璽を受けさせられた、此時突然何方よりさも知れず式場上空に

神鳥鵲の群飛來し圓舞し盛典滯りなく濟んで　玉顔いさ晴れやかに天壇を降りさせ給ふ新帝の氣高き姿を讃仰するかの如くであつた

×　×

斯くて正十二時に至れば皇宮勤民樓上燦さして輝く高御座に　新帝登臨、詔書を渙發あらせられた、國務總理大臣鄭孝胥氏は靜かに御前に參行し諸員と敬禮裡に恭々しく祝辭

を言上終つて一禮の後、老の頭身に力をこめ高鳴る心氣を靜めて萬歳を唱呼すれば、居ならぶ百官これに和し、天地に響けさ萬歳を三唱、瞬間皇宮は歡喜さ緊張さ昂奮のるつぼさ化した、之ぞ世界史上特筆大書すべき滿洲國出現、溥儀新皇帝登極の歴史的一刹那だ時正に康德元年三月一日午後零時廿分！

歡喜と希望に充ち滿ちつゝほのぼのさ明けたけふの佳き日の國都風景鹵簿沿道のどよめきを中心に見る

滿められた街上には塵一つ止めず各戸に掲げられた日滿國旗の波は朔風にゆるやかなうねりを見せ慶祝ポスターの五色の色さ共に華麗に輝く國都を厚化粧を以て飾り立てる

×　×

御鹵簿に先立つ一時間前早くも奉拜場所たる大同大街は晴れの　新皇帝の玉顔を拜さんものさ滿漢蒙日鮮露色とりどりの民衆に依つて埋め盡され一際目立つ滿洲旗人の群は昔

首都新京をあげて
興奮の渦巻き
繰出された余興のかずく
空に陸に奉祝行進曲

歡びに明けたけふ！郊祭に次ぐ即位の兩大禮を眼のあたり拜する國都新京は歡喜と感激の渦巻だ、各戸にへんぽんさ翻る五色の旗、朝まだきから行き交ふ自動車馬車洋車は一つ殘らず裝ひを凝らし、大安關口驛前廣場の大アーチを始め日本橋通、中央通、西公園その他附屬地の各所各所に輝かしい奉祝門が晴々しく妍を競つてゐる、商埠地から

〔城内〕に至れば尚一層の華かさがパツさ觀衆の目を興奮に導く、やがて皇禮砲殷々と轟く裡に午前八時郊祭への鹵簿御進發、所定の奉拜所たる大同大街附近は拜觀の各學校生徒兒童、各團体その他一般市民で早朝から大賑ひ、街はもう此の慶びを迎へて人の波、人の渦だ、大同廣場の奉祝大會を終つて引續き日滿合作の

旗行列が大歡聲さともに零時十分を期して出發した、軍樂隊を先頭に日滿各學校生徒兒童、滿洲國官吏、各種團体その他一般市民を加へて實に萬余の大衆が蜒々長蛇の陣をつくつて奉祝歌も高らかに長春大街、西四道街、大馬路、日本橋通を經て附屬地へ、一方滿人側の秧歌會、高脚會、龍風會、獅子會の各餘興、それに珍奇な

〔假装〕行列がいづれも趣向をこらし城内から附屬地へさ繰り出さるれば、附屬地側でもこれに負けじ劣らじの春の裝ひも美しく新京料理店組合三業組合の紅裙總出動、飾りつけられた花自動車の上では囃子に手振り朗かな手踊りを載せ街から街へさ練つてゆく、つゞいて市民の爆笑にかこまれながら往く賑かな一列は假裝行列だ、思ひ〳〵の假裝に身振り可笑しく行きすぎる、破れるやうなこの地上の

慶びに和しも上空には飛行機の亂舞けふ一際轟く爆音さともに悠々上空に圓を描きつゝ五色のビラを撒布しぽん〳〵さ打揚げられる煙火さともに空に陸に全市あけて破れるやうな

〔賑ひ〕の裡に夜に入ればこれはまた輝かしいチオルミネーシヨンの交錯で宛然不夜城を現出して全市民の熱狂はいよ〳〵白熱の度を加へてゆくのであつた

盛んだつた
市民奉祝大會
けふ大同廣場にて

三千萬民衆待望の輝かしい帝政實施を壽ぐ首都新京市民奉祝大會は一日午前十一時から市政公署主催の下にいよ〳〵けふ一日午前十時から大同廣場で開催された、會場周圍には紅白のまん幕をめぐらし大同大街突當り正面には壽台が設けられ向つて右側の來賓席には軍關係地方民有力者、滿洲國官吏、附屬地の日本側名士ら約千名、左側には金市長橋口總務處長以下各係員、新聞記者ら所狹きまでに居並びその前には日滿各學校生徒約一萬、それに一般大衆をも加へてさしもの廣き會場も人を以て埋もれたがやがて定刻馬政科長の司會で大會の幕が開かれた、まづ軍樂隊奏樂裡に莊嚴なる國旗掲揚式あり一同國旗に敬禮して國歌を合唱ついで金市長起つて主催者さしての挨拶述べ、一同恭しく新帝陛下の在はします宮廷府に向つて遙拜した、それより來賓を代表して荒木地方事務所長、滿洲國協和會山口次長の祝辭があり、最後に金市長の發聲で天地も搖がすばかりに二萬の大衆によつて萬歳が三唱されかくて豫定通り正午終了引續き旗行列に移つた

即位詔書

奉天承運ノ皇帝詔シテ曰ク
朕國ヲ肇メ滿洲ト號シテ茲ニ二年、天意ノ愛民ニ原ツキ友邦ノ仗義ニ頼リ、其始メ凶殘ヲ痘ヲ肆ニシ安忍兵ヲ阻ミ無辜ヲ大ニヨフモ能ク自ラ振フコトナカリシニ、日本帝國欣然ヲ冒シテ避ケス、衆咎ヲ犯シテ辭セス、事ハ解懸ニ等シク功ハ援溺ニ同シ、朕躬ヲ以テ天眷ヲ承ク、我ニ尺柄ヲ假シ我ニ丘民ヲ授ク、流亡漸ク集マリ謳歌ヲ興シ、兵氣潜銷シ化シテ日月ト爲ル、位ヲ正サンコトヲ籲請シ、詢謀ミナ同シ、敢テ天命ヲ敢承セサランヤ、夫レ皇天親ナク惟タ德之レ輔ク、而シテ生民欲アリ主ナケレハ乃チ亂ル、其大同三年三月一日ヲ以テ皇帝ノ位ニ即キ改メテ康德元年トナシ仍ホ滿洲ノ國號ヲ用ユ、世維未タ艾キス、爾ソ敢テ苟安セン、有ラユル守國ノ遠圖ト睦邦ノ長策トハ當ニ日本帝國ト協力同心以テ永固ヲ期スヘシ、凡ソ統治綱要成立ノ約章ハ一ニ其舊ノ如シ、國中ノ人民種族各異ルモ此レヨリ心ヲ推シテ腹ニ置キ利益與ニ共ニス、此言ヲ渝エサル皎日ノ如キ有リ、朕カ命ヲ替ルコトナカレ、
成ヲシテ聞知セシム

御名御璽

康德元年三月一日

國務總理大臣

各部大臣

郊祭式場跡
拜觀日割
一般は第三日

郊祭式場跡の拜觀が許可されることゝなつたので吾れも〳〵さ各方面からの希望が殺到してゐるがその日割は申込順により左の通り決定された

第一日

▲午前十時拜觀開始　官公吏側（申込順）＝執政府（一〇）協和會（一七〇）文教部（一九五）新京專賣局（八）人事處（三〇）中央銀行（三五〇）國道局（一五〇）國部建設局（一一七）外交部（五）情報處（一五）市政公署（五）需用處（一八〇）監察院（一〇〇）民政部土地局（八〇）計實業部總務司（一六三）興安總署（一〇〇）計（一八三名）

▲午後一時より三時迄　新京附屬地内各團体（申込順）＝滿鐵地方事務所（一五）孟家屯驛（二一）大興股份公司（一一七）新京輸入組合（四〇〇）金光教會（五〇）理髮組合（六〇）消楔修會（一八）修養團（一〇〇）鮮人居留民會（一〇〇〇）日本山妙法寺（三〇）新京第四區（四〇〇）本願寺（二二）西本願寺（三〇〇）在鄕軍人團（三〇〇）新京第三區（三〇〇）中央電話局（九五）道事務

寫眞說明

寫眞上から儀仗兵御式場に行進、鹵簿大同街を御通過、沿道に奉迎の滿洲國軍樂隊

孝子節婦等
二百九十名を表彰
新帝の大御心畏し

御大典さ同時に全滿孝子、孝女、節婦、烈婦、義僕を表彰することゝなりかねて文教部にて調査中であつたが、全滿に於ける被表彰者は左の如く二百九十名の多數に上り淳風良俗以つて、王道世界を建設せんさする　新帝の大心を拜することが出來る

新京	
節婦	一名
奉天省	
孝子	十三名
節婦	一百六十四名
烈婦	三名
吉林省	
孝子	五名
孝女	一名
節婦	二十二名
烈婦	三名
義僕	二名
黑龍江省	
孝子	六名
節婦	二十八名
烈婦	二名
熱河省	
孝子	三名
節婦	十七名
興安省	
孝子	六名
節婦	十四名
合計	二百九十名

第二日

所（二二）吉長局（一〇〇）檢車區（一〇五六）滿洲正義團（一〇〇）計（五〇〇〇名）

第三日

滿人小學校（三五〇）新京公學校（七〇〇）大同學院（九六）高等女學校（四〇〇）室町小學校（八五〇）西廣場小學校（五〇〇）新京普通學校（二〇〇）新京中學（一〇〇）青訓（四〇）商業學校（四〇〇）

なほ第二日三日は一般拜觀さなつてゐるが拜觀の注意さして場外に於ては警備隊の指揮に從ひ場内に於てはボーイスカウツの指導に服されたいさ

愛國婦人會で
國旗章を賣る
一日から三日まで

愛國婦人會滿洲本部では御大典を記念して日滿兩國の提携さ福祉を增進する鍵さも稱すべき兩國々旗を交叉した國旗章を作成「日滿提携親善は婦人の手から」をモツトーに一日から三日まで三日間三千個の國旗章を一個十錢で街頭で賣捌き親善、提携の觀念を深くせしめるさ共にこれによつて得た純益を日滿親善提携が事業の資に供する事さなつた

對外通告
世界各國へ

滿洲國政府は帝政實施さ共に日本を除く世界七十一個國の外務大臣宛外交部大臣謝介石氏の名を以て光輝ある滿洲帝國の成立を通告し、將來の外交關係の良好に進展せん事を切する旨聲明をした

對外通告

本康德元年（一九三四年）三月一日我滿洲國に於ては執政、滿洲帝國皇帝さして即位し、茲に帝政が實施せられたる事を貴國政府に通告するの光榮を有す

本大臣は此の機會に於て貴國さ當國との關係が將來良好に發展せん事を切望するものなることを聲明す

康德元年三月一日

滿洲帝國外交部大臣

謝介石

その日の大東京風景

善隣日本帝都にも
朗らかな歡聲
公使館を中心に各種の催し

當日の大東京

（東京國通）輝しき建國三年の春、伸びゆく滿洲國の祥瑞をこめて愈よ即位の大典を行はせらるゝ三月一日、此の佳き日にそなへて東京の滿洲國公使館は豫てより丁公使以下全館員異常の喜びさ緊張を以て慶祝の意を表すべく、準備に忙殺されてゐたが今や準備全くなつて擧式を待つのみさなつた、朝まだき既に麻布公使館附近市街には早くも五色の滿洲國旗さ日の丸の日本國旗さが朔風に翩翻さ飜つて九千萬日本國民の祝賀の意を表徴するかの樣である、公使館では新京にて即位の大典を擧げらるゝさ同時刻に遙拜式を擧行することゝなつてゐるので新帝陛下御弟溥傑殿下、皇后陛下御弟潤麒氏の御軍裝も一際晴やかに打揃つて御成りあり伺候の館員等さ御機嫌麗しく兄君　新皇帝のことゞも御物語り遊ばされてゐる、一方公使館南方廣場では早朝より絶えず打揚げる慶祝の花火賑々しく、其儘春陽に浮立つ大東京の歡聲を思はせる

感激の遙拜式

やて兩殿下をはじめ奉丁公使以下全館員、在京滿洲國官吏、滿洲中央銀行東京出張所、滿洲國協和會、滿洲國通信社東京支局各代表者滿洲國留學生

公使は感激に滿ちた口調で、「若く英邁なる　溥執政閣下は萬民謳歌の内に天意により即位の大典を行はせらる」旨を述べて御寫眞に向ひ最敬禮すれば參列の諸員一齊に恭しく拜禮して遙拜式を終つた、この日公使館は午前十一時日滿人の祝賀を受けることにしたので玄關の名刺受は參賀の日滿人の夥しさを記錄する樣に名刺がうづ高く積まれた

盛大なる園遊會

本國より滯りなく御即位の大典を終了したさの電報を接受するや丁公使より直ちに右の旨を外務省に通告した、又東京駐在各國大公使宛　滿皇帝御即位の旨を通知した、尚丁公使は陸海軍兩省を訪問しこさを陳べて公使の名を以て恤兵費として國幣一萬圓を寄贈した、公使館では午後三時より五時まで本日の晩餐會に招かれざる滿洲國の建國に關係深き陸海軍人、各省官吏在京

滿洲國關係團體代表者、新聞通信記者、在京外人記者、滿鐵以下滿洲國に關係ある會社銀行の幹部等千餘名を公使館に招待して盛大な園遊會を催した

大晩餐會の盛況

夜は七時より丸の内東京會館に丁公使主催の下に朝野の名士五百名を招待して御即位祝賀の一大盛宴を張つた、出席者は總理大臣以下各閣僚、貴衆兩院各正副議長、樞密顧問官、陸海軍首腦部、齋法顧問調査關係學者、新聞通信社長其他政界財界各方面の名士を網羅し丁公使の挨拶の後齋藤首相は九千萬國民を代表して莊重な口調で祝辭を述べた、續いて陸相、拓相其他數士の祝辭演說があり、一同起立して齋藤首相の發聲で　滿皇帝皇后兩陛下滿洲國の萬歳を三唱し、更に丁公使の發聲で日本　天皇　皇后兩陛下日本帝國の萬歳を唱和して盛會裡に大晩餐會を終つた

女學生代表
滿洲國歌齊唱
賑かなる奉祝の夜

（東京國通）三月一日滿洲國皇帝御即位大典奉祝の爲め午前八時半東京麻布區内全小學校生徒代表者約三百名は各小學校長に引卒され麻布區長總指揮の下に手に手に日滿兩國の奉祝旗を打振り打振り滿洲國公使館に至り一齊に可愛い聲を張上げて萬歳を三唱して公使館への團体的奉祝の一番乘りをして日本小國民の躍祝の熱意を示した、一方都下六十餘校の女學生代表約六百名は午前十時麻布廣尾の順心高等女學校に參集して後成女高等女學校長宮田脩氏に引卒されて滿洲國公使館まで旗行列をなし、公使館玄關前に整列先

づ祝意を奉呈して後、滿洲國々歌を齊唱して日本女學生の心からの慶祝を滿洲國皇帝皇后兩陛下に聞え上げんさばかりの奉祝振りだつた國學院大學を始め都下各大學專門學校は夫々代表を公使館に派遣して賀辭を奉呈した又夜は夜で麻布の青年團、町會有志約五百名提灯行列で公使館を火の海と化した祝夜は最後を賑つた、三月一日夜東京會館にて丁公使主催の下に行はれた御即位大典祝賀晩餐會には饗宴前會館内舞臺に歌舞伎の名家市川宗家々中の美人連が出場して新作「日滿音頭」を上演して多彩な晩餐會の印象を一層華麗のものさした

記念事業
計畫

曠古の大典を國民の胸に牢記せしめ、帝國の善政を全土に遍からしむる爲め滿洲國政府に各公共團体では、本日を期し左の事業の實行に着手することゝなつた

國立科學研究所

滿洲國に關する凡ゆる自然並に社會科學研究を目標させる一大學術殿堂で、豫算三百萬圓經費事業さし、首都新京に建設されるが、その外圖書館、博物館の造營計畫がある（文教部）

承德の國立公園

舊清朝盛時の宏壯なる離宮が遺されてあるので、この風致を巧みに取入れ、百萬圓の巨費を投じ滿洲一の公園を造る

兩陛下に献上

西本法主から

西本願寺法主大谷光昭師から刺繡屏風を　兩陛下へ、佛教婦人會長大谷裕子夫人から刺繡卓子掛を　皇后陛下に獻上のため西本願寺から斯波隨件師が捧持して一日午後三時來京、賀表さともに宮廷府に出頭奉呈した

建國記念塔

大同廣場に大理石の大記念塔を建て、塔の四面に建國功勞者の群像並に建國史を刻む、又別に協和會は、主要都市に民族協和記念塔を建立する（建設局並に協和會）

その實現は日滿文化委員會の研究を俟つて行はれることゝなつてゐる（文化委員會）

全滿の綠化

例年行ふ四月五日の植樹祭を今年は、大典記念植樹祭さし全國を十町歩四方の井桁形に割り、五十八間幅の地帶に植林十年を第一期計畫さして滿鐵沿線より西に進み將來は蒙古砂漠地帶まで征服、全滿の綠化を圖る（實業部）

窮民救濟

窮民、孤兒、阿片陷者等救濟のため御大典予算の中から多額の賑恤費が支出されてゐるその他である（民政部）

立憲君主制に依る 滿洲國政府組織法

各政務機關の權能は舊と同一 けふ愈よ公布さる

朕皇天ノ眷命ヲ承ケ帝位ニ即キ茲ニ組織法ヲ制定シ統治組織ノ根本ヲ示ス 朕ハ統治ノ權ヲ行フニ當リ此ノ條章ニ循ヒテ愆ラサルヘシ

御名御璽

康德元年三月一日

國務總理大臣

各部大臣

組織法

第一章 皇帝

第一條 滿洲帝國ハ皇帝之ヲ統治ス

帝位ノ繼承ハ別ニ定ムル所ニ依ル

第二條 皇帝ノ尊嚴ハ侵サルルコトナシ

第三條 皇帝ハ國ノ元首ニシテ統治權ヲ總攬シ本法ノ條規ニ依リ之ヲ行フ

第四條 國務總理大臣ハ皇帝ヲ輔弼シ其ノ責ニ任ス

第五條 皇帝ハ立法院ノ翼賛ニ依リ立法權ヲ行フ

第六條 皇帝ハ法律ニ依リ法院ヲシテ司法權ヲ行ハシム

第七條 皇帝ハ公共ノ安寧福利ヲ維持增進シ又ハ法律ヲ執行スル爲命令ヲ發布シ又ハ發布セシム但シ命令ヲ以テ法律ヲ變更スルコトヲ得ス

第八條 皇帝ハ公安ヲ維持シ又ハ非常ノ災害ヲ防遏スル爲立法院ヲ召集スルコトヲ得サル場合ニ於テハ參議府ニ諮詢シ法律ト同一ノ效力アル勅令ヲ發布スルコトヲ得但シ此ノ勅令ハ次ノ會期ニ於テ立法院ニ報告スヘシ

第九條 皇帝ハ官制ヲ定メ官吏ヲ任免シ及其ノ俸給ヲ定ム但シ本法又ハ法律ニ依リ特ニ定メタルモノハ此ノ限ニ在ラス

第十條 皇帝ハ戰ヲ宣シ和ヲ講シ及條約ヲ締結ス

第十一條 皇帝ハ陸海空軍ヲ統率ス

第十二條 皇帝ハ勳章其ノ他ノ榮典ヲ授與ス

第十三條 皇帝ハ大赦特赦減刑及復權ヲ命ス

第二章 參議府

第十四條 參議府ハ參議ヲ以テ之ヲ組織ス

第十五條 參議府ハ左ノ事項ニ關シ皇帝ノ諮詢ヲ承ケ其ノ意見ヲ上奏ス

一、法律

二、帝室令

三、勅令

四、豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スノ件

五、列國交涉ノ條約約束及皇帝ノ名ニ於テ行フ對外宣言

六、重要ナル官吏ノ任免

七、其ノ他重要ナル國務

第十六條 參議府ハ重要ナル國務ニ關シ意見ヲ上奏スルコトヲ得

第三章 立法院

第十七條 立法院ノ組織ハ別ニ法律ノ定ムル所ニ依ル

第十八條 凡テ法律豫算及豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スノ件ハ立法院ノ翼賛ヲ經ルコトヲ要ス

第十九條 立法院ハ國務ニ關シ國務院ニ建議スルコトヲ得

第二十條 立法院ハ人民ノ請願ヲ受理スルコトヲ得

第二十一條 立法院ハ皇帝毎年之ヲ召集ス常會ノ會期ハ一箇月トス但シ必要アル場合皇帝之ヲ延長スルコトヲ得

第二十二條 立法院ハ總議員三分ノ一以上出席スルニ非サレハ開會スルコトヲ得ス

第二十三條 立法院ノ議事ハ出席議員ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

第二十四條 立法院ノ會議ハ之ヲ公開ス但シ國務院ノ要求又ハ立法院ノ決議ニ依リ秘密會トスルコトヲ得

第二十五條 立法院ノ議決セル法律豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スノ件ハ皇帝之ヲ裁可シ公布施行セシム立法院法律案豫算案又ハ豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スノ件ヲ否決セルトキハ理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ付シ仍ホ改メサルトキハ參議府ニ諮リテ其ノ可否ヲ決ス

第二十六條 立法院議員ハ院內ニ於ケル言論及表決ニ關シ院外ニ於テ責任ヲ負フコトナシ

第四章 國務院

第二十七條 國務院ハ諸般ノ行政ヲ掌理ス

第二十八條 國務院ハ民政、外交、軍政、財政、實業、交通、司法及文敎ノ各部ヲ以テ之ヲ組織ス

第二十九條 國務院ニ國務總理大臣及各部大臣ヲ置ク各部大臣ハ主管事務ニ付其ノ責ニ任ス

第三十條 國務總理大臣及各部大臣ハ何時タリトモ立法院會議ニ出席シ及發言スルコトヲ得但シ表決ニ加ハルコトヲ得ス

第三十一條 國務ニ關スル詔書勅書法律及勅令ニハ國務總理大臣及主管各部大臣之ニ副署ス

第五章 法院

第三十二條 法院ハ法律ニ依リ民事及刑事ノ訴訟ヲ審判ス但シ行政訴訟其ノ他ノ特別訴訟ニ關シテハ法律ヲ以テ別ニ之ヲ定ム

第三十三條 法院ノ構成及法官ノ資格ハ法律ヲ以テ之ヲ定ム

第三十四條 法官ハ獨立シテ其ノ職務ヲ行フ

第三十五條 法官ハ刑事又ハ懲戒ノ裁判ニ依ルノ外其ノ職ヲ免セラルルコトナシ又其ノ意ニ反シテ停職轉官轉所及減俸セラルルコトナシ

第三十六條 法院ノ對審判決ハ之ヲ公開ス但シ安寧秩序又ハ風俗ヲ害スル虞アルトキハ法律ニ依リ又ハ法院ノ決議ヲ以テ公開ヲ停止スルコトヲ得

第六章 監察院

第三十七條 監察院ハ監察及審計ヲ行フ

監察院ノ組織及職務ニ關シテハ法律ヲ以テ別ニ之ヲ定ム

第三十八條 監察院ニ監察官及審計官ヲ置ク

第三十九條 監察官及審計官ハ刑事裁判若ハ懲戒處分ニ依ルノ外其ノ職ヲ免セラルルコトナシ又其ノ意ニ反シテ停職轉官及減俸セラルルコトナシ

附則

第四十條 本法ハ康德元年三月一日ヨリ之ヲ施行ス

第四十一條 皇帝ハ當分ノ間參議府ノ諮詢ヲ經テ法律ト同一效カヲ有スル勅令ヲ發布シ豫算ヲ定メ及豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スコトヲ得

第四十二條 敎令院令其ノ他何等ノ名稱ヲ用ヒタルニ拘ハラス從前ノ法令ハ總テ仍ホ其ノ效カヲ有ス

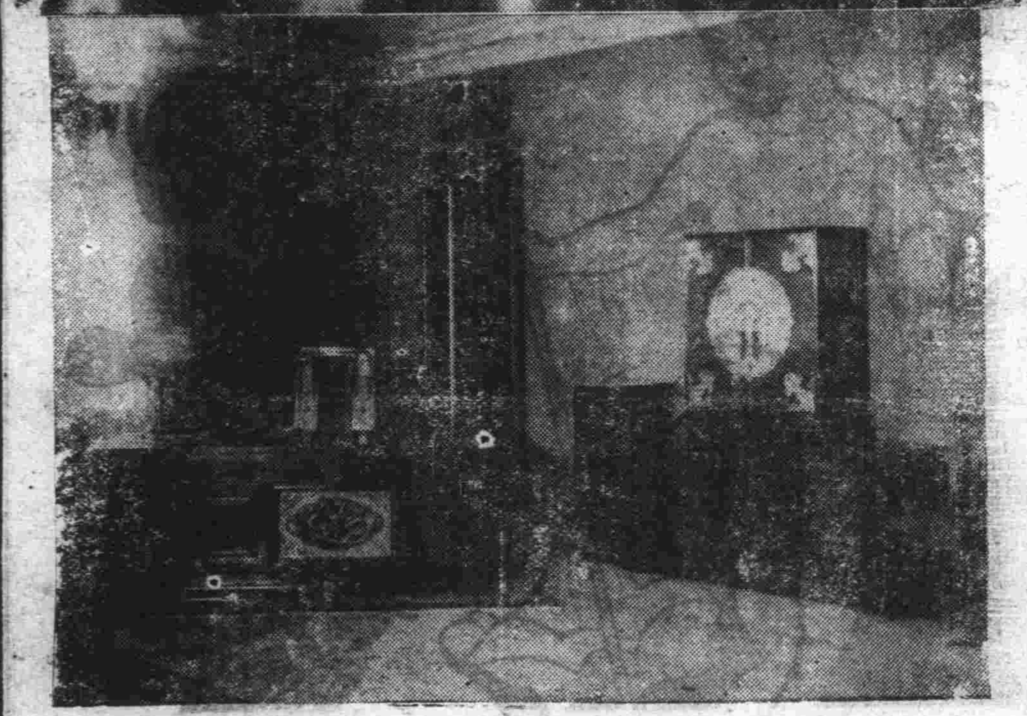
朕組織法第四十一條ニ依リ參議府ノ諮詢ヲ經テ政府組織法廢止ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

康德元年三月一日

國務總理大臣

各部大臣



恩賞會議その他の 諸勅令を公布

恩賞會議規程

勅令第六號

第一條 恩賞會議は國務總理大臣の諮詢を承け勳章其の他の榮典の授與及び褫奪の當否を議定す

勳等及勳章の敍賜及び褫奪は恩賞會議の決議を經るに非ざれば上奏することを得ず

第二條 恩賞會議は議長及議定官を以て之を組織す

第三條 恩賞會議の議長は國務總理大臣を以て之に充つ國務總理大臣事故あるときは總務廳長之を代理す

第四條 議定官は八人以內とし特任官中より國務總理大臣之を命ず

第五條 恩賞會議の議事は多數に依り之を決す可否同數なるときは議長の決する所に依る勳等及勳章の敍賜又は褫奪は議定官四人以上の同意あるに非ざれば之を決することを得ず

第六條 恩賞會議の事務は賞勳局長之を掌管す

附則

本令は康德元年三月一日より之を施行す

勳章令

勅令第七號 勳章令

第一條 國家に對する勳績抜群功勞顯著なる者を表彰する爲之に勳章を賜ふ

第二條 勳章の種類及勳等は別に之を定む

第三條 勳章は本人に限り之を佩用し其の子孫之を保存することを得

第四條 勳章の佩用還納及褫奪は別に之を定む

第五條 本令施行に關し必要なる規定は院令を以て之を定む

附則

本令は康德元年三月一日より施行す

官吏身分に關する勅令

勅令第二十號 官吏の身分に關する件

第一條 政府組織法廢止の際國務總理各部總長興安總署總長たる者は國務總理大臣各部大臣興安總署長官に任ぜられたるものとす

第二條 政府組織法廢止の際前條に規定する者以外の官職に在る者にして別段の辭令を交付せられざるときは仍ほ其の官職を有するものとす

附則

本令は康德元年三月一日より之を施行す

帝室令その他 勅令案の內容 何れも本日公布

宮內府官制

令第二號

第一條 宮內府大臣は特任とす帝室の事務に就き輔弼の責に任ず

第二條 宮內府大臣は宮內府を統轄し所部の職員を指揮監督しその任免及賞罰に關しては之を上奏し、委任官以下は之を專行す

職員に對する勳章其他榮典の授與に關しては國務總理大臣を經て上奏す

第三條 宮內府大臣は帝室令の制定改廢を要するものあるときは案を具へて上奏すべし其の國務に關係するものに就ては國務總理大臣と俱に上奏すべし

第四條 宮內府大臣は帝室令の施行其他主管の事務に關し宮內府令を發し其他の規定を定むる事を得國務に關係するものに付ては國務總理大臣と協定すべし

第五條 宮內府大臣は事故あるときは次長に代理せしむ臨時その職務を代理せしむる事を得但し公文程式による副署、宮內府令の制定及び重要事務の上奏又は執行に就てはこの限りにあらず

第六條 宮內府に左の五處を置く

總務處

內務處

近侍處

掌禮處

第七條 總務處は左の事項を掌管す

一、詔書、勅書、帝室令其他の原本の尙藏に關する事項

二、官印の管守及文書の收發保管に關する事項

三、職員の任免、賞罰其他身分に關する事項

四、拜謁に關する事項

五、行幸に關する事項

六、進獻に關する事項

七、慈善に關する事項

八、宴會賞賚に關する事項

九、他處の主管に屬せざる事項

第八條 內務處は左の事項を掌管す

一、會計に關する事項

二、營繕に關する事項

三、財產管理に關する事項

四、物品の購買及保存に關する事項

第九條 近侍處は左の事項を掌管す

一、壇廟及寢陵に關する事項

二、側近に關する事項

三、醫療に關する事項

四、膳羞に關する事項

第十條 掌禮處は左の事項を掌管す

一、祭祀典禮に關する事項

二、外賓の接待に關する事項

三、樂隊に關する事項

第十一條 警衛處は左の事項を掌管す

一、警衛に關する事項

二、警察消防及衛生に關する事項

三、車馬に關する事項

第十二條 宮內府に左の職員を置く

次長、總務處長、內務處長、近侍處長、掌禮處長、警衛處長、事務官、秘書官、禮官、侍醫、奏事官、翻譯官、藥劑官、技正、技士、警衛官、屬官、警衛士

第十三條 次長は特任又は簡任とし、宮內府大臣を輔佐す

總務處長、內務處長、近侍處長、掌禮處長及警衛處長は簡任とし宮內府大臣の指揮監督を承け、所管の事務を掌理し所部の職員を指揮監督す

第十四條 秘書官は專任二人簡任とす(內一人を簡任となす事を得)宮內府大臣に專屬し機要の事務を掌る但し特に總務處の事務を分掌せしむる事を得

禮官は專任四人薦任とす掌禮處長の命を承け典禮の事を掌る

侍醫は專任四人薦任(內一人を簡任となす事を得)とす近侍處長の命を承け醫療を掌る

事務官は專任十六人薦任とす上官の命を承け事務を掌る

翻譯官は專任七人薦任とす上官の命を承け翻譯通譯を掌る

藥劑官は專任二人委任(內一人を薦任となす事を得)とす上官の命を承け調劑を掌る

奏事官は專任四人委任(內一人を薦任となす事を得)とす上官の命を承け側近の維務に從事す

屬官は專任三十八人委任とす上官の命を承け事務に從事す

技正は專任一人薦任とす上官の命を承け技術を掌る

技士は專任五人委任とす上官の命を承け技術に從事す

第十五條 警衛官は專任三人薦任とす上官の指揮を承け警衛警察消防及衛生に關する事務を分掌す警衛士は專任八人委任とす上官の指揮を承け警衛警察消防及衛生に關する事務に從事す

第十六條 警衛處に護軍を置く

護軍の定員給與及勤務に關しては宮內府大臣之を定む

第十七條 宮內府に侍衛官十五人以內を置き內一人を侍衛官長と爲す事を得侍衛官長は簡任官待遇侍衛官は薦任官待遇(內二人を簡任官待遇と爲す事を得)とす宮內府大臣の命を承け近侍扈從す

第十八條 宮內府大臣は勅裁を經て顧問官を置く事を得顧問官は簡任官待遇の名譽官とし宮內府大臣の諮問に應ず

附則

本令は康德元年三月一日より之を施行す大同元年執政府令第一號執政府官制は之を廢止す

帝室會計審查局官制

帝室令第三號 帝室會計審查局官制

第一條 宮內府に帝室會計審查局を置く

第二條 帝室會計審查局は帝室の會計審查に關する事務を掌管す

第三條 帝室會計審查局に左の職員を置く

局長　簡任

審查官　二人　薦任

屬官　二人　委任

第四條 局長は局務を掌理し所部の職員を指揮監督し其の任免及賞罰は宮內府大臣を經て上奏し委任官以下は之を專行す

會計の審查に付ては宮內府大臣の指揮監督を受くることなし

第五條 局長は主管の部局長官に會計の審查上必要なる書類の提出を求め又は式樣を示して必要なる報告を求むることを得

第六條 局長は會計上不明瞭又は不合規の件あると認めたるときは主管の部局長官に推問書を發し辯明を求むることを得

第七條 局長は審查官をして主管の部局に就き書類帳簿計算表現金物件及工事の況等を檢查せしむることを得

第八條 審查官は局長の命を承け會計審查の事務を掌る

第九條 屬官は上官の命を承け庶務に從事す

第十條 帝室の會計審查に關する規定は本令に定むるものを除くの外勅裁を經て宮內府大臣之を定む

附則

本令は康德元年三月一日より之を施行す

宮內官の官等俸給

帝室令第四號 宮內官の官等俸給に關する件

第一條 宮內官にして本令に定むるものの外大同元年敎令第四十二號暫行文官官等俸給令を準用す

第二條 宮內府大臣及尙書府大臣の俸給は年二萬五千圓とす

附則

第一條 本令は康德元年三月一日より之を施行す

第二條 大同元年執政府令第二號執政府官吏俸給令は之を廢止す

侍衛官の手當

帝室令第五號 侍衛官の手當に關する件

侍衛官の手當を左の通り定む

侍衛官長　四五〇〇圓以下

簡任官待遇侍衛官　三六〇〇圓以下

薦任官待遇侍衛官　二四〇〇圓以下

附則

本令は康德元年三月一日より之を施行す大同元年執政府令第三號侍衛官手當に關する件は之を廢止す

尙書府官制

帝室令第二號 尙書府官制

第一條 尙書府は御璽國璽を尙藏し詔書勅書其の他の文書の用璽に關する事務を掌る

第二條 尙書府大臣は特任とす尙書府を統轄し所部の職員を指揮監督し其の任免及賞罰は宮內府大臣に移牒すべし委任官以下は之を專行す

第三條 尙書府に左の職員を置く

秘書官長　一人　簡任

秘書官　二人　薦任

屬官　三人　委任

第四條 秘書官長は尙書府大臣の監督を承け事務を掌理す

第五條 秘書官は秘書官長の命を承け事務を掌る

第六條 屬官は上官の指揮を承け庶務に從事す

法律命令の施行期日

勅令第三號 法律命令の施行期日に關する件

法律勅令院令其他行政官署の發布する命令は別段の施行期日の定ある場合を除くの外公布の日より起算し滿卅日を經て之を施行す

附則

本令は康德元年三月一日より之を施行す

人權保障法の前文を改正す

勅令第十二號 人權保障法の前文を改正の件

大同元年敎令第一號人權保障法前文を左の通改む

滿洲帝國の統治を行ふ皇帝は戰時若は非常事變の場合を除くの外左の各條に準據して人民の自由及權利を保障し並に義務を定むることに於て愆らざるべし

附則

本令は康德元年三月一日より之を施行す

大典紀念章條例

勅令第九號 大典紀念章條例

第一條 大典紀念の表章として紀念章を設く

第二條 紀念章の圖式左の如し

章 銀梨地圓形、徑三十五耗とす、表面には輪廓內中央上部に蘭花紋章を金色に其下部に「帝山平農」の文字を銀色に出し兩側に雙鳳相對するの圖を鑄出す、裏面には中央部に「大典紀念章」右側に「康德元年」左側に「三月一日」の文字を銀色に鑄出す

綬 織地幅三十七耗、紅、黃、藍、白、黑五色の縱線とす

形狀別圖の通りとす

紀念章は綬を以て左方の胸上に佩ぶ

第三條 紀念章は左に掲ぐる者に之を授與す

一、大典に召されたる者

二、大典の事務及大典に伴ふ要務に關與したる者

三、其他國務總理大臣に於て指定したる者

第四條 紀念章は本人に限り終身之を佩用し其の子孫之を保存する事を得

第五條 紀念章を授與せらるべき者其の授與前に死亡したるときは之を其の家長に交付して保存せしむ

附則

本令は康德元年三月一日より之を施行す

逆產處理法の廢止宣言さる

廣く其喜びを頒つ

滿洲國建國に際して其の基礎未だ定まらざるに乘じ舊政權の依據者にして建國逆害の行爲を爲す者多く之を排除する目的を以て本法を制定し之等の者の財產を沒收し以て反國家行爲の根據を覆滅すると同時に一方社會的正義を高調するの必要ありたるも施行以來既に一年有半國家の基礎愈よ鞏固を加へ國運益隆盛ならんとする今日、最早其の必要を認めざるに至りたるを以て今や曠古の大典に際し廣く其の喜を頒ち且つ社會人心の安定を期するため本法を廢止し逆產處理業務は現在を以て打切ることとせり

尙以上の趣旨なるを以て將來我國に對し忠順を願ふ者は何等の不安なく其生に安んじ得可きものなり

三月一日

國務總理大臣　鄭孝胥

正義團新京本部 奉仕班の活動

千載一遇の大典を目前に民衆の緊張振はもとよりの事であるが之が取締の任にある官憲當局の苦心と努力は實に涙ぐましいものであり文字通りの不眠不休の有樣である正義團新京本部に於ては此大業に對して國家の爲めに奉仕せんとする折柄首都警察廳よりの依賴により大典紀念ポスター及慶祝大會ポスター約五千枚の配布方を引受け二十七日支部所屬團員五十名を招集し大滿洲正義團奉仕班の腕章を付けて活動を續けてゐる

寫眞說明

執政府內の御饗宴場(上)と新帝陛下御學問所(下)

奉祝御大典

吉林　滿鐵事務所

吉林　木材興業株式會社

吉林　泰山行　山下峻

吉林滿鮮坑木會社　支店長　前田利則

旅館組合　名古屋旅館　日清ホテル　近江屋旅館　初音旅館　大阪旅館　金千代旅館　東京旅館

吉林　料理店組合　事務所　電話九八三番

奉祝　大禮

井筒ポマード

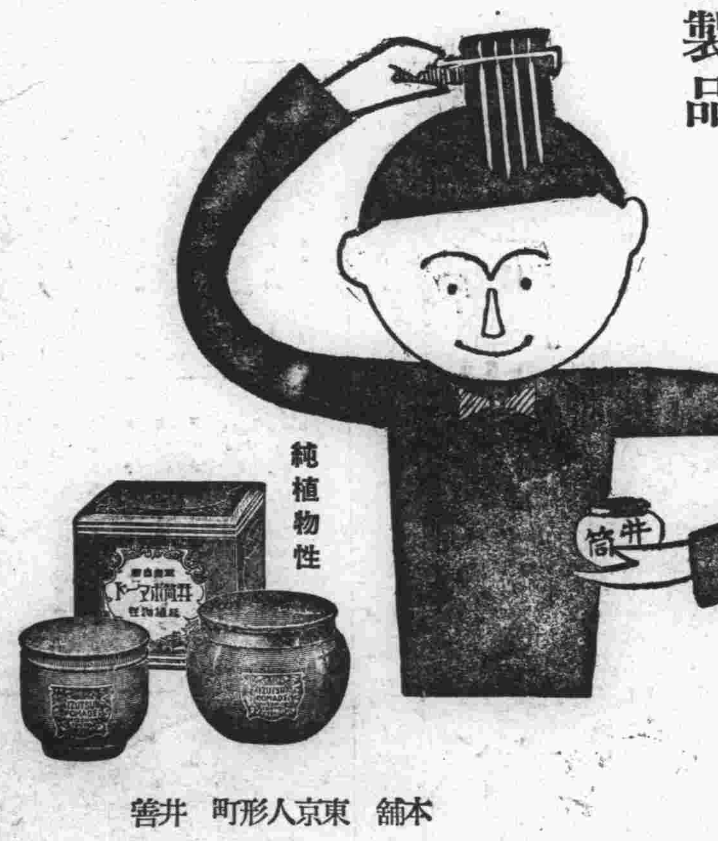
純良椿製

香油

斷然!!
おすゝめ致したい
美髪料の代表的製品

整容に關心をもつ君
ぜひ知つて頂きたい

純良の品質
清新の芳香
美髪的効果
心良い感觸
洗髪の容易
等々



本舗　東京人形町　井筒

婦人病良薬

命の母

血の道　ヒステリ　下腹腰痛
コシケ　月經不順　足腰冷感
頭痛逆上　貧血　惡阻
子宮諸病　其の他産前産後
の肥立ち宜からぬ人は勿論
疝氣　疝癪　感冒等に用ひて
効目あり

（各藥房ニアリ）

試用分	二十錢
二日分	四十錢
六日分	一圓
十三日分	二圓
二十日分	三圓
卅五日分	五圓
七十日分	十圓

▼本舗には容態別各號加減命の母あり▲

命の母　ヲギナ球　本舗
東京市京橋區新榮通
笹岡省三藥房
振替東京五〇五〇番

新聞名記入御申込の方に
婦人病者の心得
を無代進呈いたします

腦神經衰弱

レーベン

進呈
増田博士、森醫學士共著「神經衰弱療法」
ハガキにて御申越次第無代進呈す

神經衰弱は
あなたの生活を慘めに
叩き壞す近代惡魔です

頭がづきづき痛む
眠られない……
便秘がする……
耳の奥で蟬が鳴く

それは貴方の頭腦の疲れ
悲しくも自滅線へ近づき
つゝあるのです
斯る時「レーベン」を服
用し靜かに反應を檢して
見て下さい

夜の明けた樣な
頭腦の輕さ……
快よい安眠……
正しき便通……
明快なる頭腦……
透徹せる神經……

それはもう既に
貴下のものです

レーベンは失はれたる腦力
及び精力を合理的に補給し
神經衰弱の原因を除去し、
腦力精力のより以上なる増
進によつて病苦を救ふ最も
近歩的な權威ある健腦強精
藥です。

推奬證明
岡田醫學博士
福田醫學博士
伊藤醫學博士
ロビンソン博士

適應症
神經衰弱、頭痛、頭重、逆上、眩暈
耳鳴、便秘、不眠症、腦充血、頭腦
疲勞、精神疲勞、精神衰弱、筋肉疲
勞、心悸亢進、遺精、夢精、陰萎等

●藥價・一圓、二圓、三圓、五圓、十圓
（試用）五十錢、全國藥店百貨店にあり、
品切の地は本舗へ……送料無料急送す。

東京市銀座西二丁目三番地
弘濟藥院　中南定太郎
振替東京七七七番
電話京橋三〇八番

田螺の黑燒で淋病が治るか

〔問〕近頃慢性淋疾が治るといふので種々の廣告が出てゐますがその内でも料理の友社代理部發賣の田螺の黑燒は信用出來さうに思ひますが如何でせうか。本當に効くものなら値段も安いので飲んで見やうかと存じますので、本當のところをお知らせ下さい（札幌市　上野新助）

〔答〕田螺は日本全國到る處にありますから誰でも黑燒を作ることが出來る筈ですが田螺はたゞ黑燒にしただけでは淋病に効くものではありません。料理の友社は食料研究のために田螺を科學的に處理してゐるうちに之が淋病に利く成分のあるのを發見して、古來傳へられてゐる黑燒の研究に着手し、この藥効精分を失はないで黑燒を作る方法を發見したのですから、充分信用してよろしいと存じます。それに各地の實驗者が本當に喜んで禮狀をよこしてゐるのを見ますれば、如何に此の料理の友の田螺の黑燒がよく効くかゞわかります。

◆夢の樣です

（略）あれだけ苦しんで何とも方法のなかつた淋病も料理の友の田螺の黑燒をのんでから僅々二三日で膿は止まり、三週間のんでから酒を呑んで見ましたが何ともなく仕事に追はれ二晝夜一睡もせず酒の力をかりて仕事をし續けましたが何等異狀はありません何だか餘りに簡單に治つてしまつたのでまるで夢の樣です。毎日愉快に暮して居ります、これも御社の御蔭と同病に苦しんでゐる人には極力これをすゝめて居ります。それから田螺は他の賣藥の樣に副作用もありませんでした。（旭川市三條通十四丁目　元木眞次郎）

◆全快の喜び

私はある密境に足を踏み入れ、娼婦の痴嬌に誘はれつひに呪はしき淋病に罹つてしまひました。早速淋病專門の醫師を尋ね治療を受けましたが、排膿は少しも止まらず、そこでいろいろの民間藥を漁りましたが、だんだん病氣は亢進するばかりで全く絶望の深淵に投げ込まれてしまひました。ある醫師に相談したところ根氣よく徹底的の療法を要するとの事で、約五ヶ月程通院致しました。それでも根治の見込が立たず悲嘆にくれてゐると、知人が「淋病なら田螺の黑燒で治る」と簡單に云つてのけました。溺れるもの藁をもの心境で田螺の黑燒を三週間求め一日三回づゝ小さじに一杯づゝ食後三十分に服用しましたが、六七日しますと不思議にも尿の溷濁も痛みもとれて、うすれて來ましたのでその後念のために醫師に檢尿をうけますと淋菌は絶對にないといふ事でした。長年死ぬほど苦しんだ淋病がたつた三週間で然も實に低廉で快癒したので、私の人生は全く光明にみち、今更乍ら田螺の黑燒の効めに驚きました。私は友人にもこの喜びを話し二三人の人に服用させましたが、皆三週間で綺麗に治つてしまひました（東京多端彌次郎）

黑燒製法最新發明

料理の友社では多年研究の結果黑燒製法最新發明に成功して夫による黑燒を御頒ちする事にしました。

特製　料理の友　田螺の黑燒

一週間分	金壹圓
三週間分	金貳圓八拾錢
德用五週間分	金四圓五拾錢

（送料領土四十二錢）

（タニシの圖）

東京市小石川區カゴ町二三八
振替東京二四三九八番
料理の友社代理部